

令和元年度 事業報告書

『公益目的事業』

〔芸術文化センター関係〕

〔事業展開の基本コンセプト〕

- ① 多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ② 芸術性豊かなものから親近感に富むものまで、『幅広いニーズ』に応える上演
- ③ 舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

芸術文化センターの運営

1 芸術文化センター事業

(1) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演 (KOBELCO 大ホール)

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい全8回ロングラン公演を展開。今年度は4回の東京公演も実施し、幅広いオペラファンの獲得・定着を図った。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
「オン・ザ・タウン」 (新制作15作目) (全2幕 英語上演・日本語字幕つき) (公財)三菱UFJ信託芸術文化財団助成 (公財)花王芸術・科学財団助成 大和日英基金助成	元. 7. 12 ～21 (8公演)	音楽：レナード・バーンスタイン 指揮：佐渡裕 演出／装置・衣裳：アントニー・マクドナルド 照明：ルーシー・カーター ムーヴメントディレクター：ルーシー・バージ 振付：アシュリー・ペイジ 出演：ゲイビー：チャールズ・ライス チップ：アレックス・オッターバーン オジー：ダン・シェルヴィ アイヴィ：ケイティ・ディーコン クレア：イーファ・ミスケリー ヒルディ：ジェシカ・ウォーカー マダム・ディリー：ヒラリー・サマーズ ピトキン判事：ステイヴン・リチャードソン ダイアナ・ドリーム：フランソワ・テストリー ほか 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 合唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団	13,663
		＊関連公演 (4事業 11公演) ＊「ハイライトコンサート～ええとこどり！」 県内4会場(洲本市 4/21、三田市 4/27、丹波篠山市 5/11、小野市 5/12)と芸文センター(4/16～17)で実施 ＊ワンコイン・プレ・レクチャー (4/4:1回、他は2回) 4/4 (講師：佐渡 裕)、5/17 (講師：小林伸太郎)、6/6 (講師：田尾下 哲) ＊前夜祭 7/11(雨天のため阪急中ホールで開催) 主催：西北活性化協議会	西宮 (1,580) 県内ツアー (1,643) (2,824)
	元. 7. 25 ～28 (4公演)	【県外公演】 東京公演 東京文化会館 大ホール	(7,516)

ジルヴェスター・オペラ・コンサート プッチーニ・ガラ! *冠協賛:アサヒグループホールディングス株式会社 H20年から12回目 協賛継続	元. 12. 31 (1公演)	指揮:ダミアン・イオリオ 出演:並河寿美、中村恵理、スヨン・カン、ガストン・リベロ、樋口達哉、池内響 管弦楽:兵庫芸術文化センター管弦楽団	1,990
合計	2事業	9公演 (県内 11公演) (東京 4公演)	15,653 県内(6,047) 東京(7,516)

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

(2) 独自の企画制作・プロデュースによる演劇公演等 (阪急中ホール)

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により、新たなファンも発掘。

演目	公演年月日	出演者等	入場者(人)	
演劇・シアターコンサート	リディングシアター 「レイモンド・カーヴァーの世界」(トライストーン・エンタテイメントと共同製作)	元. 5. 25 ~26 (2公演)	作:レイモンド・カーヴァー 翻訳:村上春樹 演出:谷賢一 出演:仲村トオル、矢崎広、手塚とおる、平田 満	873
		元. 5. 30 ~6. 2 (6公演)	【東京公演】 六本木トリコロールシアター (主催:トライストーン・エンタテイメント)	—
	「橋爪功 リーディングシアター」	元. 7. 13 ~15 (3公演)	作:フェルディナント・フォン・シーラッハ他 翻訳:酒寄進一他 演出:深作健太 出演:橋爪功/大空ゆうひ(7/14. 15)	925
	ミュージカル 「オリヴァー・ツイスト」 (アークス・インターナショナルと共同製作)	元. 9. 14 ~16 (3公演)	脚本・演出:岸本功喜 作曲・音楽監督:小島良太 出演:未来和樹/山城力(ダブルキャスト)、姜暢雄、川原一馬、神田恭兵、福井貴一	1,512
		元. 7. 11 ~7. 14 (6公演)	【東京公演】 東京芸術劇場プレイハウス (主催:アークス・インターナショナル)	—
リディングシアター 「キオスク」 (キューブとの共同制作)	2. 1. 18 ~19 (3公演)	原作:ローベルト・ゼーターラー 翻訳:酒寄進一 上演台本・演出:石丸さち子 出演:末澤誠也、一路真輝、上西星来、岸 祐二、山路和弘	2,338	

		元.12.25 ～29 (7公演)	【東京公演】 東京芸術劇場シアターイースト（主催： キューブ）	—
演劇・シアターコンサート	音楽劇 星の王子さま (水戸芸術館と の共同製作)	2. 2. 15 ～16 (2公演)	原作：アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ 脚本・演出：青木豪 作曲・音楽監督：笠松泰洋 出演：昆 夏美、伊礼彼方 ほか	1,396
		2. 1. 31 ～2. 1 (2公演)	【水戸公演】 水戸芸術館ACM劇場（主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団）	—
		2. 2. 8 ～12 (7公演)	【東京公演】 東京芸術劇場シアターイースト（主催： サンライズプロモーション東京、共催： 公益財団法人東京都歴史文化財団東京芸術劇場）	—
	兵庫県立芸術文化 センタープロデュース シアターコンサート sound theater IX	元. 8. 31 ～9. 1 (2公演)	8/31 出演：TSUKEMEN、KENTARO!!、 横山彰乃、高橋萌登 9/1 出演：西川箕乃助、花柳基、 藤間蘭黄、TSUKEMEN	893
古典芸能（河内特別参与企画）	ひょうご能「仲光」	元. 5. 19 (1公演)	【第1部】トーク 「清和源氏発祥の地、川西市多田」 出演：田辺真人（園田学園女子大学名誉教授、 兵庫県史編纂委員） 聞き手：河内厚郎（兵庫県立芸術文化センター 特別参与） 【第2部】能「仲光」 出演：上田拓司（仲光）、上田貴弘（満仲）、 吉井紹智（美女丸）、吉井晟朝（幸寿）、 福王知登（恵心僧都）、善竹隆司（間狂言） 野口亮（笛）、久田舜一郎（小鼓） 守家由訓（大鼓）、大槻文蔵（地謡） ほか	421
	BUNRAKU 和と洋で聴くシ ューベルトの魔 王 (神戸女学院小ホ ール)	2. 3. 7 (1公演)	【第1部】シューベルト「菩提樹」ほか 文楽名場面「酒屋の段」よりの一節 【第2部】チェロで聴く「BUNRAKU」ほか 出演：河野克典（バリトン）、穴見めぐみ (ピアノ)、豊竹呂太夫（義太夫）、竹澤團吾 (三味線)、櫃本瑠音（チェロ） 総合司会：河内厚郎（兵庫県立芸術文化センター 特別参与）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合 計			7事業 16公演 (外部公演28公演)	8,358

(3) 幅広いニーズに応える公演（自主企画制作・招聘・提携・共催事業等）

① 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等（KOBELCO 大ホール）

音楽マネジメント事務所等との連携により、世界水準のオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピール。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
郷古廉 ヴァイオリン・リサイタル (神戸女学院小ホール)	31. 4. 7 (1公演)	ヴァイオリン：郷古廉 ピアノ：加藤洋之	414
仲道郁代 ピアノ・リサイタル	31. 4. 12 (1公演)	ピアノ：仲道郁代	1, 352
宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル	元. 5. 5 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ	1, 126
ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団 *大和証券グループPresents [KAJIMOTO 共催]	元. 6. 1 (1公演)	指揮：アンドリス・ネルソンス ヴァイオリン：バイバ・スクリデ	1, 172
ミハイル・プレトニョフ ピアノ・リサイタル	元. 6. 15 (1公演)	ピアノ：ミハイル・プレトニョフ	1, 714
のだめカンタービレの音楽会 [関西テレビ共催]	元. 8. 3 ～4 (2公演)	企画・指揮・おはなし：茂木大輔 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団	3, 039
パペット・ファンタジー「ムーミン谷の夏まつり」 [日生劇場共催] (阪急 中ホール)	元. 8. 3 (2公演)	原作：トーベ・ヤンソン 出演：人形劇団ひとみ座	1, 113
ヴェロニカ・エーベルレ ヴァイオリン・リサイタル	元. 9. 16 (1公演)	ヴァイオリン：ヴェロニカ・エーベルレ ピアノ：児玉麻里	1, 505
ゲヴァントハウス弦楽四重奏団&仲道郁代	元. 9. 23 (1公演)	出演：ゲヴァントハウス弦楽四重奏団 ピアノ：仲道郁代 コントラバス：加藤雄太	1, 750
タカーチ弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	元. 9. 29 (1公演)	出演：タカーチ弦楽四重奏団	415
クリスチャン・ツィメルマン 室内楽プロジェクト	元. 10. 12 (1公演)	ピアノ：クリスチャン・ツィメルマン ヴァイオリン：マリシャ・ノヴァク ヴィオラ：カタジナ・ブドニク チェロ：岡本侑也	963

オーケストラ・音楽

オーケストラ・音楽

浜松国際ピアノコンクール 2018 優勝者 ジャン・チャクムルコンサート (神戸女学院小ホール)	元. 10. 16 (1公演)	ピアノ：ジャン・チャクムル	415
関西二期会 オペラ「フィガロの結婚」[関西二期会共催]	元. 10. 26 ～27 (2公演)	指揮：グイード・マリア・グイェーダ 出演：片桐直樹、白石優子 ほか 管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団	2,609
ポーランド国立合唱舞踊団シロンスク [民音共催]	元. 11. 1 (2公演)	出演：ポーランド国立民族合唱舞踊団	2,697
神尾真由子&ミロスラフ・クルティシエフ デュオ・リサイタル	元. 11. 17 (1公演)	ヴァイオリン：神尾真由子 ピアノ：ミロスラフ・クルティシエフ	1,394
ジャン＝ギアン・ケラス&アレクサンドル・タロー (神戸女学院小ホール)	元. 12. 1 (1公演)	チェロ：ジャン＝ギアン・ケラス ピアノ：アレクサンドル・タロー	413
チェコ少年合唱団“ボニ・プエリ”	元. 12. 15 (1公演)	出演：チェコ少年合唱団 ボニ・プエリ	1,541
阪神淡路大震災25周年記念事業 ジャパン・ヴァルトウヅ・シンフォニー・オーケストラ 第8回兵庫公演 [メイ・コーポレーション共催]	2. 1. 4 (1公演)	指揮：大友直人 プロデュース：三枝成彰 管弦楽： ジャパン・ヴァルトウヅ・シンフォニー・オーケストラ	1,653
ヤーノシュカ・アンサンブル [民音共催]	2. 1. 24 (1公演)	ヴァイオリン：オトトレイ・ヤーノシュカ、ロマン・ヤーノシュカ ピアノ：フランティšek・ヤーノシュカ コントラバス：ユリウス・ダルフアス	1,607
フィルハーモニア管弦楽団	2. 1. 25 (1公演)	指揮：エサ＝ペッカ・サロネン ヴァイオリン：庄司紗矢香	1,569
ベートーヴェン生誕250周年特別企画 宮田大&田村響 二人のベートーヴェン 第1回 (神戸女学院小ホール)	2. 1. 26 (1公演)	ピアノ：田村響 チェロ：宮田大	413

オーケストラ・音楽	木嶋真優&イリヤ・ラシュコフスキー デュオ・リサイタル	2. 2. 2 (1公演)	ヴァイオリン：木嶋真優 ピアノ：イリヤ・ラシュコフスキー	1,805
	エーテボリ交響楽団	2. 2. 29 (1公演)	指揮：サントゥ＝マティアス・ロウヴァリ 演奏：エーテボリ交響楽団	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ベートーヴェン生誕250周年特別企画 宮田大&田村響 二人のベートーヴェン 第2回 (神戸女学院小ホール)	2. 3. 1 (1公演)	ピアノ：田村響 チェロ：宮田大	256
	マルタ・アルゲリッチ&ギドン・クレーメル	2. 3. 17 (1公演)	ピアノ：マルタ・アルゲリッチ ヴァイオリン：ギドン・クレーメル	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ	2. 3. 21 (1公演)	指揮：ウラディーミル・フェドセーエフ	新型コロナウイルス感染症の影響により延期
	広上淳一指揮 京都市交響楽団	2. 3. 22 (1公演)	指揮：広上淳一 ヴァイオリン：金川真弓 演奏：京都市交響楽団	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合 計 23事業 27公演				30,935

※共催事業：①芸文センターのコンセプトに合致、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致（営業）によって選定し、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

② 演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急中ホール）

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、舞踊、狂言、落語、コンサートなど、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
十二番目の天使 *りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館との連携	31. 4. 26 ～29 (5公演)	台本：笹部博司 演出：鶴山仁 出演：井上芳雄、栗山千明、六角精児 ほか	3,402
かもめ *新国立劇場との連携	元. 5. 2 (1公演)	作：アントン・チェーホフ 演出：鈴木裕美 出演：朝海ひかる、天宮良 ほか	778

演劇・ミュージカル等

春のめざめ *KAAT 神奈川芸術 劇場との連携	元. 5. 11 ～12 (4公演)	作：フランク・ヴェデキント 演出：白井晃 (KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督) 出演：伊藤健太郎、岡本夏美、栗原類 ほか	3,068
CITY *彩の国さいたま 芸術劇場との連携	元. 5. 29 (2公演)	作・演出：藤田貴大 出演：柳楽優弥 ほか	1,399
加藤健一事務所 Taking Sides	元. 6. 2 (1公演)	作：ロナウド・ハーウッド 演出：鶴山仁 出演：加藤健一、今井朋彦、小林勝也 ほか	739
BACKBEAT	元. 6. 12 ～16 (7公演)	演出：石丸さち子 出演：戸塚祥太、加藤和樹 ほか	4,680
化粧二題 (こまつ座)	元. 6. 19 ～20 (2公演)	作：井上ひさし 演出：鶴山仁 出演：内野聖陽、有森也美	1,561
黒白珠 -KOKUBYAKU JU-	元. 6. 28 ～30 (4公演)	脚本：青木 豪 演出：河原雅彦 出演：松下優也、平間壮一、風間杜夫 ほか	1,864
キネマと恋人 *世田谷パブリッ クシアターとの連 携	元. 7. 3 ～7 (7公演)	台本・演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演：妻夫木聡、緒川たまき、 ともさかりえ ほか	5,074
イン・ザ・プー ル *りゅーとびあ 新潟市民芸術文化 会館との連携	元. 7. 25 ～26 (2公演)	演出：笹部博司 出演：渡辺徹、内博貴	1,265
骨と十字架 *新国立劇場との 連携	元. 7. 31 (1公演)	作：野木萌葱 演出：小川絵梨子 (新国立劇場演劇部 門芸術監督) 出演：神農直隆、小林隆、伊達暁 ほか	561
私の恋人	元. 8. 9 ～10 (3公演)	脚本・演出：渡辺えり 出演：小日向文世、のん、渡辺えり ほか	2,329
A列車に乗っ ていこう	元. 8. 17 (1公演)	作：北村想 演出：日澤雄介 出演：石田ひかり、松風理咲	596
お気に召すま ま *東京芸術劇場と の連携	元. 9. 4 ～8 (5公演)	作：ウィリアム・シェイクスピア 演出：熊林弘高 出演：満島ひかり、坂口健太郎 ほか	3,824

演劇・ミュージカル等

怪人と探偵 (ミュージカル) *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	元. 10. 3 ～6 (6公演)	作・作詞・楽曲プロデュース: 森雪之丞 演出: 白井晃 (KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督) 出演: 中川晃教、加藤和樹 ほか	4,598
風間杜夫ひとり芝居 平和三部作	元. 10. 12 (1公演)	作・演出: 水谷龍二 出演: 風間杜夫	768
最貧前線 *水戸芸術館との連携	元. 10. 17 ～20 (5公演)	原作: 宮崎駿 演出: 一色隆司 出演: 内野聖陽、風間俊介 ほか	3,870
ラヴズ・レイバーズ・ロスト-恋の骨折り損-	元. 11. 1 ～4 (5公演)	脚色: アレックス・ティンバース 翻訳・演出: 上田一豪 出演: 村井良太、沙央くらま ほか	3,829
ピースフルタウンへようこそ (スーパー・エキセントリック・シアター)	元. 11. 13 ～14 (2公演)	演出: 三宅裕司 出演: 三宅裕司、小倉久寛 ほか	1,487
終わりのない *世田谷パブリックシアターとの連携	元. 11. 23 ～24 (3公演)	脚本・演出: 前川知大 出演: 山田裕貴、仲村トオル ほか	2,349
ドクター・ホフマンのサナトリウム *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	元. 11. 28 ～12. 1 (5公演)	作・演出: ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演: 多部未華子、瀬戸康史 ほか	3,630
正しいオトナたち	元. 12. 7 ～8 (3公演)	作: ヤスミナ・レザ 演出: 上村聡史 出演: 真矢ミキ、岡本健一 ほか	1,586
ビッグ・フィッシュ	元. 12. 12 ～15 (5公演)	脚本: ジョン・オーガスト 演出: 白井晃 出演: 川平慈英、浦井健治 ほか	3,733
月の獣	元. 12. 28 ～29 (2公演)	演出: 栗山民也 出演: 眞島秀和、岸井ゆきの ほか	1,470
「私たちは何も知らない」 (二兎社)	2. 1. 4 (1公演)	作・演出: 永井愛 出演: 朝倉あき、藤野涼子 ほか	782

演劇・ミュージカル等	常盤坊海尊 *KAAT 神奈川芸術 劇場との連携	2. 1. 11 ～12 (2公演)	作：秋元松代 演出：長塚圭史 出演：白石加代子、中村ゆり ほか	1,322
	朗読劇 BOOK ACT「もう一度 君と踊りたい」	2. 2. 18 ～20 (5公演)	演出：鈴木おさむ 出演：瀬口黎弥、堀夏喜 ほか	3,949
	朗読劇 BOOK ACT「芸人交換 日記～イエロー ハーツの物 語～」	2. 2. 21 ～23 (4公演)	演出：鈴木おさむ 出演：中務裕太、青柳翔 ほか	3,149
	お勢、断行	2. 3. 21 ～22 (3公演)	作・演出：倉持裕 出演：倉科カナ、上白石萌歌 ほか	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
古典芸能	春爛漫 茂山 狂言会 みんなで楽し く狂言会	31. 4. 6 (1公演)	出 演：茂山千五郎、茂山宗彦、 茂山茂、茂山逸平 ほか	570
	春爛漫 茂山 狂言会 お豆腐狂言会	31. 4. 6 (1公演)	出 演：茂山千五郎、茂山千作、 茂山七五三、茂山あきら ほか	642
	花形狂言 2019 THE LAST HANAGATA	元. 8. 24 (2公演)	出 演：茂山千五郎、茂山宗彦 ほか	1,489
	淡路人形浄瑠 璃特別公演	元. 9. 21 (1公演)	出 演：淡路人形座	586
	琉球芸能の美 と心 組踊	元. 11. 10 (1公演)	第一部：琉球舞踊 第二部：組踊「執心鐘入」	792
	万作萬斎狂言	元. 11. 19 ～20 (2公演)	出 演：野村万作、野村萬斎 ほか	1,591
落 語	桂雀々・立川志 らく東西会	31. 4. 7 (1公演)	出 演：桂雀々、立川志らく	796
	月亭方正	31. 4. 19 (1公演)	出 演：月亭方正 ほか	797
	柳家花緑	元. 6. 1 (1公演)	出 演：柳家花緑	776
	柳家喬太郎	元. 6. 8 (2公演)	出 演：柳家喬太郎 ほか	1,592

落 語	笑福亭松喬	元. 6. 9 (1公演)	出 演：笑福亭松喬 ほか	768
	桂 吉弥	元. 7. 28 (1公演)	出 演：桂吉弥 ほか	798
	きん枝改メ四 代桂小文枝襲 名披露公演	元. 8. 18 (1公演)	出 演：桂小文枝 ほか	556
	桂 文珍	元. 9. 18 ～19 (2公演)	出 演：桂文珍	1,311
	秋の特選落語 競演会 2019	元. 11. 17 (2公演)	出 演：春風亭一朝、桂ざこば ほか	1,568
	笑福亭鶴瓶落 語会	2. 1. 25 ～26 (2公演)	出 演：笑福亭鶴瓶、桂吉坊、笑福亭 べ瓶	1,593
舞 踊	コンドルズ	元. 11. 16 (1公演)	構成・振付：近藤良平 出 演：コンドルズ	737
合 計 45事業 117公演				84,624

③ 国内外室内楽公演等（神戸女学院小ホール）

世界一流の室内楽団をはじめ、地元出身で幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げた。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
音 楽 一 般	キアロスクーロ・ カルテット	31. 4. 27 (1公演)	ヴァイオリン：アリーナ・イブラギモヴァ ほか	416
	ティボー・ガルシ ア ギター・リサ イタル	元. 6. 16 (1公演)	ギター：ティボー・ガルシア	413
	宮川彬良&アンサ ンブル・ベガ ニュ ーイヤー・コンサ ート	2. 1. 5 (1公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ	414
	村治奏一 バレンタイン・コ ンサート	2. 2. 11 (1公演)	ギター：村治奏一	415
	テレマン室内オー ケストラ	2. 3. 4 (1公演)	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 演奏：テレマン室内オーケストラ	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止

「シリーズ企画」 世界音楽図鑑	北川翔 風薫るバラライカ	元. 5. 11 (1公演)	バラライカ：北川翔 アコーディオン：大田智美	415
	ファンファーレ・ チョコラーア(ルー マニア) (阪急 中ホール)	元. 7. 9 (1公演)	出 演：ファンファーレ・チョコラーア Nourah (ノーラ)	776
	カントゥス (ノルウ ェー) (KOBELCO 大ホール)	元. 11. 30 (1公演)	出 演：カントゥス (ノルウェー女声合唱) ほか	1, 778
「シリーズ企画」 古楽の愉しみ	ロナルド・ブラウ ティハム(フォル テピアノ)	元. 5. 14 (1公演)	フォルテピアノ：ロナルド・ブラウティ ハム	415
	タリス・スコラーズ (無伴奏合唱) (KOBELCO 大ホール)	元. 6. 2 (1公演)	出 演：タリス・スコラーズ	1, 485
	ベルリン古楽アカ デミー・オーケス トラ with ソフィ ー・カルトホイザー (ソプラノ)	元. 9. 28 (1公演)	出 演：ベルリン古楽アカデミー・オーケ ストラ ソフィー・カルトホイザー(ソプラノ)	413
	ジャン・ロンドー (チェンバロ)	元. 11. 4 (1公演)	チェンバロ：ジャン・ロンドー	414
	川口成彦 (フォルテピアノ)	2. 3. 8 (1公演)	フォルテピアノ：川口成彦	新型コロナウイルス感染症の影響により 中止
「新シリーズ」 河村尚子&菊池洋子 ピアノ・プロジェクト	河村尚子 ピアノ・リサイタル 「ベートーヴェン 紀行」 (第3回)	31. 4. 28 ~29 (2公演) 元. 11. 3 ~4 (2公演)	ピアノ：河村尚子	830
	(第4回)			828
	菊池洋子 ピアノ・リサイタル 「モーツァルト 音 のパレット」 (第3回)	元. 5. 19 (1公演)	ピアノ：菊池洋子	415
(第4回) (KOBELCO 大ホール)	元. 11. 10 (1公演)		1, 451	

	河村尚子&菊池洋子 ベートーヴェン&モーツァルト 2人の協奏曲 (KOBELCO 大ホール)	元. 11. 16 (1公演)	指揮：下野竜也 ピアノ：河村尚子、菊池洋子 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団	1,989
「シリーズ企画」 ジャズ	クリスマス・ジャズ・フェスティバル 渡辺貞夫 (サクソフォン) (KOBELCO 大ホール)	元. 12. 8 (1公演)	出演：渡辺貞夫 (サクソフォン) ほか	1,754
	クリスマス・ジャズ・フェスティバル アトリエ澤野スペシャル	元. 12. 13 (1公演)	出演：ミクロス・ガニ トリオ	407
	クリスマス・ジャズ・フェスティバル 北村英治カルテット	元. 12. 18 (1公演)	出演：北村英治 (クラリネット) ほか	408
	クリスマス・ジャズ・フェスティバル アロージャズオーケストラ&日野皓正 (トランペット) (KOBELCO 大ホール)	元. 12. 21 (1公演)	出演：アロージャズオーケストラ 日野皓正 (トランペット)	1,638
	クリスマス・ジャズ・フェスティバル 渡辺香津美 (ギター)	元. 12. 22 (1公演)	出演：渡辺香津美 (ギター) ほか	403
	クリスマス・ジャズ・フェスティバル 黒田卓也 (トランペット) (阪急 中ホール)	元. 12. 23 (1公演)	出演：黒田卓也 (トランペット) ほか	730
合 計 22事業 24公演				18,207

(4) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

① プロムナードコンサート・ワンコイン・コンサート等

(ア) プロムナードコンサート (KOBELCO 大ホール)

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家や国外アーティストを招き、親しみやすいプログラムによる低額入場料 (2,000 円程度) 公演を開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) を図った。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
エドガー・モロー 無伴奏チェロ・リサイタル	元. 10. 6 (1公演)	チェロ：エドガー・モロー	1,628
堀米ゆず子と女神たち	元. 10. 14 (1公演)	ヴァイオリン：堀米ゆず子、米元響子、 有希マヌエラ・ヤンケ、 青木尚佳	1,214

名曲の花束～ソフィア・ゾリステン&リヤ・ペトロヴァ	元. 11. 2 (1公演)	ヴァイオリン：リヤ・ペトロヴァ 弦楽合奏：ソフィア・ゾリステン	1,989
菊池洋子（ピアノ） モーツァルト音のパレット 第4回【再掲】	元. 11. 10 (1公演)	ピアノ：菊池洋子	1,451
日下紗矢子&ベルリン・ コンツェルトハウス室内 オーケストラ	元. 12. 14 (1公演)	出 演：ベルリン・コンツェルトハウ ス室内オーケストラ コンサートマスター：日下紗矢子	1,717
シューベルトの宴	2. 1. 13 (1公演)	出 演：萩原麻未（ピアノ）、辻彩奈（ヴァイオリン）、安達真理（ヴィオラ）、横坂源（チェロ）、加藤雄太（コントラバス）	1,059
合 計 6 事業 6 公演			9,058

(イ) ワンコイン・コンサート（入場料 500 円）（KOBELCO 大ホール）

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客（裾野の拡大）を図った。

出 演 者	公演年月日	出演者等	入場者(人)
PACオーケストラ デイヴィッド・メイソン(ヴィオラ)&チャン・ズーホァ(チェロ)	31. 4. 25 (1公演)	ヴィオラ： デイヴィッド・メイソン（アメリカ出身。現在兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー 2 年目、2018/19 シーズンのフォアシュピラー。ニューイングランド音楽院卒業、イエール大学修士課程修了。これまでに、スポレート音楽祭やPMF、ニューヨーク弦楽オーケストラセミナーなどの音楽祭に出演。） チェロ： チャン・ズーホァ（台湾出身。台北市立教育大学にてYi-Ching, Cheng氏に師事、音楽学位を取得。その後アメリカ、クリーブランド音楽院にてクリーブランド管弦楽団首席奏者の奨学生として、チェロ演奏、鈴木教育学で修士を取得。現在兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー 3 年目、2018/19 シーズンのフォアシュピラー。）	1,988
古瀬まきを（ソプラノ）	元. 5. 29 (2公演)	ソ プ ラ ノ： 古瀬まきを（相愛大学卒業、京都市立芸術大学大学院修了。平成 25 年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてドイツ・ドレスデンにて研修。第 15 回松方ホール音楽賞、第 24 回奏楽堂日本歌曲コンクール第 1 位および中田喜直賞、第 22 回 ABC 新人コンサート最優秀音楽賞、平成 28 年度尼崎市民芸術奨励賞、他多数受賞。「フィガロの結婚」スザンナ等、各地でオペラに出演。	2,832

岩谷弦（ヴァイオリン）	元. 7. 31 (2公演)	ヴァイオリン： 岩谷弦（奈良市出身、京都堀川音楽高等学校卒業。第71回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位、全国大会第1位、併せて横浜市民賞、兎束賞、東儀賞、日本放送協会賞、かんぼ生命奨励賞受賞。第21回ブルクハルト国際音楽コンクール第1位。フランスアカデミー及びブルゴーニュ、ノイエにてオルヴィエ・シャルリエのレッスン等を受講。）	3, 525
水無瀬一成（ホルン）	元. 8. 27 (1公演)	ホルン： 水無瀬一成（京都市出身。2003年、京都市立芸術大学を卒業し同年、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団、首席奏者を務める。京都市交響楽団副首席を経て、16年日本センチュリー交響楽団首席奏者として移籍。19年1月より再び京都市交響楽団へ副首席奏者で復帰。名古屋芸術大学、相愛大学、滋賀県立石山高等学校音楽科、各非常勤講師として後進の指導にもあたる。）	1, 991
太田糸音（ピアノ）	元. 9. 6 (2公演)	ピアノ： 太田糸音（大阪府出身。第40回ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会、特級銀賞・聴衆賞を受賞。第67回全日本学生音楽コンクール中学校の部全国大会第1位。第21回松方ホール音楽賞第1位。大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、東京交響楽団等と共演。東京音楽大学ピアノ演奏家コース・エクセレンス3年に在学中（附属高校2年修了後、飛び級入学。）特別特待奨学生。）	3, 107
中山直音（打楽器）	元. 11. 19 (1公演)	打楽器： 中山直音（相愛大学音楽学部打楽器専攻卒業。同大学専攻科修了。第14回KOBE国際音楽コンクール入賞。関西打楽器協会の推薦で日本打楽器協会新人演奏会に出演。フライブルク音楽大学教授、ベルンハルト・ヴルフ氏の特別講座を受講。関西打楽器協会会員。現在、関西フィルハーモニー管弦楽団、首席ティンパニ奏者。）	1, 989
東条慧（ヴィオラ）	元. 12. 13 (2公演)	ヴィオラ： 東条慧（山梨県出身。2003～09年までスーパーキッズ・オーケストラ1期生として在籍。高校卒業後、渡仏。アメリカ、クリーヴランド音楽院を経て、パリ高等音楽院修士課程を卒業。現在、アイスラー音楽院（ベルリン）在籍中。15年第3回東京国際ヴィオラコンクールにて第2位受賞。あわせて聴衆賞、パッサ賞、サントリー芸術財団賞を受賞。小澤征爾スイス国際音楽アカデミーではジュネーヴやパリで演奏会を行うなど、国内外で演奏活動を行っている。）	2, 670

山本康寛 (テノール)	2. 1. 23 (1公演)	テノール： 山本康寛 (京都市立芸術大学声楽専攻卒業、同大学院修了。第82回日本音楽コンクール第2位、第51回日伊声楽コンクール第2位、並びに五十嵐喜芳賞、第24回青山音楽賞、第26回五島記念文化賞など数々受賞。2015年9月より五島記念文化財団の奨学生として渡伊。びわ湖ホール、藤原歌劇団等数々のオペラに出演。びわ湖ホール声楽アンサンブルを経て、現在びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。「びわ湖ホール四大テノール」メンバー。)	1,989
橋本桂子 (箏)	2. 2. 22 (2公演)	箏： 橋本桂子 (大阪音楽大学邦楽専攻卒業。同大学専攻科修了。大学卒業時に最優秀賞受賞。同受賞者演奏会ザ・ローレルコンサート、卒業演奏会、在学時に学内選抜者による演奏会等、これまでに多数の演奏会に出演。第4回全国邦楽合奏協会邦楽コンクール金賞。2012年菊佳友の称号を授与される。(公社)当道音楽会会員、大阪音楽大学付属音楽院講師、大阪音楽大学演奏員)	3,293
小林佑太朗 (ファゴット)	2. 3. 10 (1公演)	ファゴット： 小林佑太朗 (千葉県八千代市出身。東京音楽大学卒業。大学在学中に市川市文化振興財団第25回新人演奏家コンクール管打楽器部門優秀賞、第12回東京音楽大学コンクール管打楽器部門第3位をそれぞれ受賞。卒業時に第18回ヤマハ新人演奏会木管部門出演。2015年小沢征爾音楽塾オペラ・プロジェクト参加。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団第一ファゴット奏者。)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合 計		9事業 14公演	23,384

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業(ワンコイン・コンサート等)の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催

(アドバイザー)

中村孝義(大阪音楽大学理事長)、響敏也(音楽評論家)、藤本賢市(神戸新聞社)、青木さやか(読売新聞大阪支社編集局文化部記者)

(ウ) ワンコイン・コンサートNO.1アーティスト2018 アンコール・リサイタル

2018年の出演アーティストの中からアンケートをもとに選出(神戸女学院小ホール)

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
岩見玲奈 (マリンバ)	2. 3. 18 (1公演)	マリンバ：岩見玲奈	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合 計			

(エ) 福袋コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝う芸文センター新企画のコンサート
(KOBELCO 大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
新春・顔見世コンサート	2. 1. 3 (1公演)	大谷雄一、山口莉奈、葵トリオ、谷口耕平、儀間太久実、小松加奈 ゲスト：片岡リサ	1,993
合 計		1 事業 1 公演	1,993

(オ) ワンコイン・プレ・レクチャー(阪急 中ホール)

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでいただくため、オペラ歌手によるハイライトコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集客(裾野の拡大)をめざす。

演目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
オペラ「オン・ザ・タウン」 ハイライトコンサート ～ええとこどり！	31. 4. 16 ～17 (2公演)	出 演：内藤里美 (ソプラノ)、 伊原敏行 (お話)、 重松みか (ステージ構成) ほか	1,580
	31. 4. 21 31. 4. 27 元. 5. 11 元. 5. 12 (4公演)	洲本市文化体育館 文化ホールしばえもん座 三田市総合文化センター 郷の音ホール 篠山市たんば田園交響ホール 小野市うるおい交流館エクラホール	(1,643)
ミュージカル「オン・ザ・タウン」 ワンコイン・プレ・レクチャー (第1回)	31. 4. 4 (1公演)	講 師：佐渡裕 (芸文センター芸術監督)	798
ミュージカル「オン・ザ・タウン」 ワンコイン・プレ・レクチャー (第2回)	元. 5. 17 (2公演)	講 師：小林伸太郎 (音楽ジャーナリスト、NY在住)	964
ミュージカル「オン・ザ・タウン」 ワンコイン・プレ・レクチャー (第3回)	元. 6. 6 (2公演)	講 師：田尾下哲 (演出家)	1,062
合 計		4 事業 7 公演 4 公演 (県内公演)	4,404 (1,643)

(カ) ドリーム・コンチェルト (KOBELCO 大ホール)

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・
コンサートを開催

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
ドリーム・コンチェルト *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24年から8回目 協賛継続	元. 5. 18 (1公演)	指揮：本名徹次 (ベトナム国立交響楽団音楽監督・首席指揮者) ソプラノ：内藤里美 バリトン：池内響 クラリネット：持丸秀一郎 チェロ：加藤文枝 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団	1,870
合 計 1 事業 1 公演			1,870

(キ) 舞台芸術団体フェスティバル (共催) (県域団体)

演 目	公演年月日	主催団体	入場者(人)
KOBELCO大ホール	2019年度兵庫県合唱コンクール 中学校・高等学校の部 (共催：小学校の部)	兵庫県合唱連盟	3,184
	TAKASAGO 夢舞台 ～時空を超えて～	高砂演奏連盟・高砂市文化連盟	653
	－ふれあいの祭典－ 第46回兵庫県交響楽祭	兵庫県オーケストラ協議会	648
阪急中ホール	<劇団道化座こどもと親の劇場>道化座版ミュージカル「うんとこどっこいネズミ」	兵庫県劇団協議会/劇団道化座	306
	アルゴミュージカル『子猿物語』より 「モンキーパラダイス～子猿たちの冒険～」	(公財)姫路市文化国際交流財団	457
	古代ミュージカルロマン 「天日槍物語・ヒボコ」	但馬文化協会	989
	－ふれあいの祭典－ 「ひょうご邦楽の祭典」	兵庫県箏絃連盟	387
神戸女学院小ホール	ピアノ・デュオ 名曲の調べ	兵庫県音楽活動推進会議	278
	季(とき)コンサート vol.8	兵庫県音楽活動推進会議	349

神戸女学院小ホール	ブラビッシモ!! ファミリーコンサート	元. 9. 15 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会	401
	アンサンブルで“ほっ” vol.3	元. 9. 16 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議	351
	-第27回アルカディア特別演奏会- 「タンゴ&愛と謳うコンサート」	元. 9. 22 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会	280
合 計 12事業 13公演				8,283

② ピッコロ劇団公演（共催）（阪急中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
ファミリー劇場 「歌うシンデレラ」	元. 12. 21 ～22 (3公演)	作 : 別役実 演 出 : 吉村祐樹(ピッコロ劇団) 出 演 : ピッコロ劇団員 ほか	1,257
第66回公演 「夢をみせてよ」	2. 2. 28 ～3. 1 (5公演)	作 : 岡部尚子(空晴) 演 出 : 内藤裕敬(南河内万歳一座) 出 演 : ピッコロ劇団員 ほか	1,406
合 計 2事業 8公演			2,663

【芸術文化センター事業 評価】

(1) 主催事業の成果

- 「芸術監督プロデュースオペラ・コンサートによる創造・発信」、「芸文センター独自プロデュースの演劇公演・幅広いニーズに応える公演」、「舞台芸術の普及・県民の創造活動支援」の3つの柱で、14年間継続して質・量ともに開館記念期間(H17～19の3年間)の水準を維持した。
- 主催公演数(センター事業、外部公演を除く)は 242公演で開館前計画(県基準:58公演)を大幅に超える規模を実現しつつ、より良質な公演を選択し、資源を集中させ、顧客満足度の維持に努めることにより、芸術文化振興拠点として、またパブリックシアターとして県民の多様な舞台芸術鑑賞ニーズに応えるとともに、新たなファン層を発掘し「芸術文化立県ひょうご」の一翼を担っている(新型コロナの影響により、12公演が中止・延期)。

【事業部主催の事業・公演数の遷移】

	H29	H30	R元
KOBELCO 大ホール	48事業 64公演	49事業 69公演	43事業 58公演
阪急 中ホール	84事業 193公演	85事業 184公演	65事業 157公演
神戸女学院小ホール	40事業 41公演	32事業 31公演	25事業 27公演
合計	172事業 298公演	166事業 284公演	133事業 242公演

- 主催公演の平均入場率(R元)は88.8%、入場者の公演満足度も高い評価を得ている。
- ネーミングライツの協賛や地元企業(ロータリークラブ等)の協賛により、世界一流のアーティストの公演がホールのステイタスを高め、貸館事業の稼働率の向上に貢献している。
- 従来、東京のみで成立していた上質な、演劇、ミュージカル、バレエなどを誘致し、開館時とは異なる新たな集客実現に寄与している。

(2) 多彩な主催公演

- 令和元年度は、プロデュースオペラシリーズ初のミュージカル公演への挑戦となった「オン・ザ・タウン」を芸術文化センター8公演の実施(ダブルキャスト、公演入場者1万4千人)に加えて、東京4公演(公演入場者7千5百人)を実施した。さらに、定番化した県内4会場(洲本市、三田市、丹波篠山市、小野市)で「ハイライトコンサート」を実施した。

兵庫・東京の両公演において「他の団体・地域でも実現可能と思われる演目や制作方法ではなく『兵庫ならではの』という特色が非常によく出ていた。」(The Times Literary Supplement 誌(名新聞「タイムズ」の付録として創刊された英国の権威ある文芸誌)との評価も得ることができた。

- また、フィルハーモニア管弦楽団など数々の世界トップクラスのオーケストラ公演を実現、国内外への発信と舞台芸術専門劇場としての存在感をアピールした。独自プロデュースによる作品のうち、リーディングシアター、ミュージカル、音楽劇の4事業は、東京26公演・水戸2公演を実施した。(共同製作者主催)

(3) 特色あるシリーズ企画・舞台芸術の普及

- 芸術文化センターならではの特色あるシリーズ企画(「世界音楽図鑑」(ワールドミュージック)、「古楽の愉しみ」(アーリーミュージック)等)を充実。また、プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサートなど低料金の公演を通じて舞台芸術の普及(ファンの拡大)促進・定着に貢献した。
- 舞台芸術の楽しさを味わってもらい、多様な世代でにぎわう劇場をめざし、「宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル」、「のだめカンタービレの音楽会」などの子ども・若者向けのプログラムを展開。

(4) 県民の創造活動支援

- 阪神文化に造詣の深い河内参与の指導のもと、阪神間に縁の深いテーマや演目により伝統芸能公演を継続するとともに、舞台芸術団体フェスティバルにより、県民の創造活動の檜舞台を提供し、地域文化の発信、文化力向上を支援した。

(5) 新型コロナウイルスの影響

- 令和2年2月末から新型コロナウイルス感染症の影響で、海外招聘公演をはじめ、10事業12公演を中止・延期とした。大ホール:5事業5公演 中ホール:1事業3公演 小ホール:4事業4公演
- 海外からの招聘が困難であること、出演者が密にならない、客席が密にならない(定員の1/2)等、公演実施の工夫が課題となっている。

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」の顔にふさわしい多彩な活動を展開していく。(県内41市町一巡達成 H26.4月)

- ・芸術監督 : 佐渡裕
- ・コンサートマスター: 四方恭子、豊嶋泰嗣
- ・コアメンバー: 14パート48人 (10型2管編成、35歳以下、3年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜)

(R1.9.1現在: 8カ国 14パート43人 平均年齢27.1歳)

*新メンバー契約期間: R1.9~R4.8)

・2020~2021 シーズン世界オーディション

(募集人員) ヴァイオリン等 8パート19人 (募集期間) 2019年9月~2019年12月

(実技審査) 2月 アメリカ、ヨーロッパ、西宮、東京 (総合審査) 3月 ウィーン

① 演奏会活動 20事業40公演 (センター事業: 5事業17公演 (再掲) を除く)

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施

(ア) 定期演奏会 (KOBELCO 大ホール)

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲までの魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏し、質の高い芸術性を追求した。

*舞台芸術創造活動活性化事業助成 (令和元年度公演)

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
【2018-2019 シーズン】 第114回 イベル: フルート協奏曲	31. 4. 19 ~21 (3公演)	指 揮: パスカル・ロフェ フルート: 工藤重典	5,256
第115回 マルクス: トランペットとオーケストラのための「秋のコンチェルト」 *日本初演	元. 5. 24 ~26 (3公演)	指 揮: 井上道義 トランペット: パーチョ・フローレス	5,188
第116回 ブルックナー: 交響曲第5番	元. 6. 21 ~23 (3公演)	指 揮: 下野竜也 ヴァイオリン: 池田香織	5,466
【2019-2020 シーズン】 第117回 ブルックナー: 交響曲第8番	元. 9. 13 ~15 (3公演)	指 揮: 佐渡裕	5,963
第118回 チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲	元. 10. 18 ~20 (3公演)	指 揮: アレクサンドル・ヴェデルニコフ ヴァイオリン: クララ=ジュミ・カン	5,493
第119回 ショスタコーヴィチ: チェロ協奏曲第1番	元. 11. 22 ~24 (3公演)	指 揮: カーチュン・ウォン チェロ: アントニオ・メネセス	5,437

阪神・淡路大震災 25 年事業 第 120 回 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 *ピアノ演奏版フォーレ：レクイエム	2. 1. 17 ～19 (3公演)	指 揮：佐渡裕 ピアノ：菊池洋子 ソプラノ：幸田浩子 バリトン：キュウ・ウオン・ハン 合 唱：オープニング記念第9 合唱団	5, 970
第 121 回 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第 1 番	2. 2. 14 ～16 (3公演)	指 揮：ロッセン・ミラノフ ピアノ：児玉桃	5, 746
第 122 回 ドビュッシー：クラリネットのための第 1 狂詩曲	2. 3. 13 ～15 (3公演)	指 揮：ピエール＝アンドレ・ヴァラド クラリネット：ポール・メイエ	新型コロナ ウイルス感 染症の影響 により中止
第 123 回 ロトリゴ：アランフェス協奏曲	2. 4. 17 ～19 (3公演)	指 揮：井上道義 ギター：パブロ・サインス・ビジェガス ピアノ：ルイス・フェルナンド・ペレス	新型コロナ ウイルス感 染症の影響 により中止
第 124 回 R. シュトラウス：英雄の生涯	2. 5. 29 ～31 (3公演)	指 揮：アレクサンダー・リープライヒ	新型コロナ ウイルス感 染症の影響 により中止
第 125 回 トウエルザーク：ヴァイオリン協奏曲	2. 6. 19 ～21 (3公演)	指 揮：下野竜也 ヴァイオリン：川久保賜紀	新型コロナ ウイルス感 染症の影響 により中止
合 計	8 事業	2 4 公演 (令和元年度)	44, 519

*2019-2020 シーズン定期会員数 4,303 (金曜 1,373、土曜 1,522、日曜 1,408)

(イ) 特別演奏会 (KOBELCO 大ホール)

ユベール・スダーン・モーツァルトシリーズ企画や、子どものためのオーケストラ・コンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を拡大。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
バーンスタイン生誕 100 年 佐渡裕 音楽の贈りもの 「We love L.B(レナート・バーン スタイン)」 *舞台芸術創造活動活性化事業助成	31. 4. 6 ～7 (2公演)	指 揮：佐渡 裕 ソプラノ：小林沙羅、ソプラノ：清水華澄 バリトン：大山大輔	3, 811
PAC モーニング室内楽 *PAC メンバーの企画構成で取り 組む朝の室内楽コンサート (神戸女学院小ホール)	元. 6. 4 (1公演)	出 演：PAC コアメンバー	413
ユベール・スダーン モーツァルトの旅 第 10 回 *神童モーツァルト生誕の地であるオーストリア・ザルツブルクで、ザルツブルク・モーツァルト管弦楽団の首席指揮者を 13 年間に渡って務めたユベール・スダーン氏によるこだわりのシリーズ *舞台芸術創造活動活性化事業助成	元. 6. 8 (1公演)	指 揮：ユベール・スダーン ピアノ：田村 響 ソプラノ：四方典子、アルト：山田愛子 テノール：二塚直紀、バス：萩原寛明 合 唱：オープニング記念第 9 合唱団	1, 847
PAC モーニング室内楽 *PAC メンバーの企画構成で取り 組む朝の室内楽コンサート (神戸女学院小ホール)	元. 6. 25 (1公演)	出 演：PAC コアメンバー	414

リサイタル・シリーズ (神戸女学院小ホール)	元. 6. 26 (1公演)	ホルン：ジョシュア・ブルメンサル トロンボーン：橋田達郎 ティンパニ/パーカッション：デイヴ・バーンズ	408
PAC meets OZONE	元. 12. 7 (1公演)	ピアノ：小曾根真 ベース：中村健吾 ドラムス：高橋信之介 指揮：熊倉 優	1,804
第23回 室内オーケストラ (神戸女学院小ホール)	2. 1. 10 (1公演)	ヴァイオリン：フォルクハルト・シュトイデ ヴィオラ：山碕智子	415
リサイタル・シリーズ (神戸女学院小ホール)	2. 1. 11 (1公演)	コントラバス：コーディ・ローズブーム オーボエ：上品綾香	414
ベートーヴェン生誕250年 佐渡裕 音楽の贈りもの ベートーヴェン「皇帝」&「英雄」	2. 1. 31 ～2. 1 (2公演)	指揮：佐渡 裕 ピアノ：エフゲニ・ボジャノフ	3,979
春休みPAC子どものためのオーケストラ・コンサート	2. 3. 28 (1公演)	指揮：岩村 力 鍵盤ハーモニカ：吉田絵奈	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合 計 9事業 11公演			13,505

(ウ) 室内楽シリーズ (神戸女学院小ホール)

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせ。幅広い編成で高度な公演を実現。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
室内楽シリーズ	第61回 パック・ブラス!	元. 6. 1 (1公演)	トランペット：パーチョ・フローレス	413
	第62回 パック・パーカッション	2. 3. 20 (1公演)	打楽器・マリンバ：池上英樹	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合 計 1事業 1公演				413

(エ) 阪神・淡路大震災25年事業 1月17日(金)

兵庫県公館での追悼式典に出演するとともに、芸術監督・楽団員によるアウトリーチも併せて実施。第120回定期演奏会では、午後5時46分に開演し出演者と来場者が黙祷を捧げた。

【兵庫県公館での追悼式典出演】

佐渡芸術監督、アントン・ハラルコフスキー(ハレル放響コンマス)、楽団員19人出演(献奏曲、献唱曲演奏)

【アウトリーチ】

- ・神戸市立駒ヶ林中学校体育館(地元追悼行事に佐渡芸術監督出演)
- ・阪急西宮ガーデンズウェルシア(1.17メモリアルコンサート 弦・管・打17人出演)

(オ) センター事業への出演 5事業17公演(再掲)

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏

② 体験教育・普及活動

(ア) 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 40公演 (KOBELCOホール)

兵庫県内の中学1年生(約5万人全員)を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育(体験教育)の振興を図った。

- 【企画】佐渡裕芸術監督 【指揮】岩村力 ほか
【内容】第1部 参加・体験コーナー：ホールの紹介、楽器紹介
第2部 鑑賞コーナー：楽曲の紹介、演奏会、「ふるさと(嵐)」合唱
【公演時間】約1時間(70分)
【時期】令和元年6月11日(火)～令和2年2月21日(金)
【実績】387校 47,575人(引率教員等含む)

(イ) アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団のPRを図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先については公募制度も導入・実施(医療機関、福祉施設、小中高等学校、参画と協働を実践する地域活動への参加等)

*平成29年度～小学校・特別支援学校を対象としたアウトリーチ(公募により募集)を重点実施

【実績】13回

- ・江井島小学校音楽授業(明石市) *佐渡芸術監督 9月 5日
- ・市立大蔵中学校・県立明石高等学校吹奏楽クリニック *佐渡芸術監督 9月 6日
- ・PACシーズン・オープニング・フェスティバルアウトリーチ(明石市 4会場) 9月 6日
市民広場、岩谷神社、大西脳神経外科、西部市民会館
- ・浜脇コミュニティアウトリーチ(西宮市) 9月29日
- ・横尾忠則現代美術館アウトリーチ(神戸市) 11月 3日
- ・安倉団地アウトリーチ集会所(宝塚市) 12月 8日
- ・にしきたのクリスマス(芸文センター1階エントランス) 12月14日
- ・ジルヴェスター・コンサート ロビーコンサート(芸文センター大ホールホワイエ・2回) 12月31日
- ・青少年文化体験事業「親子で楽しむコンサート」(神戸女学院小ホール) 2月23日

(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

- ・社会福祉事業団いずみ園(西宮市) 3月17日

小学校・特別支援学校アウトリーチ

【実績】8校8回

- ・小野市立河合小学校 5月13日
- ・小野市立小野東小学校 5月13日
- ・加東市立東条西小学校 5月14日
- ・加西市立加西特別支援学校 5月14日
- ・南あわじ市立賀集小学校 11月27日
- ・西宮市立瓦林小学校 11月27日
- ・芦屋市立打出浜小学校 11月27日
- ・県立神戸聴覚特別支援学校 11月27日

(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) (12校12回)

・丹波篠山市立多紀小学校	3月 4日
・上郡町立高田小学校	3月 4日
・たつの市立東栗栖小学校	3月 4日
・姫路市立書写養護学校	3月 5日
・姫路市立太市小学校	3月 5日
・丹波市立鴨庄小学校	3月 5日
・県立神戸特別支援学校	3月 5日
・伊丹市立伊丹特別支援学校	3月 6日
・尼崎市立武庫の里小学校	3月 6日
・川西市立清和台南小学校	3月 6日
・三田市立すずかけ台小学校	3月 6日
・明石市立二見北小学校	3月 6日

(ウ) スーパーキッズ・オーケストラ公演

オーディションによって選ばれた子どもたち(小学生から高校生まで)が佐渡芸術監督指揮のもとに演奏活動を行った。

(a) 合宿(洲本市文化体育館)

合宿での練習成果を本番(8/31、9/1 大ホール)につなげることを目的に実施した。

【日程】8月22日(木)～24日(土)

【内容】アウトリーチ(南あわじ市役所 第2別館、県立淡路医療センター ロビー、特別養護老人ホーム あわじ荘)

(b) 復興祈念被災地訪問活動

・東日本大震災・熊本地震復興祈念演奏活動

*指揮:佐渡芸術監督

「こころのビタミンプロジェクト くまもと」(熊本県2会場ほか)

【日程】平成31年4月12日(金)～4月14日(日)

【スケジュール】4/12(金) ぱしふいっく びいなす船内コンサート

4/13(土) サントリー九州熊本工場(熊本県嘉島町)

4/14(日) 熊本県立劇場(熊本県熊本市) *くまもん音楽祭

「こころのビタミンプロジェクト in 東北」(宮城県、岩手県10会場)

*サントリー「東北サンさんプロジェクト」

*岩手県内活動:「三陸防災復興プロジェクト2019・さんりく音楽祭」と連携

【日程】令和元年7月31日(水)～8月4日(日)

【スケジュール】7/31(水) 電力ホール(宮城県仙台市)、大船渡市民文化会館リアスホール(岩手県大船渡市)

8/1(木) 山田町中央公民館(岩手県山田町)、大槌町文化交流センター(おしゃつち)(岩手県大槌町)、釜石市民ホール TETTO ホールA(岩手県釜石市)

8/2(金) 宝来館松の根亭(岩手県釜石市)、緑地等管理中央センター アズヴィホール(岩手県田野畑村)、宮古市民文化会館(岩手県宮古市)

8/3(土) 久慈市文化会館 アンバーホール(岩手県久慈市)

8/4(日) 種市駅前広場(岩手県洋野町)

(c) 演奏会「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」(KOBELCO 大ホール)

【日程】8月31日(土)、9月1日(日) 2公演 入場者数3,971人

(d) その他の活動

- ・国際ソロプチミスト亀岡認証30周年記念コンサート
【日程・場所】 5月11日 ガレリアかめおかコンベンションホール
- ・新長田合同庁舎完成式典
【日程・場所】 7月6日 新長田合同庁舎
- ・サントリー本社ロビー ランチタイムコンサート
【日程・場所】 7月30日 サントリー本社ロビー
- ・風に立つライオン基金 チャリティーイベント
【日程・場所】 7月30日 横浜アリーナ
- ・サンシティタワー神戸
【日程・場所】 9月15日 サンシティタワー神戸
- ・サンシティパレス塚口
【日程・場所】 9月22日 サンシティパレス塚口
- ・ル・ポン音楽祭 ①ほのぼのコンサート、②プリコンサート
【日程・場所】 9月29日 ①赤穂市民病院
②ハーモニーホール(赤穂) 小ホール
- ・元町ミュージックウィーク
【日程・場所】 10月5日 元町商店街(2回)
6日 元町商店街(1回)
- ・慶應三田会
【日程・場所】 11月10日 神戸ポートピアホテル
- ・阪急西宮ガーデンズ クリスマスツリー点灯式
【日程・場所】 11月15日 阪急西宮ガーデンズ ウェルカムガーデン
- ・ひょうご博 in 大阪
【日程・場所】 11月16日 MBS ちゃやまちプラザ
- ・うめだ阪急 クリスマスイベント(2回)
【日程・場所】 12月8日 阪急うめだ本店
- ・1万人の第九
【日程・場所】 12月1日 大阪城ホール
- ・ソロプチミスト大阪認証50周年記念コンサート
【日程・場所】 12月20日 リーガロイヤルホテル大阪
- ・NPO 法人はりまキッズランド公演
【日程・場所】 12月21日 淳心学院高等学校 心誠館(姫路)
- ・サマランカホール自主公演
【日程・場所】 12月22日 サマランカホール(岐阜)
- ・高槻支援学校 ふゆまつり
【日程・場所】 12月24日 高槻支援学校
- ・AIG損保ニューイヤーコンサート
【日程・場所】 1月17日 グランフロント大阪
- ・西宮友の会
【日程・場所】 1月18日 ルナ・ホール(芦屋)
- ・サンシティ宝塚
【日程・場所】 1月26日 サンシティ宝塚
- ・長谷工コーポレーション コンサート

【日程・場所】 2月 1日 大阪市中央公会堂

・明石公演（畑崎財団助成）

【日程・場所】 2月 2日 子午線ホール（明石）

・やまと郡山城ホール

【日程・場所】 2月 11日 やまと郡山城ホール

・サルビアコンサート

【日程・場所】 2月 15日 ピフレ新長田

（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

・養父市文化会館（仮称）開館プレ公演

【日程・場所】 3月 15日 八鹿文化会館

③ 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へPR（県内外からの依頼公演等）

（ア）県内外ホールと連携した演奏活動

（a）佐渡裕芸術監督指揮によるシーズンオープニング・フェスティバルと同演目によるコンサート

神戸市（神戸新聞松方ホール）

9月16日（月・祝）

たつの市（たつの市総合文化会館）

9月18日（水）

（b）佐渡裕芸術監督指揮による特別演奏会と同演目によるコンサート

*楽団創設15周年記念ツアー

会 場		日 程
[県外]	三原市（三原市芸術文化センター）	令和2年1月25日（土）
	鳥取市（鳥取県文化会館）	1月26日（日）
	仙台市（宮城県民会館）	1月29日（水）
	名古屋市（愛知県芸術劇場）	1月30日（木）
	富山市（富山市芸術文化センター）	2月 2日（日）
[県内]	神戸市（神戸国際会館）	2月 4日（火）

（イ）幅広いニーズに対応した演奏活動

（a）甲南学園100周年コンサート（KOBELCO大ホール） 4月10日（水）

（b）billboard classics 倉木麻衣（KOBELCO大ホール） 5月 1日（水）

（c）billboard classics 八神純子（KOBELCO大ホール） 5月11日（土）

（d）須磨学園コンサート（神戸国際会館） 11月 5日（火）

（e）1万人の第九（大阪城ホール） 12月 1日（日）

（f）小曾根真クリスマス・ジャズ・ナイト2019（BUNKAMURA ホーチクトホール（東京））

12月11日（水）・12日（木）

（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

（g）ベイコムコンサート（アルカニックホール）

令和2年2月28日（金）

（新型コロナウイルス感染症の影響により延期）

（h）童謡コーラス（KOBELCO大ホール）

3月31日（火）

（ウ）県議会議場コンサート

令和2年2月18日（火）

④ コアメンバー演奏力の強化

（ア）PACシーズンオープニング・フェスティバル（ミュージックキャンプ）

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層

の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め（9月）に国内外より著名な指導者陣（スペシャル・ゲスト・プレイヤー）を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図った（ミュージックキャンプ）。

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催（共同主催）することで、地域における音楽文化の発展に寄与した（フェスティバル）。

【時期】9月3日（火）～7日（土）5日間

＊その直後の佐渡監督指揮第117回定期演奏会(9/13～9/15)に成果を繋げる

【会場】明石市民会館、芸術文化センター

【内容】①室内楽プログラム（スペシャル・ゲスト・プレイヤーのリーダーシップ）

②オーケストラプログラム（指揮：佐渡芸術監督）

③アウトリーチコンサート

④リハーサル公開、マスタークラス等

【スケジュール】9月3日（火）～4日（水）結団式、シーティングオーディション等実施（芸術文化センター）

9月5日（木）～7日（土）オーケストラ練習、リハーサル、マスタークラス、公開リハ、
オーケストラ公演、アウトリーチ（明石市）等 計1事業1公演

【出演】佐渡裕（指揮・芸術監督）

兵庫芸術文化センター管弦楽団（コアメンバー）

スペシャル・ゲスト・プレイヤー

・森下幸路（Vn 大阪交響楽団コンマス）

・水島愛子（Vn PAC ミュージック・アドヴァイザー・元ベルリン放送響）

・オイヴィン・ギムゼ（Vc 元トロンハイム・ソロイスト芸術監督） ・ウルリッヒ・ウォルフ（Cb ベルリン・フィル）

・クリストフ・ハルトマン（Ob ベルリン・フィル） ・アンドレイ・ズスト（Hr ベルリン・フィル）

・ミハエル・ヴラダール（Timp ウィーン交響楽団首席）

（開催地）平成25年洲本市⇒平成26年豊岡市⇒平成27年洲本市⇒平成28年篠山市⇒平成29年赤穂市⇒
平成30年篠山市⇒令和元年明石市

（イ）世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘し（特別契約奏者）当楽団との共演、指導（マスタークラス）により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設けた。

アビゲイル・ヤング（Vn）、クララ＝ジュミ・カン（Vn）、ベルンハルト・ハルトーク（Vn）、ペーター・ヴェヒター（Vn）、アントン・バラコフスキー（Vn）、フォルクハルト・シュトイデ（Vn）、キリル・マキシモフ（Vn）、ユルゲン・ヴェーバー（Va）、シンシア・リャオ（Va）、ウェンシャオ・ツェン（Va）、オイヴィン・ギムゼ（Vc）、ヨナス・クレイチ（Vc）、アントニオ・メネセス（Vc）、クレメンス・ヴァイゲル（Vc）、ウルリッヒ・ウォルフ（Cb）、クリストフ・ハルトマン（Ob）、ライナー・ザイデル（Fg）、アンドレイ・ズスト（Hn）、ヨナス・ルードナー（Hn）、パーチョ・フローレス（Tp）、ハネス・ロイビン（Tp）、ミハエル・ヴラダール（Timp）ほか

【兵庫芸術文化センター管弦楽団事業 評価】

(1) 演奏会活動

- 国内では例のないシーズン年 9 回全 3 公演の定期演奏会をはじめ多彩なプログラムで本格的な演奏活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度は定期演奏会 1 事業 3 公演、特別演奏会 1 事業 1 公演、室内楽公演 1 事業 1 公演が中止となった。
- H31 年定期演奏会員(2019-20 シーズン通し券購入者)は 4,303 人となるなど、佐渡芸術監督や楽団の清新な魅力が大きな支持を得て、期待を集めた。特に、佐渡裕芸術監督の第 117 回定期演奏会ではブルックナーの最高傑作と言われる「交響曲第 8 番」、また第 120 回定期演奏会では「阪神・淡路大震災 25 年事業」として「レクイエム」(フォーレ)と演奏される機会が少ない「ヴァイオリン協奏曲」(ベートーヴェン)のピアノ協奏曲版を上演するなど意欲的なプログラムを取り組んだ。
- 開催した公演の平均公演入場率(R1)は 95.9%で、満足度も高い評価を得ており県民の音楽鑑賞ニーズに応えるとともに、音楽文化の向上に貢献した。

(2) 体験教育・普及活動

- 県内の中学 1 年生全員を対象とした体験教育「わくわくオーケストラ教室」(40 公演)を実施。日頃演奏会に馴染みのない子供達に本格的ホールで生のオーケストラ鑑賞・感動体験機会を提供することで音楽への関心や感性を高め、将来のファン層を形成した(「よかった」評価 90%超)。
- 県立劇場・楽団のミッションとして、佐渡芸術監督による音楽授業や楽団員によるアウトリーチ活動等を積極的に展開。平成 29 年度からは、小学校・特別支援学校等へのアウトリーチを継続実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により公募アウトリーチ 1 回及び小学校・特別支援学校等へのアウトリーチ 12 校 12 回が中止となった。
- 佐渡芸術監督とスーパーキッズ・オーケストラが被災地復興祈念訪問活動として、これまで続けて来た東日本大震災被災地や熊本地震被災地で継続して演奏活動を行った(13 会場)。

(3) 多彩な演奏活動

- 県内ホールと連携し、シーズン・オープニング・フェスティバルと同演目の県内巡回公演を実施。県立劇場・楽団のミッションとして、佐渡裕芸術監督とともに芸文センター専属オーケストラである管弦楽団積極的に県内活動を展開し、「阪神・淡路大震災 25 年追悼式典」においても献奏を行った。また、楽団創設 15 周年記念ツアー(佐渡裕芸術監督指揮)を県内外 6 公演に加え、小曽根真クリスマス・ジャズ・ナイト 2019(東京)など幅広いニーズの公演にも出演。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、県内の団体と連携して実施を予定した 1 事業 1 公演が中止、1 事業 1 公演が延期を余儀なくされた。

(4) コアメンバー演奏力の強化

- PACシーズン・オープニング・フェスティバルを開催。新メンバーを迎え、シーズン幕開けとなる 9 月に佐渡芸術監督指揮で定期演奏会・シーズンを通じた楽団の安定的運営に向け、ミュージックキャンプを実施。「楽団の設置、運営目的の浸透・徹底」、「団結力の強化」、「演奏・アンサンブル力の強化」、「地域における音楽文化の発展(開催市町とのネットワーク強化)」を図った。(合宿地:明石市)

(5) コアメンバー退団後の主な活動状況

- 猪子奈美(ヴァイオリン):中国国家大劇院管弦楽団、竹下芳乃(ヴァイオリン):九州交響楽団、小島愛子(ヴァイオリン):東京フィルハーモニー交響楽団、タイール・キサンバイエフ(ヴァイオリン):メルボルン交響楽団アシスタント・コンサートマスター、柳響麗(ヴァイオリン):広島交響楽団、チャン・ズーホァ(チェロ):蘇州交響楽団首席、井上大貴(コントラバス):広島交響楽団、吉村結実(オーボエ):NHK 交響楽団、トニー・リウ(ファゴット):ヨンショーピング・シンフォニエッタ(スウェーデン)首席、菅原早由吏(ファゴット):ザールブリュッケン・カイザーセラウテルン・ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、デイヴ・バーンズ(ティンパニ/パーカッション):国立台湾交響楽団首席

(6) 新型コロナウイルスの影響

- 令和 2 年 2 月末から新型コロナウイルス感染症のため、演奏会活動(3 事業 5 公演)、普及活動(公募アウトリーチ 1 回、小学校・特別支援学校等へのアウトリーチ 12 校 12 回、スーパーキッズ・オーケストラ活動 1 回)及び多彩な演奏活動(2 事業 2 公演)が中止・延期となり、楽団員の演奏機会やアカデミー機能及び小学校・子どもの音楽体験機会が減少するなど楽団の活動に大きな影響を及ぼした。
- 海外からの指揮者・ソリスト・客演コンマスなどの特別契約奏者の来日が見通せない状態で、楽団の特徴であるアカデミー機能が十分に果たせるかが課題となる。

<ホール別の主催事業数・公演数>

区分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事 業	
KOBELCO 大ホール	40 事業 55 公演	3 事業 3 公演	13 事業 32 公演	1 事業 40 公演	57 事業 130 公演
阪急 中ホール	59 事業 144 公演	6 事業 13 公演	—	—	65 事業 157 公演
神戸女学院 小ホール	20 事業 22 公演	5 事業 5 公演	6 事業 6 公演	—	31 事業 33 公演
小計	119 事業 221 公演	14 事業 21 公演	19 事業 38 公演	1 事業 40 公演	153 事業 320 公演
外部公演	36 公演	—	1 事業 1 公演	—	1 事業 37 公演
楽団外部依頼 公演	—	—	16 事業 17 公演	—	16 事業 17 公演
計	119 事業 257 公演	14 事業 21 公演	36 事業 56 公演	1 事業 40 公演	170 事業 374 公演
	133 事業 278 公演		37 事業 96 公演		
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

〔注1〕 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

3 芸術文化センター広報・普及活動

(1) 広報活動

① 多面的な広報宣伝活動

(ア) 記者発表等の情報発信

発売記者発表：センター事業の発売・イベントについて、原則毎月記者発表（資料配布）のほか、主な事業について個別制作発表・出演者記者会見を企画

広域的なPR、ファンの発掘・裾野拡大、安定的・継続的な有料入場者の確保をめざして積極的に展開

(イ) マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、雑誌、書籍などからの佐渡芸術監督ほか芸文センターへの取材要請に対し、きめ細かな対応・活用を図るとともに、自主広告との相乗効果を図る。

(ウ) 交通機関広報－ポスター活用－

京阪神中心に、阪急・JRの鉄道車両・駅にポスターを掲出

(エ) 放送局等との共催

放送局等との共催型公園事業により、効果的なPR活動を推進

【主なもの】

放送日	放送局	番組名	形態	内容
2019.5.2	MBS ラジオ	ありがとう浜村淳です	情報番組	「のだめカンタービレの音楽会」茂木大輔
2019.5.22	関西テレビ	ピーチケパーチケ	情報番組	「キネマと恋人」妻夫木聡ほか
2019.5.29	関西テレビ	ピーチケパーチケ	情報番組	「のだめカンタービレの音楽会」酒井有彩
2019.5.30	TBS	櫻井・有吉 THE 夜会	情報番組	「キネマと恋人」妻夫木聡
2019.5.31	NHK(全国)	あさイチ	情報番組	「キネマと恋人」妻夫木聡
2019.6.1	関西テレビ	ピーチケプラス	情報番組	「のだめカンタービレの音楽会」酒井有彩
2019.6.12	関西テレビ	ピーチケパーチケ	情報番組	「のだめカンタービレの音楽会」茂木大輔 「キネマと恋人」妻夫木聡ほか
2019.6.15	関西テレビ	ピーチケプラス	情報番組	「のだめカンタービレの音楽会」茂木大輔
2019.7.3	ABC ラジオ	ドッキリ！ハッキリ！三代澤康司です	情報番組	「オン・ザ・タウン」佐渡裕
2019.7.13	関西テレビ	ピーチケプラス	情報番組	「のだめカンタービレの音楽会」 「ビッグ・フィッシュ」川平慈英、浦井健治
2019.7.20	NHK(全国)	おはよう日本	ニュース番組	「オン・ザ・タウン」紹介、佐渡裕
2019.7.20	毎日放送	サタデープラス	情報番組	「オン・ザ・タウン」佐渡裕
2019.9.16	毎日放送	佐渡裕さんと31人のこどもたち ～2019 スーパーキッズ・オーケストラ物語～	特別番組	佐渡裕 SKO 出演
2019.9.29	関西テレビ	ゴールデンボンバー・歌広場淳のミュージカル広場	情報番組	「ビッグ・フィッシュ」浦井健治
2019.11.1	関西テレビ	よ～いドン！	情報番組	「正しいオトナたち」真矢ミキ
2019.12.11	関西テレビ	ピーチケ Music	情報番組	「エーテポリ交響楽団」三浦文彰
2019.12.18	関西テレビ	ピーチケパーチケ	情報番組	「タクフェス」宅間孝行ほか 「エーテポリ交響楽団」三浦文彰
2019.12.21	毎日放送	1万人の第九 2019	特別番組	佐渡芸術監督
2020.1.4	関西テレビ	ピーチケプラス	情報番組	「エーテポリ交響楽団」三浦文彰
2020.1.8	関西テレビ	ピーチケ Music	情報番組	「エーテポリ交響楽団」三浦文彰
2020.1.16	毎日放送	ミント	情報番組	佐渡芸術監督
2020.1.18	関西テレビ	ピーチケプラス	情報番組	「タクフェス」宅間孝行
2020.1.18	NHK BS1	しあわせ運べるように 神戸が生んだ奇跡の歌の物語	特別番組	佐渡芸術監督
2020.1.22	関西テレビ	ピーチケパーチケ	情報番組	「タクフェス」宅間孝行 「エーテポリ交響楽団」三浦文彰
2020.1.26	NHK-FM	ブラボー！オーケストラ	音楽番組	PAC、ロッセン・ミラノ指揮
2020.1.30	関西テレビ	報道ランナー	情報番組	「タクフェス」モト冬樹

2020.1.31	ラジオ大阪	GOGO フライデーショー	情報番組	「タクフェス」モト冬樹
2020.2.1	関西テレビ	にじいろジーン	情報番組	「タクフェス」モト冬樹
2020.2.18	関西テレビ	セブン・ルール	情報番組	PAC わくわく、齋藤友香理指揮
2020.3.6	ラジオ大阪	若宮テイ子のハッピー・プラス	情報番組	「タクフェス」秋本奈緒美
2020.3.6	FM COCOLO	THE MAGNIFICENT FRIDAY	情報番組	「タクフェス」秋本奈緒美

(オ) 県広報媒体の活用

- ・「県民だよりひょうご」などの紙面媒体
- ・県民情報番組 “ひょうご発信！”など電波媒体

② 自主媒体による展開

(ア) 舞台芸術情報誌の発行

舞台芸術をはじめ多彩な芸術文化の情報を発信するため、情報誌を発行

- 【内容】
- ・芸術文化センター事業特集
 - ・イベント情報（音楽・演劇・舞踊等の各種イベントガイド）
 - ・舞台芸術をはじめ多彩な芸術文化の情報

【発行】 年2回／各65,000部

(イ) 会報誌（先行予約会員 NEWS）の発行 毎月1回／（平均55,000部）

(ウ) ホームページの運営 (<http://www.gcenter-hyogo.jp>)

施設、公演事業、付属管弦楽団をPRするとともに情報交流を推進

【内容】 施設概要・公演案内・入場券発売・楽団情報 等

(エ) ホームページ・アクセス件数 1,248,730件（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(オ) 特設サイトの開設

(a) 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ特設サイト（オペラ毎に開設）

「オン・ザ・タウン」(H30.12.27開設) <http://www.gcenter-hyogo.jp/on-the-town/>

「ラ・ボエーム」(R2.1.24開設) <http://www.gcenter-hyogo.jp/boheme/>

【内容】 作品・キャスト等の紹介、最新のニュース 等

(b) 兵庫芸術文化センター管弦楽団特設サイト（H19.2開設）

【内容】 楽団・メンバーの紹介、活動等紹介、最新のニュース 等

(カ) メールマガジンへの情報発信 毎月1回：先行予約発売情報・楽団PR等の情報

(キ) SNSの活用

(a) 公式Twitterアカウント（H28.12利用開始）

若者の利用者が多いため、拡散力があり、タイムリーな情報配信が得意なTwitterを活用し、発売情報やニュース&トピックスなどのセンター広報の即時性を強化

(b) プロデュースオペラ公式Twitterアカウント（H29.2利用開始）

オペラに特化した情報を配信

(c) プロデュースオペラ公式Instagramアカウント（R1.12利用開始）

画像や動画などを配信できるInstagramを活用し、オペラの練習風景などの動画を配信

(ク) 動画の配信

(a) 楽団公式YouTubeの活用（H25.11利用開始）

楽団特設サイトで、定期演奏会のライブ映像やゲスト奏者の楽団紹介映像を全世界に発信し、楽団及び楽団員の活動を紹介するとともに、国内外の優秀な若手演奏家の楽団入団を促進

③ 芸術文化センター先行予約会員制度（無料会員）

【特典】 チケット先行予約（価格割引なし）、インターネット購入が可能

④ チケット販売体制

（ア）チケットオフィス

毎月の先行予約時にスタッフ40名、電話35台という全国の劇場では例のない充実した電話受付体制を敷くとともに、窓口案内／チケットカウンターに5つの窓口を設け、チケット窓口引き取りの混雑緩和に対応

（イ）プレイガイドの特設電話サービスの活用

プロデュースオペラ、ワンコイン・コンサートでは、プレイガイド特設電話サービスを利用して、電話による購入機会を拡大

（ウ）チケット・会員システムをリニューアル（8月17日）

（a）セキュリティを強化

- ・クレジット決済は、セキュリティ国際基準（PCI DSS）に準拠した決済代行会社を利用
- ・会員番号による認証をやめ、会員自身で設定できるログインIDとパスワードによる認証に変更

（b）購入者の利便性を向上

- ・チケット発券可能なコンビニ店舗にセブン-イレブンに加え、ファミリーマートを追加し取扱店舗数を拡大
- ・先行予約開始直後のアクセス集中時にも安定的に稼働
- ・プレイガイド特設電話と同様の自動音声応答（IVR）導入により、電話による購入機会を拡大

（2）主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのプレレクチャーなどを実施。演劇事業等にもさらに拡充していく。

（ア）公開リハーサル

内 容		開催日	参加者（人）
オペラ「オン・ザ・タウン」公開リハーサル		元. 7. 10	642
楽団・定期演奏会	第114回	31. 4. 18	594
	第115回	元. 5. 23	461
	第116回	元. 6. 20	451
	第117回	元. 9. 12	762
	第118回	元. 10. 17	478
	第119回	元. 11. 21	461
	第120回	2. 1. 16	620
第121回	2. 2. 13	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

	第122回	2. 3. 12	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合 計	8事業	8回	4,469

(イ) ワークショップ等

内 容		開催日	参加者 (人)
楽器体験コーナー 「音のどうぶつえん」 (KOBELCO 大ホールホワイエ)	楽器を触ったり演奏したりする 楽器体験コーナー 指導:大阪音楽大学管弦打楽器専攻生有志 ※宮川彬良&アンソブル・ベガ (5/5)入場者	元.5.5	1,126
影アナウンス体験 (KOBELCO 大ホール)	舞台上で影アナウンス実体験 ※宮川彬良&アンソブル・ベガ (5/5)入場者より募集	元.5.5	8
オペラ創造ワークショップ『オン・ザ・タウン』の制作アトリエ &バックステージツアー (KOBELCO 大ホール)	翌日に公演初日を控えた劇場で演出家やデザイナー等プロダクション関係者が制作秘話を語る	元.7.11	357
「劇場ってどんなところ？」 (阪急中ホール)	人形劇団ひとみ座が「劇場」の秘密を紹介。	元.8.3	1,113
合 計	4事業	4回	2,604

(ウ) バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にすることのできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催。

内容		開催日	入場者(人)
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2019			
第1回	なるほど「KOBELCO 大ホール」編	元. 5. 28 (2回)	101
第2回	なるほど「PACオーケストラ」編	元. 6. 12 6. 13 (各1回)	97
第3回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	元. 8. 8 (2回)	182
第4回	なるほど「阪急 中ホール」編	元. 9. 25 (2回)	83
第5回	なるほど「神戸女学院小ホール」編	元. 11. 1 (1回)	92
第6回	なるほど「建物と仕事人」編	元. 12. 3 (2回)	49
合 計	6事業	11回	604

(エ) 企画展示 (共通ロビー情報コーナー「ポッケ」)

内容		開催日
バレエコレクション 企画展示 *故薄井憲二氏(企画制作アドバイザー)の貴重なバレエコレクション(約6,500点)を活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観	薄井憲二バレエ・コレクション常設展 (共通ロビー)	31.4.1~2. 3.31
	2018 企画展 バレエと美術	31.3.19~4.21
	薄井バレエ・コレクション企画展 2019 年度1回目 初演 100 周年「風変わりな店」 「三角帽子」	元. 10. 8~11. 17
	薄井バレエ・コレクション企画展 2019 年度第2回「人形たちの饗宴 I ~<鏡>を覗くように~」	2. 2.11~3.15
主催事業関連企画展示	世界音楽図鑑/古楽の愉しみ/プロムナード コンサート	31. 4. 23~元. 5. 26
	中ホールでの演劇&落語特集	元. 5. 28~6. 23
	佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ 2019 「オン・ザ・タウン」	元. 6. 25~7. 21
	Sound theater IX	元.7.23~9.1
	兵庫芸術文化センター管弦楽団 2019-2020 公演ラインナップ&新メンバー紹介	元.9.3~10.6
	Hyogo クリスマス・ジャズ・フェスティバル	元. 11. 19~12. 23
	阪神・淡路大震災から25年	元. 12. 25~2. 2. 2
	2020 年度芸術文化センター公演ラインナップ	2. 3. 17~4. 19 (新型コロナウイルス感染症の影響により公開は4月7日まで)

(オ) 薄井憲二バレエ・コレクション

(a) コレクションの活用 (貸出)

故薄井憲二氏が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料(書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約6,500点)、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出した。

内 容	貸出先	貸出期間 (開催日)
DANCE CUBE WEB MAGAZINE『薄井憲二バレエ・コレクション』を訪ねて	チャコット(株)	29.3.3 開始~継続中
日本アレンスキー協会 NEWS LETTER NO. 17	日本アレンスキー協会	元.8. 1

オン★ステージ新聞 9月20日号	(株)青林堂	元.9.13
オン★ステージ新聞 10月11日号	(株)青林堂	元.10.4
オン★ステージ新聞 2月14日号	(株)青林堂	2.2.7
バレエ・デ・シャンゼリエ (深澤南土実 著)	一般社団法人 法政大学出版局	2.2.25

(b) 目録の作成

コレクションを活用して、当センターの広報宣伝・普及活動を充実させるとともに、バレエの歴史・芸術性の理解を通じてバレエ公演の一層の普及を図るため、故薄井憲二氏監修のもと、コレクションを体系化し、目録として整理した。

*第1巻 プログラム・台本 (平成23年度)、第2巻 書籍・楽譜 (平成24年度)、第3巻 アンティークプリント・手紙・サイン・切手他 (平成26年度)、第4巻 写真・ポストカード・衣裳・陶器・メダル・コイン他 (平成27年度)

4 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

- ・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動
令和元年7月31日～8月4日：東日本大震災復興祈念被災地訪問活動
(仙台市、岩手県大槌町・釜石市・宮古市など)

- ・東日本大震災復興祈念等事業資金
センター職員が、外部の委員会(芸術文化関連)の委員として従事したり、大学等で講義・講演を行う場合の報酬等や大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理し、被災地への支援活動を行い有効活用。
 - ① 財源：委員謝金、寄附金、表彰副賞 等
(委員謝金：38件 1,192千円、講師謝金：63件 10,073千円(H23～R元))
*第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞(地域政策研究会500千円)、神戸新聞平和賞副賞(神戸新聞300千円)、福島原発事故賠償金(東京電力7,386千円)、大口の寄附金(H25:2,000千円、H26:4,000千円、H29:50,000千円)等
*第44回神戸キワニス社会公益賞青少年ボランティア賞副賞(神戸キワニスクラブ100千円)
 - ② 充当事業
 - (ア) スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏
 - (イ) PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動
 - (ウ) プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等

- ・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産
サントリーホールディングス(株)がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附(平成26年度)いただいた150,000千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動(平成27年度から10年間)を展開(サントリー「東北サンさんプロジェクト」の一環)

【芸術文化センター広報・普及活動 評価】

(1) 広報活動

- 新聞・専門誌、県広報媒体等への積極的な情報提供・取材対応、放送局等との連携を通じた広域かつ多面的なPR(広報宣伝活動)によりファンを発掘・裾野拡大を行い、券売枚数 26.6 万枚、券売率 88.6%を達成したが、新型コロナウイルス感染症の影響による公演中止により券売枚数 1.6 万枚が払い戻しとなった。
- スマートフォンや英語に対応するなど、ホームページをより使いやすくするとともに、佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ専用サイトの開設やSNS(ツイッター、インスタグラム)の活用による情報発信の強化により、インターネットを活用した広報も積極的に行った。

(2) 会員制度

- 無料の先行予約会員制度により、会員約 62,000 人を確保し、リピーターの確保を図るとともに、毎月の会報誌送付等、「先行予約」時期に合わせた集中広報戦略により、先行予約期間中に約4割を販売するなど、経済的・効率的な広報を実現した。
- インターネット予約の普及・定着(NET 比率が全体で約6割、先行予約受付開始 30 分間では約8割)により、チケットオフィスの電話予約の集中が緩和され「長時間電話が繋がらない」等のクレームが激減した。
- 8月17日にチケット・会員システムのリニューアルを実施、チケット引取可能なコンビニ店の拡充、自動音声応答による電話予約を可能にするなど、チケット購入のサービス向上を図るとともに、会員のログイン方法やクレジット決済に係るセキュリティを強化した。

(3) 主催事業と連動した普及事業等

- パブリックシアターとして、県民が舞台芸術に触れる多様な機会を提供するため、公開リハーサル、ワークショップ、バックステージツアーなどを実施、参加者からも大変好評を得ており、センターのソフト・ハードさらには舞台芸術への関心を深め、センターファン層を上げた。
ワークショップでは、公演に先駆けて、楽器体験や公演の制作秘話や舞台の秘密を学ぶなど、より公演に親しんでもらえる内容を充実した。

(4) 企画展示

- 情報コーナー「ポッケ」(共通ロビーに設置)では、貴重な薄井バレエ・コレクションの企画展示をはじめ、公演と連動した様々な展示を常時実施、興味を喚起し、知識を深める場を提供した。
3月17日から4月19日まで予定されていた年度最後の展示「2020年度芸術文化センター公演ラインナップ」は、新型コロナウイルスの影響による臨時休館のため、4月7日までの公開となった。

(5) 災害被災地復興祈念の取組

- 阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとして誕生した県立劇場として、兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC)による募金活動などとともに、大口の寄付金等を有効に活用しながら、佐渡裕芸術監督のもとスーパーキッズ・オーケストラによる東北、熊本への復興祈念演奏活動の実施など、継続して災害被災地を応援した。

5 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

① 施設の管理運営

* 施設利用（貸館）受付の状況

- ・ 本格的舞台芸術公演の優先利用受付（18か月前受付）
毎月1日から18か月後の月分を受付
- ・ 一般（貸館）利用受付

a ホール（12か月前受付）

毎月1日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は4か月前の末日までに随時受付

【ホール利用実績】平成31年4月～令和2年3月

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
	基準	実績	基準	実績	主催事業	貸館事業
					実績	実績
KOBELCO 大ホール	290	321	203 (70%)	294 (144.8%) [91.6%]	237 [80.6%]	57 [19.4%]
阪急 中ホール		317		292 (143.8%) [92.1%]	242 [82.9%]	50 [17.1%]
神戸女学院 小ホール		308		288 (141.9%) [93.5%]	61 [21.2%]	227 [78.8%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の()内：利用日数（基準）と比較した利用率、[]内：開館日数（計画）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の[]内：主催事業、貸館事業の比率

b スタジオ、リハーサル室（3か月前受付）

毎月1日に3か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

【リハーサル室・スタジオ利用】（平成31年4月～令和2年3月）

施設名			開館日数	利用日数
リハーサル室	1	331㎡（ピアノ有り）	315	261 [82.9%]
	2	88㎡（ピアノ有り）	295	287 [97.3%]
スタジオ	1	22㎡	294	243 [82.7%]
	2	22㎡	293	279 [95.2%]
	3	22㎡（ピアノ有り）	301	271 [90.0%]
	4	11㎡（ピアノ有り）	295	295 [100.0%]
	5	82㎡（ピアノ有り）	298	294 [98.7%]

*施設（ホール、リハーサル室・スタジオ）利用登録件数（累計） 3, 868

<ホール別の貸館事業数・公演数> (平成31年4月～2年3月)

区分	KOBELCO 大ホール	阪急 中ホール	神戸女学院小ホール	計
貸館事業	47 事業 53 公演	36 事業 46 公演	223 事業 227 公演	306 事業 326 公演

(*芸術文化センター各ホール公演総数(主催+貸館 646 公演)

【付属駐車場利用】(平成31年4月～2年3月)

施設名	開館日数	利用台数(台)
付属駐車場	302	延べ利用台数 23,134

【利用料収入】(単位:円、税込)

施設名		金額	
		R元	H30(参考)
区分	大ホール	47,020,370	45,225,160
	中ホール	12,920,440	11,951,450
	小ホール	23,315,760	24,513,320
	リハーサル室	3,344,500	3,934,300
	スタジオ	4,744,250	4,292,000
ホール等計		91,345,320	89,916,230
附属設備		37,225,250	38,053,800
附属駐車場		13,660,650	16,077,600
合計		142,231,220	144,047,630

(ア) 人材育成

(a) 舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進。(舞台技術セミナー 12月)

(b) アートマネジメント講座の開催

文化施設職員等を対象に、アートマネジメントに必要な専門的知識・技術を習得させることを目的として開催。

内容		開催日	参加者(人)
第1回	「チケット～不正転売禁止法・リセール・チケットレス～」 講師：ぴあ株式会社中日本・西日本エリア事業局 ライブ・エンタテインメント部第二ユニット長 梅垣皓照氏	2.1.29	29
第2回	中止		
合計		1事業 1回	29

(c) アートマネジメント関係の人材育成 ほか

事業名	期間	参加者	参加者(人)	備考
アートマネジメント講座	元.5.31	(公財)明石文化国際創 生財団	20名	講師派遣 (1人)
大学でのアートマネジメント講座	元.11.12	青山学院大学	30名	講師派遣 (1人)

大学でのアートマネジメント講座	31. 4. 1 ～元. 9. 23	神戸女学院大学 (15回)	70	講師派遣 (2人)
大学でのアートマネジメント講座	元. 6. 12、 元. 10. 30	大阪音楽大学 (2回)	30	講師派遣 (1人)
インターンシップ	元. 8. 6～8. 8、 元. 8. 31～9. 1	京都女子大学	2	運営業務
県庁インターンシップ	元. 8. 29	兵庫県立大学 ほか	3	
芸文センターでのアートマネジメント講座	元. 9. 5	大阪音楽大学	30	運営業務
大学での文化施設運営講座	元. 12. 11、 2. 1. 15	武庫川女子大学 (2回)	12	講師派遣 (1人)
大学でのアートマネジメント講座	元. 11. 26	政策研究大学院大学	20	講師派遣 (1人)
劇場技術人材養成セミナー	2. 1. 16	愛知県芸術劇場	50	講師派遣 (2人)
大学でのアートマネジメント講座	31. 4. 2 ～2. 3. 23	大阪芸術大学	80	講師派遣 (1人)

(d) 劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業

劇場・音楽堂等のアートマネジメントや舞台技術の担当職員の資質向上、実務研修を通じて劇場・音楽堂等の活性化と地域の文化芸術活動の充実を図るため、文化庁、(公社)全国公立文化施設協会が実施する劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業の研修生(1名)を受け入れた。

派遣元：武豊町民会館(愛知県)

研修期間：元. 9. 20～9. 27のうち6日間

(e) 体験学習等

事業名	期間	参加者	参加者(人)
トライやる・ウィーク (中学2年生)	元. 5. 14 ～17	西宮市立瓦木・深津中学校	4
	元. 5. 21 ～24	西宮市立平木中学校	5
	元. 5. 28 ～5. 31	西宮市立甲武中学校	3

(イ) 地域連携・にぎわいづくり事業

(a) 西北活性化協議会

芸術文化センターの開館を機に、センターを核とした地域全体の振興発展と活性化を目的に平成18年4月1日に設立(構成：アクタ西宮振興会、にしきた商店街、芸術文化センター、阪急西宮ガーデンズ)。センターと地元が一体となって様々なイベントを実施し、地域のにぎわいを創出。

[令和元年度] (2019 年度) イベント等

内容		開催日	参加者(人)
オペラ「オン・ザ・タウン」公演記念イベント『にしきたオペラウィーク&前夜祭』			
にしきたオペラウィーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ・コンサート 歌：能勢晴菜、戸田翔子、大野勇士 ピアノ：三井久美子 おはなし：松永芙紗子 (阪急西宮ガーデンズ本館 1F ウェルカムガーデン) 	元. 6. 22	385
	<ul style="list-style-type: none"> ・バーンスタインをみんなで語ろう、みんなでお茶会 (西宮公会堂) おはなし：菅澤先生 ゲスト：戸田翔子、大野勇士、三井久美子、松永芙紗子 	元. 6. 29	15
グルメ & マルシェウィーク	にしきた商店街・阪急西宮ガーデンズの店舗 (26 店) がオペラ期間中、特別メニューや特別サービスを実施	元. 7. 1 ~7. 21	—
前夜祭 ~いつも心に被災地を~	<ul style="list-style-type: none"> ・「オン・ザ・タウン」前夜祭 (雨天のため阪急中ホール) (佐渡芸術監督指揮、西宮市：瓦木・平木・深津中学校、篠山市：篠山東中学校吹奏楽部演奏) ・オン・ザ・ニシキタ ダンス好き大集合 キッズダンス、コンテンポラリーダンスなどのステージ ・教えて！佐渡監督 ・さきどり「オン・ザ・タウン」 オペラ「オン・ザ・タウン」中の楽曲より「NEW YORK NEW YORK」などを演奏 ・やっぱり最後は“にしきたずっと節”！ (若柳博可 (振付指導)、井本英子 (ピアノ)、佐渡芸術監督、共同幼稚園児童) ・えほん読みきかせイベント (兵庫県立ピッコロ劇団員) (芸文センターエントランス) 司会進行：岡崎弥生	元. 7. 11	523
第 13 回にしきた音楽祭 (LALALA ミュージシャンコンテスト)			
LALALA ミュージシャンコンテスト予選	3 会場において予選会を実施 (応募 81 組中、音源審査を通過した 28 組で予選会を実施) <ul style="list-style-type: none"> ・西宮市大学交流センター ・西宮公会堂 ・阪急西宮ガーデンズ 	元. 9. 15 元. 9. 8 元. 9. 22	200 200 500
同決戦	予選会を勝ち抜いた 8 組のミュージシャンによる決戦 (阪急中ホール) 司会：ひぐちのりこ	元. 10. 24	540
クリスマスイベント	次年度の芸術監督プロデュースオペラ 2020「ラ・ボエーム」公演にちなみ、クリスマス盛り上げよう！ クリスマスイベントを西宮北口周辺で実施 <ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーション点灯式 (高松公園、にしきた駅前公園、阪急西宮ガーデンズ) ・佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ 2020「ラ・ボエーム」プレ・イベント「パリのクリスマス」 (高松公園、芸文センターエントランス) 	元. 11. 9 元. 12. 14	500 700

(b) 地元企業との連携

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）

② 公立ホール等との連携

(ア) 公立文化施設協議会等

兵庫県公立文化施設協議会（加盟 36 ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協議会近畿地区支部委員、多面・大規模舞台劇場協議会メンバーとして県内外ホール間の連携を深めた。

*兵庫県公立文化施設協議会（第1回幹事会・定例総会 8月27日、第2回幹事会 12月19日）

(イ) 公共劇場舞台技術者連絡会

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟25ホール）の副会長として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指した。

(ウ) 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

- [参考]
- ・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備。平成27年度予算に「調査費」2,000万円を計上。経済界では「音楽ホール建設基金」が始動。音楽関係者が「楽都・仙台に復興祈念『2,000席規模の音楽ホール』を！市民会議」を設立
 - ・堺市（大阪府）：旧市民会館にかわる「フェニーチェ堺」（堺市民芸術文化ホール）を新設。令和元年10月オープン
 - ・枚方市（大阪府）：老朽化した市民会館にかわる「総合文化施設」を整備。平成27年2月に公募型プロポーザル方式により設計事業者選定。平成27年度設計業務着手。平成29年度着工、令和2年度供用開始予定
 - ・高槻市（大阪府）：老朽化した市民会館の建替。平成27年度基本計画策定。平成28年度設計業務。令和元年度建設工事着手、令和4年度開館予定
 - ・姫路市：姫路市文化事業の推進のため、姫路駅東側のキャストィ21イベントゾーン内に「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに文化コンベンション施設を整備中
 - ・札幌市：札幌市の文化事業振興のため、平成30年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣（平成29年度）

*その他、全国から視察を受入

③ 各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和2年4月1日から令和5年3月31日まで（3年間） *5期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛称	金額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000万円（税抜）
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急中ホール	1,500万円（税抜）
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500万円（税抜）

（主な表示物）看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

【施設の管理・運営事業（交流・発表の場の提供） 評価】

(1) 施設の運営・発表の場の提供

- 大規模修繕(H28)により安全・安心に施設設備を運営できており、省エネ化、バリアフリー化対応も増進できている。
- 年間イベント数 約 750(令和元年度 主催等 320・貸館 326 普及イベント等 82 計 728)
令和元年度公演入場者数 主催 317,935 人・貸館 153,306 人、普及イベント・ホール出演者・その他施設利用者等 233,076 人 計 704,317 人
開館 14 年のハイスピードで公演入場者数 700 万人を達成(令和元年 8 月 27 日)。
- 年間ホール実質稼働日数 令和元年度 321 日 *大・中・小ホールのいずれかの稼働日数
施設利用率(利用日数/開館日数)は各ホールとも基準利用率 70%を大幅に上回る高い利用率を維持。県民の鑑賞・創造活動の場としてフルに機能し、安全・安心・快適な劇場として県民に親しまれている。(R1 施設稼働率:KOBELCO 大ホール 91.6%、阪急 中ホール 92.1%、神戸女学院小ホール 93.5%)
- また、施設に対する満足度では、主催事業(観客)、貸館(利用者)とも総じて高い評価を得ている。
- リハーサル室・スタジオ(練習室)の利用も順調に推移しており、利用者の拡大・定着、創造活動支援効果が表れつつある。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年2月以降、貸館公演の中止がみられるようになり、3月4日からは主催事業、貸館共に利用が中止されたため、貸館の 25 事業 29 公演が中止された。
- ネーミングライツ支援(年間 5,000 万円)を受け、安定的な運営を確保した。
*令和2年4月1日から令和5年3月31日まで(3 年間) 5 期目
- 上質で多様な演目を提供することにより、“芸文センターファン”の方々から様々な形で寄附をいただくとともに、賛助会員の募集、文化庁や民間財団等からの公的助成の獲得など、多様な財源の確保に努めた。

(2) 人材育成

- アートマネジメント講座をはじめ各種研修会開催(会場提供含む)、さらに職員の大学等講師派遣などを通じて、舞台芸術界を支える人材育成(基盤整備)にも取り組んでいる。

(3) 地域連携・にぎわいづくり

- 西北活性化協議会を中心に、市内の大学生、幼稚園児、周辺自治会等の参加も得て公演関連イベント、開館記念イベント、クリスマスイベントなど趣向を凝らした様々なイベントを実施、地域のにぎわいと一体感形成に寄与した。
- 平成 18 年度から兵庫県公立文化施設協議会会長館に就任、県内文化施設(36 館)ネットワークの中核的役割を果たすとともに、全国の主要施設として、広域的なホール連携を実施した。
- 主な全国の公立ホール整備への支援として、センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイスをを行った。(堺市、枚方市、姫路市 ほか)

【今後の展開と中長期的課題】

7つのコンセプト(事業展開と施設管理運営)の維持・展開

ソフト:①多彩な舞台芸術の『創造・発信』、②『幅広いニーズ』に応える上演、③舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

ハード:①自主企画事業を中心に運営、②専門性の高い劇場の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進、③芸術文化の裾野拡大、④開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

「震災復興のシンボル」として兵庫から東北そして熊本へ

阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとして誕生した当センターとして、東日本大震災及び熊本地震の復興祈念の取組を継続していく。

これまでの好調さの安定・継続と新たな挑戦

「新たなステージ」に向け、①長期的な県収支フレーム(予算)をベースに継続的な充実財源の確保、②安全・安心な施設運営と安定的なソフト展開の土台となる設備・施設維持と改良、③優れた人材の確保・養成による運営体制の安定継続を図る。

*高稼働率の施設・設備を支えるための大規模修繕・長期改修の着実な計画の実施

*新型コロナウイルスの影響の下で、観客、出演者、職員、スタッフの安全・安心を確保しながらにぎわいのある公演を展開していく方策を模索

令和元年度芸術文化センター来館者総数

(1) 公演入場者

ホール名	公演入場者数 (人)
KOBELCO 大ホール	282,080
阪急 中ホール	126,673
神戸女学院 小ホール	62,488
計	471,241
	主催：317,935 貸館：153,306

(2) 総来館者数

公演入場者	471,241 人
広報・普及イベント参加者	57,005 人
ホール出演者・スタッフ等	46,745 人
リハーサル室・スタジオ利用者	34,299 人
チケット購入者・レストラン利用者・共通ロビー来館者等	95,027 人
計	704,317 人

(参考) 開館以来の来館者総数

項目	公演入場者数 (人)	各種来館者数 (人)	計
平成 17 年度	151,809	207,051	358,860
平成 18 年度	494,746	295,635	790,381
平成 19 年度	537,176	301,662	838,838
平成 20 年度	536,202	285,211	821,413
平成 21 年度	538,020	280,278	818,298
平成 22 年度	536,453	264,830	801,283
平成 23 年度	499,039	240,106	739,145
平成 24 年度	498,524	244,887	743,411
平成 25 年度	509,952	251,643	761,595
平成 26 年度	486,525	244,939	731,464
平成 27 年度	499,550	284,776	784,326
平成 28 年度	478,393	229,702	708,095
平成 29 年度	537,021	248,851	785,872
平成 30 年度	529,050	258,331	787,381
令和元年度	471,241	233,076	704,317
計	7,303,701	3,870,978	11,174,679

受賞 ～荣誉ある評価～

- ・関西元気文化圏賞ニューパワー賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H19. 1. 11 関西元気文化圏推進協議会]
- ・関西元気文化圏賞特別賞 [H23. 1. 20 関西元気文化圏推進協議会]
- ・地域創造大賞(総務大臣賞) [H23. 1. 21 (財)地域創造]
- ・神戸新聞平和賞「佐渡裕と兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H23. 5. 3 (株)神戸新聞社]
*賞金(30万円)は東日本大震災被災地へのPACコアメンバーによるアウトリーチ活動等に活用
- ・関西元気文化圏賞10周年記念特別賞「佐渡裕芸術監督」[H25. 1. 22 関西元気文化圏推進協議会]
- ・第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」
[H29. 4. 24 (一財)ミュージック・ペンクラブ・ジャパン]
- ・貝原俊民美しい兵庫づくり賞「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」[H29. 11. 22(一財)地域政策研究会]
- ・関西元気文化圏賞ニューパワー賞「スーパーキッズ・オーケストラ」[H31. 1. 22 関西元気文化圏推進協議会]
- ・第44回神戸キワニス青少年ボランティア賞「スーパーキッズ・オーケストラ」[R1. 12. 4 神戸キワニスクラブ]

感謝状

- ・西宮市消防局(芸術文化センターにおける消防用設備の充実と、職員への防災教育の徹底により、消防行政の推進に貢献している功績に対して) H27. 3. 6
- ・宝塚市(1月17日宝塚市犠牲者慰霊式でのPACメンバーの追悼演奏に対して) H27. 3. 14
- ・(公財)音楽の力による復興センター・東北(復興のシンボルとしての新音楽ホール創設(仙台市)に向けた支援や、東日本大震災復興祈念の継続的な取組に対して) H28. 3. 11

〔尼崎青少年創造劇場関係〕

尼崎青少年創造劇場の運営

1 主催公演事業

① ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能、音楽（室内楽）などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催した。また、平成30年度に引き続き、子どもと大人と一緒に楽しめる演劇や落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに優れた舞台芸術にふれる機会を提供した。

【時期】令和元年5月～2年3月〔13事業（演劇4、落語4、音楽5）〕

事業名	公演年月日	出演者等	入場者数
ピッコロ寄席「桂ざこば一門会」 (大ホール)	元. 5. 11(土)	出演＝桂ざこば、塩鯛、わかば、米紫、りょうば	353
ピッコロ室内楽サロン<178> 共催 (小ホール)	元. 5. 18(土)	出演＝ストリングアンサンブル ラ・フォンテーヌ	47
シアタースタート てんたん人形劇場 「たったか たったか たったかた」 (中ホール) (文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助)	元. 5. 24(金) (2公演)	出演＝てんたん人形劇場	181
文学座公演「ガラスの動物園」 (大ホール)	元. 7. 14(日) 15(月・祝) (2公演)	作＝テネシー・ウィリアムズ 訳＝小田島恒志 演出＝高橋正徳 出演＝塩田朋子、亀田佳明、永宝千晶、池田倫太郎	722
ピッコロ室内楽サロン<179> 共催 (小ホール)	元. 7. 20(土)	出演＝Duo Luce (デュオ ルーチェ)	65
ピッコロ寄席「桂枝雀一門会」 (大ホール)	元. 8. 17(土)	出演＝桂南光、雀三郎、文之助、まん我、二葉	426
ピッコロ室内楽サロン<180> 共催 (小ホール)	元. 9. 14(土)	出演＝埴美里&水垣直子	17
ピッコロ室内楽サロン<181> 共催 (小ホール)	元. 11. 9(土)	出演＝Miracle Session (ミラクル セッション)	50
SENDAI 座☆プロジェクト 「十二人の怒れる男」 共催 (中ホール) (文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助)	元. 12. 6(金) 12. 7(土) (2公演)	出演＝樋渡宏嗣、渡部ギユウほか 作＝レジナルド・ローズ 翻訳・演出＝宮島春彦	197
劇団風の子北海道 「マーレンと雨姫」 (大ホール)	元. 12. 8(日)	脚本＝多田徹 演出＝なるみてるまさ 出演＝劇団風の子北海道	268
ピッコロ寄席「桂吉朝一門会」 (大ホール)	元. 12. 14(土)	出演＝桂あさ吉、桂吉弥、桂よね吉、桂佐ん吉、桂弥太郎	399
ピッコロ室内楽サロン<182> 共催 (小ホール)	2. 1. 11(土)	出演＝ロゼッタ	28
ピッコロ寄席「桂米團治独演会」 (大ホール)	2. 2. 9(日)	出演＝桂米團治、弥太郎、しん吉	411
合 計 13事業 (内共催 6事業)			3,164

※ 新型コロナウイルス感染症による影響のため、中止した鑑賞劇場（下記の2公演）

① 3/14 ピッコロ室内楽サロン<183>（「ユーフォニスタ！」との共催事業）

② 3/15 ピッコロ寄席「子どもと楽しむ落語会」

② 2019 ピッコロフェスティバル

8月の開館記念日を中心に夏休み期間中の約1か月間を、若者たちの演劇、音楽、バレエなどの発表と交流の場として施設を開放、また優れたプロの舞台芸術の鑑賞を通じて、地域の人々が舞台芸術に親しむ機会を提供した。(昭和53年8月19日開館以降、毎年夏季の開催を継続、42回目) 〔文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業補助〕

【期間】 令和元年7月25日～8月25日

【場所】 ピッコロシアター（大・中・小ホール・展示室など）

区 分	部 門 等	参加団体	出演者数	入場者・参加者
県民参加 企画	バレエ・モダンダンス	12	194	650
	中学・高校演劇	6	114	470
	大学演劇・一般演劇	4	71	145
	展示（洋画、写真、書、パステル画等）	2	59	385
地域団体 連携企画	人形劇フェスタ阪神	14	67	550
	バリアフリーコンサート	10	108	150
	平成演劇教育委員会 2019 夏季集中講座「演技・演出技能検定」	22	135	—
体験企画	「ちゃっと！狂言」発表会	—	22	42
	まわし読み新聞&演劇ワークショップ 「壁新聞を演じてみる」	—	3	23
特別企画	ピッコロ劇団ファミリー劇場公演 「歌うシンデレラ」	1	11	1,255
	桂枝雀一門会	1	6	426
	ピッコロ文化セミナー<95> バレエダンサー・英国ロイヤルバレエ団 プリンシパル 平野亮一さんに聞く 「尼崎から世界の“王子”へ」	1	2	354
協賛企画	文化庁・日本劇団協議会事業 2019 エデュケーションワークショップ 「DIE コース in 兵庫」	1	4	17
計		74	796	4,467
				総計 5,263

③ 東北との交流

東日本大震災を契機に、演劇によって東北の魅力为全国発信する活動を続けている SENDAI 座☆プロジェクトと交流を続けている。

ピッコロシアターでの公演は令和元年度で8回目。法廷劇「十二人の怒れる男」は、昨年度ピッコロシアターでの上演により 2018 文化庁芸術祭優秀賞を受賞。これを記念して昨年度に引続き同作品を上演。関西の演劇ファンを魅了する舞台となった。

(参考)「東北との交流」これまでの主な動き

○仙台発信の演劇公演の受け入れ：SENDAI 座☆プロジェクト公演

「十二人の怒れる男」(平成23・26・30年、令和元年)、「ハイライフ」(平成24年)、「鳴子温泉郷物語 タルタルスの足湯」(平成25年)、「洗い屋稼業」(平成27年)、「エルドラド ホテル アメリカーナ～TVクルー達の24時間～」(平成28年)

○せんだい演劇工房 10-BOX との共同制作……兵庫・宮城両県での上演「扉を開けて、ミスター・グリーン」(平成24年)

○ピッコロ劇団ファミリー劇場「飛んで 孫悟空」に仙台の俳優が出演(4名)。兵庫(ピッコロシアター)、宮城(仙台市)、福島(いわき市)3県で上演(平成26年)

○ピッコロ劇団おでかけステージ(小学校公演)「学校ウサギをつかまえろ」を宮城県(七ヶ浜町、仙台市)で上演(平成27年)

○仙台の劇団「短距離男道ミサイル」の5周年記念公演にピッコロ劇団員が出演(平成28年)

○「仙台シアターラボ」を招へい。芥川龍之介のテキストを「構成演劇」という独特のスタイルで表現した「特別な芸術」を上演(平成29年)

【主催公演事業 評価】

(1) ピッコロシアター鑑賞劇場

- 演劇の分野では4作品7ステージを上演。恒例の文学座公演は、劇団として29年ぶりの上演となるテネシー・ウィリアムズの代表作「ガラスの動物園」。東日本大震災を契機に始まった東北演劇人との交流として、SENDAI 座☆プロジェクト（仙台市）による「十二人の怒れる男」を共催。次代を担う子どもたち向けの公演では、7年目となった乳幼児と保護者対象のシアタースタート事業に、宮城県を拠点に活動するてんたん人形劇場の「たったか たったか たったかた」、良質な作品を提供してきた「劇団風の子北海道」による「マーレンと雨姫」など、世代を超えて楽しめるとして好評を博した。
- 音楽の分野では、地域（西宮市、宝塚市など阪神間や大阪など）の若手音楽家グループを支援する「ピッコロ室内楽サロン」を奇数月（3月は中止）に開催（小ホールでの共催事業）、好評を博した。
- 伝統芸能の分野では、尼崎ゆかりの米朝師匠一門によるそれぞれの恒例の落語会「ピッコロ寄席」を開催、安定した集客を得た。
- 鑑賞劇場入場者のアンケート結果での公演満足度（「とても良かった」「良かった」）は、演劇（99.0%）、音楽（97.2%）、伝統芸能（98.1%）であった。
- なお、令和元年度は、大阪大学大学院文学研究科との連携・共催事業として、シンガポールの劇団（潮州歌劇団「陶融儒楽社」）の公演・セミナーを開催し、一般公募の受講生28名が歌劇団と協働してインド叙情詩「ラーマーヤナ」の公演制作を行った。

(2) ピッコロフェスティバル

- ピッコロシアターが開館した昭和53年夏から毎年夏季連続開催、令和元年度は第42回。阪神間を中心に数多くの団体からの参加希望が続き、地元に着した事業となっている。期間中の参加団体は74団体、参加者は5,263人。
- 地域のアマチュア創造活動団体やグループに、普段では経験できない本格的な舞台空間やプロの技術スタッフが支える環境での発表の場を無料で提供し、創作や技術力の向上につながっている。創造活動の分野によっては、参加を継続されてきた団体・グループ内での世代交代があり、若い後継者が育成されつつある状況なども伺える。
- 平成演劇教育委員会は、県高校演劇研究会阪神支部との共催による演劇ワークショップ。前身（青少年のための演劇講習会）を含め昭和54年以来の継続開催。令和元年度は「演技・演出技能検定」をテーマに多くの高校生で賑わった。

2 自主公演事業

① 県立ピッコロ劇団事業

県立尼崎青少年創造劇場が長年培ってきた人材育成事業の集大成として創設した県立ピッコロ劇団が、優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興をめざして、ピッコロシアターなどでの演劇公演を中心に、演劇指導、外部出演など多彩な活動を展開した。

【設立】 平成6年4月1日

【劇団代表】 岩松 了（劇作家・演出家・俳優）

【客員】 鷗山 仁（演出家＝文学座）

喜志 哲雄（京都大学名誉教授）

杉本 了三（演劇プロデューサー）

内藤 裕敬（劇作家・演出家＝南河内万歳一座）

別役 実（劇作家）

【劇団員】 35名（男17名、女18名） ※令和2年4月1日現在

(ア) 劇団公演の実施

大人向け、ファミリー向け、小学生向けなど、幅広く良質の創作演劇を提供した。

(兵庫県立ピッコロ劇団設立 25 周年記念事業)

(文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助)

事業名	公演年月日	出演者等	入場者等
オフシアターVol.35 「炎の人—ゴッホ小伝—」 (中ホール)	31. 4. 12(金) ～14(日) (4公演)	作=三好十郎 演出=眞山直則(※) 出演=ピッコロ劇団員	432
第64回公演 「銭げば!」 (大ホール)	元. 5. 24(金) ～6. 2(日) (6公演)	作=モリエール「守銭奴」 (鈴木力衛訳 岩波文庫) 台本・演出=岡部尚子(空晴) 出演=ピッコロ劇団員	1,205
わくわくステージ 「銭げば!」 (大ホール)	元. 5. 25(土) ～6. 5(水) (8公演)		1,814
市町ホール公演「銭げば!」 うるおい交流館エクラホール(小野市) 太子町立文化会館あすかホール(太子町)	元. 6. 11(火) 14(金) (4公演)		1,652
ファミリー劇場 「歌うシンデレラ」 (大ホール)	元. 8. 3(土) ～4(日) (4公演)	作=別役 実 演出=吉村祐樹(※) 出演=ピッコロ劇団員	1,255
わくわくステージ 「歌うシンデレラ」 (大ホール)	元. 11. 26(火) ～12. 3(火) (8公演)		2,262
ファミリー劇場「歌うシンデレラ」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	元. 12. 21(土) ～22(日) (3公演)		*12月公演 オーディションによる子供達も出演
おでかけステージ(小学校公演) 「星のキャンタータ」	元. 10. 17(木) 11. 8(金)、12(火) (5公演)	原作=三木 卓 台本・演出=原 竹志(※) 出演=ピッコロ劇団員	1,775
第65回公演 「ブルーストッキングの女たち」	元. 10. 4(金) ～9(水) (6公演)	作=宮本 研 演出=稲葉賀恵(文学座) 出演=ピッコロ劇団員	1,354
第66回公演 ピッコロシアタープロデュース 「夢をみせてよ」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	2. 2. 28(金) ～3. 1(日) (5公演)	作=岡部尚子(空晴) 演出=内藤裕敬 (南河内万歳一座) 出演=ピッコロ劇団員ほか	1,406
合 計	6 作品、53 公演		14,412

※はピッコロ劇団員

(イ) 演劇の指導

大学や高等学校等に劇団員を指導者として派遣することにより、演劇を身近に感じてもらうワークショップ等を県下各地で開催。ピッコロ演劇学校においては、本科及び研究科の主任講師、助手をピッコロ劇団員が、通年で担当。

事業等名		劇団員	実施年月日	実施場所等
ピッコロ演劇学校	本科	山田 裕 菅原ゆうき	通年	ピッコロシアター
ピッコロ演劇学校	研究科	島守辰明 樫村千晶	通年	ピッコロシアター
兵庫県立宝塚北高校	非常勤講師	木之下由香	通年	宝塚北高校
兵庫県立伊丹北高校	非常勤講師	孫 高宏	通年	伊丹北高校
プール学院高等学校	非常勤講師	杏華 中川義文	通年	プール学院高校（大阪市）
大阪市立咲くやこの花高校	非常勤講師	木村美憂	通年	咲くやこの花高校 （大阪市）
甲南女子大学	第三種特任教員	本田千恵子	通年	甲南女子大学（神戸市）
近畿大学	非常勤講師	島守辰明	通年	近畿大学（大阪市）
劇団高円養成塾	講師	島守辰明	通年 毎週土曜日	奈良市ならまちセンター
クラーク記念国際高校芦屋キャンパス	非常勤講師	中川義文	通年	クラーク記念国際高校 芦屋キャンパス
神戸市立小部中学校演劇部	外部顧問	中川義文	通年	小部中学校（神戸市）
ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪	講師	樫村千晶 山田 裕	通年	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪（大阪市）
京都造形芸術大学 舞台芸術学科演技演出コース	非常勤講師	田淵詩乃	通年	京都造形芸術大学 （京都市）
特定非営利活動法人東京ソテリア主催 イタリア精神障害者当事者による演劇 演劇集団 Arte e Salute(アルテ・エ・サルテ) 日本人キャストの演技指導		中川義文	通年	京都いわくら病院 （京都市）
豊岡市新任職員研修	講師	本田千恵子 杏華	31.4.8	豊岡市健康福祉施設 多目的ホール
キング醸造（株）新入社員研修	講師	本田千恵子 杏華	31.4.9	キング醸造（株）本社 （稲美町）
兵庫県立神戸鈴蘭台高校 3年生	文化祭演劇指導	島守辰明 風太郎 (5.29、5.31)	31.4.19 元.5.29 元.5.31	神戸鈴蘭台高校
神戸大学附属中学校	上演指導	島守辰明 本田千恵子 樫村千晶	31.4.23	神戸大学附属中学校
西宮市立西宮東高	文化祭上演指導・講師	島守辰明	31.4.24 元.5.24 元.6.12 元.6.23	西宮東高校

あつまれ！ピッコロひろば	吉江麻樹 孫 高宏	元. 5. 7 元. 6. 18 元. 7. 2	養父市立建屋小学校 (ワークショップ3回)
	吉江麻樹 孫 高宏	元. 10. 11 元. 10. 21	(上演指導2回)
	亀井妙子 森 万紀 山田 裕 菅原ゆうき 車 貴玲	元. 8. 26	b & g 小学校WS 中央北生涯学習プラザ (尼崎市)
	亀井妙子 森 万紀 山田 裕 木之下由香 菅原ゆうき 車 貴玲	元. 9. 14	大阪ガスグループ“小さな灯” 運動 児童養護施設小学生WS ピッコロシアター中ホール
	山田 裕 車 貴玲	元. 9. 19	赤穂市立城西小学校 (ワークショップ)
	山田 裕 中川義文	元. 11. 1	(「子ども義士物語」上演指導)
	亀井妙子 森 万紀 山田 裕	元. 11. 5	井吹台児童館 井吹北学童保育コーナー (神戸市)
	風太郎 吉江麻樹 (3/8) 有川理沙 金田萌果 田淵詩乃	2. 3. 8、22	やんちゃんこ ぷらっとスペース
県立教育研修所 令和元年度 高等学校初任者研修 校外研修 講師	本田千恵子 中川義文	元. 7. 4	県立教育研修所(加東市)
文化庁・日本劇団協議会事業 やってみようプロジェクト おしばいづくりを通して日本語を勉強しよう、体験しよう！ 「にほんごであそぼう」 講師	本田千恵子 菅原ゆうき 中川義文 (8/25、9/1) 亀井妙子 (7/21、8/4)	元. 7. 21 元. 8. 4 元. 8. 25 元. 9. 1	小野市うるおい交流館 エクラ
【令和元年度 AI・HALL 自主企画】 中高生のための夏休みワークショップ 「高校生のための演劇ワークショップ」 アシスタントリーダー	原 竹志	元. 8. 2、3	伊丹市立演劇ホール イベントホール
兵庫県高等学校演劇研究会丹有地区 夏期高校演劇講習会 講師	本田千恵子	元. 8. 6	三田市ウッディータウン 市民センター
兵庫県自治研修所 行政特別研修 講師	本田千恵子 中川義文 田淵詩乃	元. 8. 7～8	兵庫県自治研修所(神戸市)
ピッコロ実技教室「壁新聞を演じてみる」 講師	本田千恵子 中川義文	元 8. 9	ピッコロシアター 小ホール
神戸市立有野北中学校演劇部 指導	中川義文	元. 8. 19、22、 23	有野北中学校
文化庁・日本劇団協議会事業 やってみようプロジェクト「D I Eコース in 兵庫」 講師	本田千恵子	元. 8. 21～23	ピッコロシアター 大ホール

小野市立小野特別支援学校 オペレッタ 指導	吉村祐樹	元. 9. 13 元. 10. 3	小野特別支援学校
兵庫県立こどもの館主催 児童厚生員等研修会 講師	亀井妙子 森 万紀 山田 裕	元. 9. 26	西神南セリオホール (神戸市)
教員養成のための未来塾 講師	本田千恵子	元. 10. 25	関西学院大学 西宮聖和キャンパス
第31回兵庫県高等学校演劇研究会丹有支部 演劇コンクール 審査員	原 竹志	元. 11. 4	三田市立フラワータウン 市民センター
特別講座 「劇、オペレッタの演じ方等表現力について学ぶ」 講師	島守辰明	元. 11. 8	関西保育福祉専門学校 (尼崎市)
兵庫県立神崎高校 コミュニケーション能力育成研修 講師	中川義文 菅原ゆうき	元. 11. 15	神崎高校
県立神出学園ワークショップ 講師	山田 裕 中川義文 菅原ゆうき	元. 12. 2 (WS) 元. 12. 9 (WS) 元. 12. 10 (上演指導) 元. 12. 16 (上演指導)	神出学園(神戸市)
新国立劇場演劇研修所 講師	島守辰明	元. 12. 2～ 20、26	新国立劇場演劇研究所 (東京都)
神戸松蔭女子学院大学 教育実習指導(中・高)	本田千恵子	元. 12. 17	神戸松蔭女子学院大学
県立山の学校ワークショップ 講師	山田 裕 菅原ゆうき	2. 1. 24	ピッコロシアター

(ウ) 外部出演等

他劇団、地域団体等の依頼を受け、演劇公演、放送等での出演や演出など、県民向け県イベントの司会などにも劇団員を派遣。

事業等名	劇団員	実施年月日	開催場所
廣田鑑賞会能「大原御幸」 朗読	岡田力	元. 5. 12	金剛能楽堂(京都市)
よしもと主催「お家さん」 出演	岡田力	元. 5. 24～ 6. 2	COOL JAPAN PARK OSAKA TTホール(大阪城公園内)
日本劇作家協会関西支部 関西版 月いちリーディング「まん前のプリちゃん」 出演	亀井妙子	元. 6. 29	common café
西北活性化協議会主催 ミュージカル「オン・ザ・タウン」前夜祭 イベント(絵本読み聞かせ) 出演	亀井妙子 森万紀	元. 7. 11	県立芸術文化センター
阪神南県民センター主催 「夏休み！交通安全コンサート」 司会	本田千恵子	元. 7. 24	ピッコロシアター 大ホール
兵庫県劇団協議会50周年記念合同公演 「大正七年の長い夏」 出演	中川義文	元. 8. 2～4	神戸アートビレッジ センター

2019ピッコロフェスティバル 「バレエ・モダンダンス」部門 司会	本田千恵子	元. 8. 18	ピッコロシアター 大ホール
おはなし会 出演	風太郎 吉江麻樹	元. 8. 23	塚口駅付近、やんちゃんこ ぶらっとスペース
ワンコインコンサート 来場 700 万人達成セレモニー 司会	本田千恵子	元. 8. 27	県立芸術文化センター 大ホール
フェニックス共済関係兵庫県・神戸市・兵庫県 警合同街頭キャンペーン 出演	山田裕	元. 9. 1	さんちか夢広場 (神戸市)
第 13 回にしきた音楽祭 「L A L A L A ミュージシャンコンテスト」 公開予選 司会	本田千恵子	元. 9. 8 元. 9. 15 元. 9. 22	西宮公会堂教会チャペルホール 西宮市大学交流センター大講義室 阪急西宮ガーデンズ木の葉の ステージ
日本製鉄尼崎製造所 100 周年記念式典 構成・演出、出演	(構成・演出) 眞山直則 (出演) 風太郎 菅原ゆうき 金田萌果	元. 9. 9	アルカイクホール オクト (尼崎市)
秋の鞆公園バラ祭 演出・出演	(演出) 風太郎 (出演) 吉江麻樹	元. 10. 13	鞆 (うつぼ) 公園ケヤキ並木 フェニックスロータリー (大阪市)
橿原市立新沢小学校生徒の児童劇団 「リトル・ぐらん」 上演指導・演出	風太郎	元. 10. 20	新沢公民館 (橿原市)
音訳ライブ「音訳ってなんでしょう？」 出演	木全晶子	元. 10. 26	日本基督教団奈良教会
北摂 SATOYAMA 国際セミナー 司会	本田千恵子	元. 11. 2	宝塚ホテル
諸々亭～戯曲を読みたい会～朗読劇 「たまには落語を演劇してみる」 出演	風太郎	元. 11. 3	音太小屋 (ねたごや) (大阪市)
おはなし会 出演	風太郎 吉江麻樹	元. 11. 4	尼崎市立北図書館
突劇金魚公演 「墓場のオサムと機嫌のいい幽霊」 出演	木全晶子	元. 11. 8～10	A I ・ H A L L (伊丹市)
イルミネーション点灯式 司会	本田千恵子	元. 11. 9	西宮市高松公園
介助犬講演会 「介助犬を知っていますか？～シンシア、 エルモ、そしてデイジーと共に～」 演出・出演	(演出) 風太郎 (出演) 吉江麻樹	元. 11. 13	豊中市立豊島北小学校
清流劇場公演「野がも」 出演	孫 高宏	元. 11. 14 ～17	一心寺シアター倶楽 (大阪市)
宝塚市、宝塚市教育委員会、毎日新聞社阪神支局主催 第 21 回身体障害者補助犬シンポジウム 出演	風太郎 吉江麻樹	元. 12. 14	宝塚市立中央図書館

にしきたクリスマスイベント 司会	森万紀	元. 12. 14	芸術文化センター エントランス
一般社団法人コーロ公演 「眠っているウサギ」 出演	菅原ゆうき	元. 12. 21～22	八尾市文化会館 プリズムホール
劇団ガンダム 「ガンダムオリヂン」 出演	風太郎	2. 1. 11	一心寺シアター倶楽
橿原市立新沢小学校生徒の児童劇団 「リトル・ぐらん」「恋と変とお祭りさわぎ」 上演指導・演出	風太郎	2. 1. 12	橿原市新沢地区公民館
西北活性化協議会・芸文センター 阪神淡路大震災 25 周年祈念 「アウトリーチ・コンサート」 司会	本田千恵子	2. 1. 17	西宮ガーデンズ 1 階
おはなしBOX 出演	風太郎 吉江麻樹	2. 2. 16	やんちゃんこ ぷらっとスペース
第 11 回 H20 サンタ NPO フェスティバル 演出・出演	(演出) 風太郎 (出演) 吉江麻樹	2. 2. 26～28	阪急梅田 9 階祝祭広場
加古川シティオペラ・ジュニア「チェルキオ」 演出	中川義文	2. 3. 1	アラバスクホール (加古川ウエルネスパーク内)

(エ) ピッコロサポートクラブへの支援

尼崎商工会議所等が中心となって、平成 8 年に設立されたピッコロ劇団の後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動支援として、情報誌『into』発行など会員向けサービス事業を共同実施。

【会員数】令和 2 年 3 月末 (法人会員・個人会員計 393 口)

【情報誌の発行】年 4 回発行 (A 5 版、24 ページ)、16,000 部発行

【会員向け事業】ピッコロ劇団公演チケット優待、稽古場見学会、茶話会、総会・交流会など

- 稽古場見学会 元. 9. 15 (日) 劇団稽古場
(第 65 回公演「ブルーストッキングの女たち」)
- 総会・交流会 元. 5. 26 (日) 総会・交流会 (「錢げば!」公演終演後)

《令和元年度 劇団関係者等の受賞》

森 万紀 (ピッコロ劇団員)

「第 22 回関西現代演劇俳優賞女優賞」受賞

第 65 回ピッコロ劇団公演「ブルーストッキングの女たち」の「松井須磨子・ノラ」役で印象深い演技が評価。

※ 関西で活躍する評論家による現代演技論研究会が主催、関西の俳優を対象に年間ベストアクター・アクトレスを選出

喜志哲雄 (元劇場運営委員長、元劇団企画運営委員長、劇団客員、演劇学校講師等)

「令和元年度兵庫県功労者表彰 (県勢高揚功労)」受賞 (元. 5. 3)

長年にわたりピッコロシアター・ピッコロ劇団の発展的な運営に助力、演劇学校の講師をはじめ、演劇分野の人材育成にも尽力。

ピッコロシアター

「令和元年度ユニバーサル社会づくり賞 (推進会議会長賞)」受賞 (元. 7. 30)

音声ガイドや字幕付き上演など障害者への鑑賞サポートが評価。

ピッコロ劇団公演

十三夜会月間賞推賞受賞

- ・ オフシアター Vol. 35 「炎の人—ゴッホ小伝—」 (4 月)
- ・ 「ブルーストッキングの女たち」 (10 月)

※ 十三夜会：関西在住演劇評論家有志等により構成

【自主公演事業 評価】

(1) 公演の実施

- 演劇界の東京一極集中が進む中、ピッコロ劇団は設立 25 周年を迎え、演劇公演の質の高さを維持しつつ、地域、兵庫に根ざした作品づくりなどにより、今後とも県民に愛される優れた舞台芸術の提供に努めていく。年間3本の本公演(5月期、10月期、翌年2月期)やファミリー劇場公演(夏休、クリスマス期)を中心に、実験的なオフシアター公演、県内中学生向けの鑑賞体験事業(わくわくステージ)、小学校訪問公演などを実施してきた。上演にあたっては、ピッコロシアターに加え、芸術文化センター(阪急中ホール)が第2の発信拠点となっている。
- 令和元年度5月期の第64回公演は、フランスの古典喜劇作家モリエールの原作「守銭奴」をベースに大阪で活躍の劇団・空晴代表岡部尚子氏の台本・演出により関西弁の喜劇に仕立てた「錢げば!」。大胆な演出、軽妙な会話劇で観客に親しめる古典劇を提供。6月期のわくわくステージでも上演。
- 10月期の第65回公演は、劇作家宮本研の大作「ブルー stocking の女たち」に文学座の新鋭・稲葉賀恵がピッコロ劇団初演出で挑んだ。大正の激動期、「青鞥社」に参加した女性たちの生き様を描いた作品をピッコロ劇団員が熱演。本上演で、劇団員の森万紀が第22回関西現代演劇俳優賞女優賞を受賞。また、同公演は十三夜会月間賞推薦(10月)を受賞。
- 2月期の第66回ピッコロシアタープロデュース公演は、宝塚市で活躍した介助犬シンシアをモチーフに、人と犬との共生をめぐる物語「夢をみせてよ」。岡部尚子(空晴)作、内藤裕敬(南河内万歳一座)演出により、芸術文化センター阪急中ホールでの上演。うち、2ステージは、視覚障害者のための音声ガイド付き上演により、19名の視覚障害者及び同伴者・関係者が鑑賞。地域の福祉関係団体や企業など多くの協力を得て、介助犬制度の普及啓発にも貢献できた。
- 大人も子どもも楽しめるファミリー劇場は、8月にピッコロシアター、12月に芸術文化センターでの計7ステージを別役実作「歌うシンデレラ」で上演。8月は聴覚障害者向けに字幕表示付きで上演。12月は公募による地域の子供たち(21名)が出演。11月期のわくわくステージでも上演。
- 公演事業入場者のアンケート結果での公演満足度(「とても良かった」「良かった」)は、本公演が92.0%、ファミリー向けが93.0%であった。
- ピッコロシアターでの生の舞台を県内中学生が鑑賞体験する「わくわくステージ」も本格実施8年目を迎え、約5,700名が参加。また、平成29年度からの県内地域公演として、小野市(うるおい交流館エクラ)及び太子町(町立文化会館あすかホール)でも上演した。鑑賞後のアンケート結果も好評であった(満足度は生徒87.1%、教員85.0%)。
- 将来のピッコロ劇団公演活動を形作るための出会いの場・実験の場としてのオフシアターは、劇団員の眞山直則演出による「炎の人-ゴッホ小伝-」(三好十郎作)。劇団の若い13人の俳優陣が27人の登場人物を演じ分けた意欲作となった。また、同公演は十三夜会月間賞推薦(4月)を受賞。
- 「わくわくステージ」への県立聴覚特別支援学校及び神戸市立盲学校の参加、ファミリー劇場「歌うシンデレラ」での字幕付き公演や、第66回公演「夢をみせてよ」での音声ガイド付き上演など、障害者への鑑賞機会の充実が図れた。

(2) 演劇の指導、外部出演など

- ピッコロ演劇学校本科、研究科の主任講師、指導助手を通年で劇団員が務めている。学校教育の現場支援についても、演劇指導や演劇ワークショップの依頼が継続しており(小学生向け「あつまれ!ピッコロひろば」や神出学園、山の学校など)、行政職員や教員向けのワークショップなどでも活動の場が広がりが見られる。
- 他劇団公演などへの出演や協力、県内文化イベントなどでの司会や出演、協力などにも、劇団員活動の広がりが見られる。

3 人材育成・体験活動事業

① ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営

演劇創造について幅広く学ぶ演劇学校（本科 1983 年開設、研究科 1984 年開設）、音響・照明・美術などの基礎技術を学ぶ舞台技術学校（1992 年開設）を運営。関西・日本を代表する演劇人、舞台技術者等を講師陣に迎え、プロ、アマチュアを問わない演劇関係人材や地域の文化活動のリーダー、文化施設スタッフなどの養成に継続して努力。

（文化庁劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助）

区分	ピッコロ演劇学校		ピッコロ舞台技術学校
概要	舞台づくりの楽しさや面白さを味わいながら、表現力や創造力を身につけるなど、将来の演劇創造者、地域に根差した文化活動リーダーを養成		クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設運営の活性化を図るため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術者を養成
期間	平成 31 年 4 月 24 日～令和 2 年 3 月 8 日		
場所	ピッコロシアター		
授業	原則、毎週 2 回（火・木の夜間） 年間数回の特別講義等計約 100 講義		原則、毎週 2 回（水・金の夜間） 年間数回の特別講義等計約 107 講義
講師	■本科 ▶ 主任講師 山田 裕（ピッコロ劇団員） 助手 菅原ゆうき（同） 他 ■研究科 ▶ 主任講師 島守辰明（ピッコロ劇団員） 助手 檜村千晶（同） 他		■美術コース ▶ 主任講師 加藤登美子（舞台美術家） ■照明コース ▶ 水野雅彦（株ハートス） ■音響コース ▶ 林 哲郎（サウンドウッドカンパニー代表）
特別講師	岩松了、平田オリザ、伊藤惣一 ほか		服部基、山北史郎、堀尾幸男
入学	本科 38 名 （定員 40 名）	研究科 30 名 （同 20 名）	24 名 （定員 30 名）
卒業	本科 35 名 〔37 期生〕	研究科 26 名 〔36 期生〕	22 名 （美術 6 名、照明 11 名、音響 5 名） 〔28 期生〕

【特別講義】

区分	期日	特別講師	講義テーマ
演劇学校	元. 6. 22～23	伊藤 惣一（俳優）	朗読
演劇学校	元. 10. 5～6	岩松 了（劇作家・演出家）	演劇的なことばについて
演劇学校	2. 1. 25	平田 オリザ（劇作家・演出家）	演劇を学ぶとは…
舞台技術学校	元. 7. 6～7	山北 史郎（音響プランナー）	音の話／音響効果の基礎
舞台技術学校	元. 10. 12～13	服部 基（舞台照明家）	舞台照明を考える
舞台技術学校	元. 11. 23～24	堀尾 幸男（舞台美術家）	舞台美術のはじまり

■ 上演実習等

【合同発表会 2019 Piccolo Passo】

区分	期日	公演概要	観客数
演劇学校・本科 37 期生	元. 10. 26～27 〈中ホール〉	「前日～6つのオムニバス～」 台本・演出・出演＝演劇学校本科 37 期生	316
演劇学校・研究科 36 期生 舞台技術学校 28 期生	元. 11. 2～3 〈中ホール〉	「ささやかな日々 ～T. ワイルダー『わが町』より～」 演出＝島守辰明（ピッコロ劇団員） 出演＝研究科 36 期生	248

【オープンキャンパス】

期 日	期 日	概 要	参加者数
舞台技術学校	元. 12. 19<大ホール>	学校説明、オペレーション体験、バックステージツアー	47
演劇学校	2. 1. 19<大ホール>	学校説明、現役学校生と一緒に身体訓練等の授業体験	40

【卒業公演】

区 分	期 日	公 演 概 要	観客数
演劇学校 本科 37 期生 舞台技術学校 28 期生 合同	2. 3. 7 ～8 <大ホール>	<p>「妖精たちの砦」～焼け跡のピーター・パン～ 福田善之＝作 山田裕（ピッコロ劇団員）＝潤色・演出 ○出演等＝演劇学校本科生 35名 ○美術プラン・製作・操作＝舞台技術学校美術コース 6名 〔美術プラン指導＝加藤登美子／装置製作・操作指導 ＝木村容紹／装置製作指導＝林修司／装置製作助手 ＝板垣親恵、舩越あやか〕 ○照明プラン・操作＝舞台技術学校照明コース 11名 〔照明監修＝水野雅彦／照明プラン指導＝大川貴啓 照明操作指導＝竹内哲郎／照明技術指導＝岩花さとみ 照明助手＝追上真弓、谷殿彩〕 ○音響プラン・編集・操作＝舞台技術学校音響コース 5名 (音響プラン・操作指導＝林哲郎) ムーヴメント指導＝いいむろなおき 歌唱指導＝真鍋みよ子／音楽＝木下 出 舞台監督＝久保克司 演出助手＝菅原ゆうき（ピッコロ劇団員）、 田中よし子（演劇学校OG、元ピッコロ 劇団員）、田中ゆり（演劇学校OG）</p>	3.7 — 3.8 — 計 —
演劇学校研究科 36 期生		<p>「悪魔が来た」 アーサー・ミラー原作「るつぼ」より 島守辰明（ピッコロ劇団員）＝潤色・演出 出演等＝演劇学校研究科生 26名 〔美術＝渡辺舞／照明＝森田智子／音響＝増田郁子 歌唱指導＝真鍋みよ子／舞踊＝伊賀裕子 照明操作主任＝竹内哲郎／照明操作＝岩花さとみ 照明助手＝追上真弓、谷殿彩／舞台監督＝谷本 誠 演出助手＝榎村千晶（ピッコロ劇団員）、柳田麻希（演 劇学校OG）〕</p>	

※ 新型コロナウイルス感染症による影響のため、学校生の1年間の成果確認である卒業公演は、授業の一環としての成果発表会と位置づけ、無観客（学校関係者のみ）で実施し、インターネットを使ったライブストリーミング配信を行った。

② ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

令和元年度のピッコロ演劇学校生及び舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となる者及び県立ピッコロ劇団員のうち令和元年度に優れた演劇活動を行った者に贈呈。

対 象 者	備 考
演劇学校本科(37期生) 演劇学校研究科(36期生) 舞台技術学校(28期生) 各1名 計3名	サントリー地域文化賞の副賞をもとに平成元年3月に創設。その後、神戸新聞奨励賞、久留島武彦文化賞、紀伊國屋演劇賞の賞金、山根淑子氏の寄付等により基金額を増額。
ピッコロ劇団員2名(吉村祐樹、木之下由香)	

③ ピッコロシアター文化セミナーの開催（文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助）

事業名	期 日	出演者等	入場者数
ピッコロシアター文化セミナー<95> 平野亮一さんに聞く 「尼崎から世界の“王子”へ」 (バレエダンサー・英国ロイヤルバレエ団 プリンシパル)	元. 8. 10 (土)	出演＝平野亮一 聞き手＝ ^{すずな} 菘 あつこ	354
ピッコロシアター文化セミナー<96> 笑福亭仁智さんに聞く「笑いの方程式」 (落語家・上方落語協会会長)	元. 9. 7 (土)	出演＝笑福亭仁智	395

④ 研修生等の受け入れ

トライやる・ウィーク、インターンシップなどの研修生を受け入れ。

研 修	学 校 等	参加者
トライやる・ウィーク	尼崎市／大成中、小園中、園田中、南武庫荘中、 宝塚市／南ひばりガ丘中 神戸市／魚崎中、本山中、友が丘中	16 (8校)
インターンシップ等	大学／大阪大、神戸学院大（留学生）、大阪教育大、 神戸松陰女子大、京都女子大 その他／県庁インターンシップ生	13 (6校等)
計		29 (14校等)

⑤ 視察見学等の受け入れ

舞台芸術の公演現場や劇場建築・施設の視察見学等を希望する団体などを受け入れ。

団 体	参加者
宝塚北高（演劇科）、上坂部小、咲くやこの花高（演劇科）、 武庫川女子大（生活環境部建築学科）、富山市立大沢野中、新潟市議会議員、 大阪市経済戦略局文化課文化担当	233 (7団体)

⑥ ピッコロ実技教室の開催

伝統芸能、演劇等の体験的学習やそれらの解説を交えた鑑賞会を開催し、地域の舞台芸術への関心を高め、将来の鑑賞者の育成を意図。

事業名	期 日	指導者等	参加者等
“子どもから大人まで” 幅広い世代向け伝統芸能教室 「ちゃっと！狂言」 (文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業補助)	受講期間 元. 7. 25(木)～28(日)	大蔵流狂言方 善竹隆司 ほか	22
	発表会 元. 7. 28(日)		42
まわしよみ新聞&演劇ワークショップ 「壁新聞を演じてみる」	元. 8. 9 (金)	ピッコロ劇団員 神戸新聞社N I E推進部 アドバイザー	23
高校演劇研究会阪神支部と連携 ありがとう平成演劇教育委員会 夏季集中講座「演技・演出技能検定」	元. 8. 20 (火)	高校（兵庫県高等学校演劇 研究会阪神支部加盟）教諭 (演劇部顧問) ほか	135

※ 3/27, 28「ピッコロオペラ教室（オペラ公演を含む）」（関西二期会オペラ研修所との連携事業）
：新型コロナウイルス感染症による影響のため中止
(同会研修所の修了手続の一環として、舞台を使った試験のみ3/28に実施)

【人材育成事業・体験活動事業 評価】

(1) ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営

- 公立劇場では全国初の取り組み。演劇学校本科、研究科のそれぞれの主任講師、助手を通年でピッコロ劇団員やピッコロ演劇学校OBが務めている。また、舞台技術学校の講師(舞台美術、音響、照明)は関西を代表する専門技術者が務めている。

演劇学校本科の令和元年度末までの卒業生は1,218名、研究科は723名、舞台技術学校は797名となった。関西エリアを中心に若い世代の学びのニーズに応えつつ、専門的な人材の育成だけでなく、地域での文化振興に指導力のある人材の育成に着実に貢献できていると考える。

- 阪神・淡路大震災以後、入学者の定員割れが続いたため、潜在的なニーズの掘り起こしやPR活動の強化に努めてきた。23年度から応募者が増勢に転じたものの近年は伸び悩む傾向にある。

なお、令和元年度の両校の入学者は、92名(本科38、研究科30、舞台技術学校24)となり、入学定員(90)を若干上回った。

- 両校指導者の連携協力のもと、令和元年度生83名(修了者:本科35、研究科26、舞台技術学校22)による3月の合同卒業公演は、新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客での成果発表となったが、インターネット上でのライブストリーミング配信といった新たな取組を試みた。

(2) ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

演劇学校(本科・研究科)、舞台技術学校の学校生3名、ピッコロ劇団員2名に贈呈、顕彰した。

(3) ピッコロシアター文化セミナーの開催

様々な舞台芸術への関心を多くの方々に深めてもらえるよう、出演者と聞き手の人選に工夫しながら進めてきた。令和元年度、1回目の〈95〉には、尼崎市出身のバレエダンサーで英国ロイヤルバレエ団のプリンシパルの平野亮一氏がバレエへの思いやプリンシパルへの道のりなどを語り(聞き手:菘あつこバレエ評論家)、バレエ・ダンスへの関心を深める機会を提供した。

また、2回目の〈96〉では、上方落語協会会長の笑福亭仁智氏を迎え、古典落語・創作落語それぞれの魅力や演者が仕掛ける笑いについて語るとともに、落語も一席披露するなど、会場の爆笑を呼ぶユニークなセミナーとなった。(入場者満足度(「とても良かった」「良かった」)は、〈95〉が97.4%、〈96〉が99.2%。)

(4) 研修生等の受け入れ

実演芸術に関わる劇場施設として舞台芸術に関心を寄せる研修生等を積極的に受け入れた。令和元年度は、トライやるウィークの中学生8校16名、高校・大学生のインターンシップ6校等13名など29名、施設の視察見学は7団体233名であった。

(5) ピッコロ実技教室の開催

「まわしよみ新聞&演劇ワークショップ『壁新聞を演じてみる』」は、兵庫県NEI推進協議会の協力も得て、楽しく表現力を学べると好評であった。また、「ちゃっと!狂言」は、昭和57年以来、大蔵流狂言方善竹一門の協力を得ての実施、幅広い世代からの好評を博した。(参加者満足度(「とても良かった」「良かった」)は100.0%)

4 施設の管理運営事業

① 劇場施設の利用状況

青少年の演劇、音楽、舞踊等の創造活動を促進するとともに、県民文化の高揚を図るために設置された「県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)」の指定管理者として、鑑賞劇場、文化セミナー等の自主事業を実施するほか、施設の適切な管理と運営、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術を創造しようとする県民の練習・発表の場として、ホールや練習室などを広く提供している。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

- 【施設】 ・大ホール（客席 396 席） ・中ホール（収容 200 人）
 ・小ホール（収容 100 人） ・楽屋（6 室）
 ・練習室（3 室） ・資料室 等
 （令和 2 年 4 月～：閲覧室及び美術工房を設置）

【ホール等利用実績】利用者数 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月 118,729 人
 利用率 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月 91.8%

【利用状況】

区 分	利用者数（人）		利用率（％）	
	30 年度	31・元年度	30 年度	31・元年度
大ホール	58,573	54,656	91.7	91.5
中ホール	21,752	18,353	93.1	90.5
小ホール	24,561	22,359	94.5	92.2
練習室	13,143	13,199	89.9	89.5
展示室	8,077	7,423	—	—
資料室	4,178	2,739	—	—
計	130,284	118,729	92.7	91.8

（注）練習室、展示室及び資料室は、令和 2 年 2～3 月の間改修工事のため閉室

【利用料収入】

（単位：円、税込）

区 分		利 用 料 収 入	
		30 年度	31・元年度
ホ ー ル 等	大ホール	6,571,100	6,694,750
	中ホール	2,167,000	1,928,500
	小ホール	2,538,400	2,285,450
	楽屋	853,900	871,600
	練習室	1,893,750	1,581,600
	展示室	68,800	86,000
	ホール等計	14,092,950	13,447,900
付属設備		7,094,850	6,600,000
合 計		21,187,800	20,047,900

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う貸館キャンセルによる利用料返金対応 248,400 円

（参考）本館大規模改修工事（国の地方創生拠点整備交付金等を活用）

* 予算額：350 百万円

* 平成 31～令和 2 年度に事業実施

・第Ⅰ期工事：令和 2 年 2～3 月（練習室、資料室、展示室を閉室）

・第Ⅱ期工事：令和 2 年 7～8 月（本館休館（事務室は開室））

工期	改修内容	改修箇所・内容	工事内容
第Ⅰ期	人材育成に資する改修	舞台美術工房(地下)の整備	・不要な空調機システムを撤去 ・舞台大道具・小道具を製作する工房に改装
		書庫・交流スペース整備 (1F 資料室)	・資料室の書庫化 ・展示室を開架式閲覧・交流スペースに改装
第Ⅱ期	快適・利便性の向上に資する改修	練習室(1F)の防音機能向上	練習室 3 室の防音機能向上
	安全・長寿命化のための改修	ホール天井照明の更新	大・小ホールの天井灯を LED 化
		大ホール内エレベーター設置	大ホールホワイエ奥に障害者等対応エレベーター新設
第Ⅰ期	の改修	電気設備等更新 給排水管等改修 外壁・屋上等整備	高圧変受電設備更新 受水槽・給排水管等の更新 外壁補修、屋上防水

② 情報の提供・発信

(ア) 資料室の活用

演劇関係を中心に音楽、舞踊、落語などの舞台芸術関係資料を収集整理して所蔵（書籍・公演パンフレット等約 17,000 点、上演台本約 1,000 点、舞台写真・出演者色紙等約 3,900 点など、合計約 26,000 点）しており、貸し出し、閲覧などにより情報提供。（主な利用者：演劇関係者、学校演劇部員、ピッコロ演劇学校・舞台技術学校生など）

なお、令和 2 年度からは、資料室を書庫化するとともに、展示室を開架式の閲覧・交流スペースに改装することで、利用者の利便性向上を図っている。

(イ) 芸術文化情報コーナー

館内の 2 箇所に芸術文化情報コーナーを設置。県内外の芸術文化関連のイベント、チラシや情報誌を配架し、来館者に情報提供。

(ウ) ホームページの利用状況

施設概要、利用案内、事業内容、劇団情報などを掲載し、広く情報発信。

【アクセス件数】 108,015 件（平成 30 年度 102,146 件）

【地域別件数】 ※カッコ内は比率（%）

大 阪	神 戸	尼 崎	西 宮	京 都	東 京	その他
36,728 (34.0)	12,742 (11.8)	8,686 (8.0)	3,797 (3.5)	2,365 (2.1)	14,312 (14.3)	29,385 (26.3)

《情報発信の充実（ホームページの改良）》

- ・ 主催事業（公演や募集情報等）がより分かりやすくタイムリーに伝わるよう、ビジュアルを工夫する。
- ・ 『今日の劇場』のコーナーをつくり、貸館情報も含め日々の劇場の動きが分かるレイアウトに更新する。
- ・ スマートフォン、タブレット端末等にも対応するレイアウトにしてPR効果を高める。
- ・ フェイスブック、インスタグラム、ツイッターを活用したSNSによる発信を行い、施設、公演事業をPRし、地域文化情報の交流を促進する。

【内 容】

- * 公演&参加する 公演・募集情報、月間スケジュール 等
- * 劇場を知る&使う フロアガイド、利用案内、空き状況 等
- * ピッコロ劇団 劇団員プロフィール、稽古場ダイアリー 等
- * ピッコロ演劇学校&ピッコロ舞台技術学校 学校案内、学校Q&A 等

(エ) SNSの活用

- ・ 劇場ブログ「今日のピッコロ」 アクセス数 400～500 件／日
- ・ 劇団ブログ「稽古場ダイアリー」 アクセス数 200～300 件／日
- ・ 学校インスタグラム 閲覧数 200～300 件／日
- ・ 全体フェイスブック（登録者数 700 名） 閲覧数 500～600 件／日
- ・ ツイッター 閲覧数 1,500～1,600 件／日

(オ) 定期刊行物の発行・配付

月間催し物案内（毎月）やピッコロ劇団後援会機関紙「into」を発行し（年 4 回、各 4,000 部程度）、来館者、近隣の公共施設や文化施設等に配布。

(カ) 広報媒体を通じた発信

- ・ 定期的なプレスリリース送付に加え、公演形態・稽古スケジュールに応じた記者会見や稽古取材、個別インタビュー、新聞社訪問、劇団員等の在阪メディアへの出演を適宜実施。

- ・地元FM局にピッコロシアター・ピッコロ劇団コーナーを運営。
 (FM尼崎「ピッコロ通信」毎月第2・4土曜/FM宝塚「ピッコロ劇団公演情報」毎月第2月曜)
 [劇団公演等にかかる記者会見、主な個別取材の状況など]

公演名	開催日・場所
第64回公演「銭げば!」	(記者会見) 4/26 中ホール
	(公開稽古) 4/26 別館
	(個別取材) 神戸新聞
第65回公演「ブルーストッキングの女たち」	(記者会見) 9/6 資料室
	(公開稽古) 9/6 別館
	(個別取材) 朝日新聞、神戸新聞
第66回公演「夢をみせてよ」	((記者会見)1/28 ホテルヴィスキオ尼崎
	(個別取材) 朝日新聞、産経新聞

劇団員インタビュー、ピッコロ劇団に係る論評など ※ () 内：劇団員等関係者	掲載新聞
子ども新聞 週刊まなびー (田淵詩乃)	神戸新聞 9/29
補助犬シンポジウム出演者に聞く (風太郎)	毎日新聞 12/13
インタビュー：避難所で公演 励まされた～震災特集～ (平井久美子)	読売新聞 1/6
舞台「夢をみせてよ」開幕 地域・学校とともに四半世紀 (内藤裕敬)	朝日新聞 2/20
県立ピッコロ劇団 25周年 演劇評論家 九鬼葉子さんに聞く	神戸新聞 2/21
別役実さん追悼 (岩松了)	読売新聞 3/12
別役実さんが残したもの (平井久美子)	神戸新聞 3/21
非常時こそ見える芸術の魂 震災とコロナ 演劇人は	産経新聞 3/28

③ アクセシビリティに係る勉強会

ピッコロ劇団ファミリー劇場において、初めて「字幕付き上演」を実施するにあたりピッコロ劇団員・スタッフ・職員で聴覚障害についての勉強会を持った。

- ・日時 令和元年7月7日(日)
- ・会場 ピッコロ劇団 稽古場
- ・講師 広報交流専門員、劇団部職員
- ・参加者数 23名
- ・内容 聴覚障害の特性、コミュニケーションの方法、手話について 等

【施設の管理運営事業 評価】

- ピッコロシアターの来場者は、令和2年2～3月に改修工事に伴い練習室等を閉室としたこと及び新型コロナウイルスの影響により31年度と比較し約11千人の減(△8.8%)となった。ホールの稼働が年間を通じて順調であったことから、利用率は91.8%と、31年度とほぼ同率(+0.1%)。例年と同じ90%程度の利用率を維持した。
- 貸館利用者を対象にした抽出調査では、「大変満足」「満足」の合計は、開館時間について85.4%。施設・サービス90.3%、清潔さ96.1%、スタッフ96.1%、全体に対しては93.2%であった。
- 来館者からの近年の要望として、トイレの改善(洋式化等)が多かったが、平成29年度に全館のトイレを改修し、洋式化・温水便座設置を行うとともに、ベビーベッドを配置するなど、快適性向上に努めた結果、30年度以降、利用者の満足度は上昇している。
 また、新たに1階ロビーに授乳室を設置するなど、ユニバーサル対応を行っている。(尼崎市の「赤ちゃんの駅」にも登録)
- 情報の提供・発信では、ホームページのアクセス件数は31年度に比較し約6千件の増(+5.7%)。ホームページに加えて、SNSによる情報発信として、28年からはピッコロ演劇学校・舞台技術学校のインスタグラム、29年からはツイッター導入と、広報強化に努めている。
- ホームページについては、令和元年度から、主催情報がより分かりやすくタイムリーに伝わるようビジュアルを工夫するなどの改良を進め、情報発信力の充実に努めている。

〔本部関係〕

芸術文化普及啓発事業

1 主催事業

(1) 芸術文化活動の表彰事業

① 第38回ふるさと文化賞

地域社会において、永年にわたりひたむきな努力を続け、伝統文化の継承に貢献するなど、その活動と功績が著しい1個人2団体に「ふるさと文化賞」を贈呈した。

【贈呈式】 令和2年2月10日

【会場】 兵庫県民会館

【受賞者】 島田 幸桐 (古典舞踊・高砂市)
西戸百石踊保存会 (雨乞い祈願神事・加東市)
宮内幟まわし保存会 (神社氏子の特殊神事・豊岡市)

② 亀高文子記念－赤艸社賞

絵画の創作活動を通じて県民文化の高揚に功績があった女流洋画家に「亀高文子記念－赤艸社賞」を贈呈した。

令和2年7～8月頃に、兵庫県民会館1階の特別展示室の壁面に受賞者の作品を展示して、来館者に見ていただける機会を設ける。

【贈呈式】 令和2年2月20日

【会場】 兵庫県民会館

【受賞者】 藤飯 千尋 (大阪府箕面市)

③ 坂井時忠音楽賞

県内において音楽活動に優れた業績をあげ、将来の活躍が期待される音楽家を奨励するため「坂井時忠音楽賞」を贈呈した。

【贈呈式】 令和2年2月20日

【会場】 兵庫県民会館

【受賞者】 富田 一樹 (オルガン・大阪府摂津市)

④ ひょうごアーティストサロン賞

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手芸術家及びサロンの企画・運営に協力的な指導者に「ひょうごアーティストサロン賞」を贈呈した。

【贈呈式】 令和2年3月3日

【会場】 兵庫県民会館

【受賞者】 〈アーティスト部門〉 竹内 剛 (陶芸・神戸市)
皆川 隼人 (チェロ・芦屋市)
〈協力者部門〉 柳原 香 (写真・神戸市)

(2) コンクール、展示事業

① 第31回全国手工芸コンクール in ひょうご

女性を対象とし、ふだんの生活から創りだされた、ぬくもりのある手工芸作品を全国から公募し、表彰した。

【会期】 令和元年10月10日～13日

【会場】 兵庫県民アートギャラリー

【出品数】 243点

【入場者】 1,068人

② 第25回兵庫ふれあい美術展

県内から日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真を公募し、表彰した。

【会 期】 令和元年12月20日～22日

【会 場】 原田の森ギャラリー

【出品数】 494点

【入場者】 1,696人

③ 第34回鈴懸の径絵画展

自ら絵画の創作活動に親しむアマチュアの発表と交流の場とし、「兵庫の風物を描く」と「花を描く」をテーマに公募し表彰した。受賞作品は、パリ・モンマルトルを彷彿とさせる道行く人々が気軽に楽しめる屋外でも展示した。(雨天等のため、屋外展示は1日)

【会 期】 令和元年6月27日～30日

【会 場】 兵庫県民会館前プロムナード及び兵庫県民アートギャラリー

【出品数】 178点

【鑑賞者】 1,121人

④ 第32回ひょうご子どもの作文と詩コンクール

県内の小学生を対象として、学校や遊び、友だちづきあい、町、家庭での身近なできごとなどを書いた作文と詩を公募し、作文・詩各17点を表彰し、優秀作品は朝日新聞兵庫版に掲載された。

【表彰式】 令和元年12月14日

【会 場】 兵庫県民会館

【応募数】 1,429点(作文1,055点、詩374点)

【共 催】 朝日新聞社

【協 力】 創作同人「けやきの会」

⑤ 第57回2019県展

県内に生活し、日頃から美術作品の制作活動に励んでいる方を対象に、絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインを公募し、入選作品の展示を行い、表彰した。

【会 期】 令和元年8月3日～8月24日

【会 場】 原田の森ギャラリー

【応募数】 594点(入選作品205点)

【入場者】 3,848人

【共 催】 兵庫県・兵庫県立美術館・神戸新聞社

⑥ 中西勝・貝原六一・片岡真太郎—郷土ゆかりの美術作家展2020

兵庫の文化力を広く発信するとともに、次世代へのレガシーとして未来へ継承していくため、当協会が保管している兵庫ゆかりの県有作品の中から、兵庫県文化賞受賞者の3人の未公開作品を中心に展示した。

【会 期】 令和2年1月8日～14日

【会 場】 兵庫県民アートギャラリー

【出品数】 23点

【入場者】 707人

⑦ 兵庫県民会館文化教室総合展

兵庫県民会館で開講されている、美術・書道等さまざまなジャンルの文化教室の作品展示は、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

【会 期】 令和2年3月13日～15日

【会 場】 兵庫県民アートギャラリー

(3) 主催公演事業

① 県民芸術劇場

県内各地において、小学生・高校生、一般を対象に、優れた舞台芸術を身近に鑑賞する機会を提供するとともに、県内芸術団体等の出演機会を提供した。

学校公演は、学校の体育館等で実施するほか、複数の小学校が合同で実施する場合や生徒数の多い高校は、市町文化会館等を利用して文化施設の活性化を図るとともに、劇場やホールの数に限られる但馬、丹波、淡路地域の学校を優先し、舞台芸術の上演頻度の地域格差をできるだけ解消するよう努めた。

なお、中学校公演は、全ての県内中学1年生を対象に「わくわくオーケストラ教室」等を実施していることから、県民芸術劇場の対象外である。

種 別	元年度		協会支出額(千円)		但馬・丹波・淡路 地域の公演数
	公演数	入場者数	元 年 度	30 年 度	
一般公演	16	7,519	10,777	12,724	2
音 楽	13	6,153			
演 劇	3	1,366			
高等学校公演	22	16,213	8,853	9,418	4
演 劇	10	8,233			
音 楽	8	5,621			
伝統芸能	3	2,254			
	ミュージカル	1	105		
小学校公演	69	32,898	15,157	19,245	4
音 楽	42	20,388			
演 劇	14	6,217			
伝統芸能	7	3,149			
ミュージカル	3	1,706			
	舞 踊	3	1,438		
合 計	107	56,630	34,787	41,387	10

② のじぎくサロンコンサート

兵庫県公館において県民が気軽に楽しめるサロン風コンサートを開催した。日仏のシャンソンシンガーの共演により、日仏交流の架け橋として、シャンソンで両国の文化交流を深めるコンサートを実施した。

事 業 名	開催年月日	出演者等	入場者 (人)
風かおる フランコ・ジャポネコンサート 日仏シャンソンの KAKEHASHI	元. 12. 7	シャンソン歌手 風かおる パトリック・ヌジェ アンヌ・リーズ ピアノ：中村力、 ドラム：KATANARI ベース：川田智博 レ・シャルマント： 村山奈緒美、RiRi	410
合 計	1 事業	1 公演	410

③ 対談 新宮晋×落合陽一～芸術を通じた人類の未来構想～【中止】

造形作家の新宮晋氏と、メディアアーティストであり、研究者である落合陽一氏という2人のアーティストが半世紀近い年齢差を超えて芸術を通して未来について語り合う対談イベントを計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

【会 期】 令和2年3月1日

【会 場】 三田市総合文化センター郷の音ホール

(4) 講座・体験等事業

① 兵庫県生活文化大学

日々の暮らしに夢とうるおいのある生活文化を創り育てるため、兵庫県生活文化大学を開催した。県立美術館、歴史博物館、考古博物館に講師を依頼するなど、最新の研究成果が学べる講座として、県や芸術文化団体との連携により独自性の高い学習機会を提供した。

	講 座 名	開催地	会 場	期間(回数)	受講者(人)
神戸校	文化財	神戸市	兵庫県民会館	4～2月 (10)	35
	考古学 (県立考古博物館)			4～2月 (10)	54
	日本美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月 (10)	52
	西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月 (10)	62
	ふるさとの歴史			4～2月 (10)	55
	音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)			5～3月 (10) ⇒(9) ※3月はコロナの影響で中止	33
	シャンソンに親しむ			5～1月 (8)	14
神戸校	伝統芸能	神戸市	兵庫県民会館 (講義)	5～1月 (8)	33
		大阪市 西宮市	大阪松竹座 (歌舞伎鑑賞) 芸術文化センター (能楽鑑賞)		
明石校	ふるさとの歴史 (明石市)	明石市	明石市生涯学習センター	4～2月 (10)	52
姫路校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市	県立歴史博物館	4～2月 (10)	45
合計		10講座		95回	435

※()は共催団体

② ふるさと兵庫の地域学

摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の五つの国からなる兵庫県のすばらしい地域文化を学ぶ機会を提供し、ふるさと意識を高める短期講座を開催した。

【開催日】 令和元年9月19日、10月17日、11月21日、12月19日、令和2年1月16日

【会 場】 兵庫県民会館 けんみんホール

【講 師】田辺 真人氏（園田学園女子大学名誉教授）

【参加者数】 337人

③ 伝統文化体験フェスティバル【中止】

伝統文化の新たな担い手を発掘するため、県域文化団体等の協力を得て、初心者向けの伝統文化の実演や体験講座の実施、外国人留学生向けの体験・見学ツアーなど伝統文化の魅力を多面的に紹介する予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大が危惧されるなか、事業に参加する文化団体からの辞退や濃厚接触を伴う体験型講座が多いことから中止を決定した。

【開催日】 令和2年3月7日～8日

【会 場】 兵庫県公館

④ 伝統文化体験教室

関係文化団体等との共催で兵庫県公館和風会議室を活用した体験教室を開催することにより、県民が伝統文化に触れる機会を提供した。

また、令和元年度に長唄の教室を追加し、新たな参加者の発掘に努めるとともに、受講者が参加団体の講師のもとに入門するなど、担い手の開拓にも寄与している。

【時 期】 令和元年5月～2年2月

【回 数】 17回

【会 場】 兵庫県公館和風会議室

【参加者数】 230人

【内 容】 伝統文化（茶道、能楽、琴など）

【参加団体】 能楽協会神戸支部ほか6団体

団 体 名	内 容 (回数)	参加者(人)
公益社団法人能楽協会神戸支部	能楽体験教室（6）	87
兵庫県箏絃連盟	箏体験教室（3）	42
一絃須磨琴保存会	須磨琴体験教室（2）	20
兵庫県舞踊文化協会	日本舞踊体験教室（1）	9
兵庫県婦人手工芸協会	押し花創作体験教室（2）	28
兵庫県茶道協会	茶席体験教室（2）	34
松耀会 東音松浦麻矢（協会独自事業）	長唄体験教室（1）	10
合計	7教室（17回） *募集定員 232人	230

⑤ 友の会会員事業の推進

芸術文化を愛し、こころ豊かな生活文化を育む人々が、芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいつくりと会員相互の交流を図るため、友の会会員対象の事業を推進した。

兵庫県芸術文化協会友の会会員

令和2年3月31日現在

	個人会員	ファミリー会員	団体会員
友の会会費	1口 3,000円	1口 5,000円	1口 10,000円
会 員 数	753人	108人(54組)	67団体

【特 典】・文化情報紙「すずかけ」の送付（毎月）

- ・研修事業への参加・生活文化大学等の受講料等の割引
- ・指定美術館・博物館等の入館料割引
- ・兵庫県民会館内食堂、喫茶等の利用料金割引

(ア) 研修事業の実施

県内外の人文・自然資源、文化史跡等を訪ね、先人が育んできた歴史・芸術文化にふれ、そのすばらしさを学ぶとともに、会員相互の交流と親睦を図った。

【ふるさと文化紀行】

催物名	開催年月日	場所	参加者(人)
橿原神宮特別拝観と西の迎賓館 奈良ホテルで楽しむフランス料理	元. 5. 28	奈良県橿原市、 奈良市	44
京の癒スポット～下鴨さんぽ～下鴨 神社・下鴨茶寮本店・旧三井家下鴨 別邸	元. 9. 26	京都府京都市	41
第12回永楽館歌舞伎の鑑賞と晩秋の 出石まち歩き	元. 11. 7	豊岡市 出石町	38
計 3事業 (3回)			123

【ふるさとウォーク】

催物名	開催年月日	場所	参加者(人)
埴岡真弓先生と歩く 湊町・高砂 -帆布と松と-	元. 10. 30	高砂市	21
計 1事業 (1回)			21

【至宝の文化財を訪ねて】

催物名	開催年月日	場所	参加者(人)
嵐山・福田美術館と京の非公開寺院・ 宝鏡寺を訪ねる【中止】	2. 3. 2	京都府京都市	—

【ふれあいの旅】

区分	催物名	開催年月日	場所	参加者(人)
海外	2つの故宫博物院と光の祭典 台湾ランタンフェスティバル 【中止】	2. 2. 12 ～15	台湾	—
国内	瀬戸内ゆるり探訪2つの世界 遺産と町並みめぐり	元. 11. 25 ～27	広島	19
計 1事業 (1回)				19

総計 5事業 (5回)			163
-------------	--	--	-----

(イ) 文化情報紙「すずかけ」の送付

友の会会員に対して毎月、文化情報紙「すずかけ」を送付し、芸術文化事業のチラシを同封するなど、情報の提供を行った。

(ウ) 芸術文化ボランティアの育成

友の会会員を対象に、ボランティアを募り、協会が実施する事業の受付・会場の安全、監視等として参画した。

【活動実績】 兵庫ふれあい美術展 19人 全国手工芸コンクール16人
鈴懸の径絵画展 19人

【主催事業 評価】

○表彰事業

ふるさと文化賞は、永年にわたり裏方に徹し、地域に貢献している者が日の目を見られるよう表彰する制度であり、高砂市郷土芸能「仁輪加太鼓」の高砂市民俗文化財指定に貢献し、古典舞踊を次世代に継承している 84 歳の女性、加東市秋津住吉神社発祥の雨乞い祈願神事「西戸百石踊」や豊岡市出石神社氏子の特殊神事「宮内幟まわし」を伝承する保存会の取り組みなど、地域に根ざした分野における地域文化向上への尽力を評価した。地元以外での発表の場を設けることによりPRに努める。

亀高文子-赤艸社賞は、流し込み技法により人々を魅了し第一線で活躍する大阪府箕面市在住の女性洋画家に、坂井時忠音楽賞は、将来の活躍が期待される新進の音楽家を顕彰するものであり、大阪府摂津市在住の豊かな音楽性に富む若手オルガン奏者に贈呈し、今後の活躍の励みとなっている。

○コンクール、展示事業

「鈴懸の径絵画展」は、県民の創作活動の発表の場として活用され、ユニークな屋外展示が道行く人々に親しまれる絵画展として特徴があることから来場者の人気を集めている。出展の申し込みが、昨年度より 23 件(15%)増加し、過去最高の出展数で開催できた。しかし、開催時期が梅雨入りと重なったため、屋外での展示が厳しい天候であったが、何とか1日のみ屋外展示できた。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が5月 31 日まで延長され、兵庫県は引き続き対策を重点的に実施する「特定警戒都道府県」に指定されている状況のなか、関係者の健康や安全の確保を第一に考慮し中止とした。

「兵庫ふれあい美術展」は、出品料が無料であり、応募作品の全てを展示し、県民の作品を披露する場として定評がある。応募総数は、過去3番目に多い519点、洋画部門は過去最高の284点で、初めての申込者が3割程度あったことが、応募が増えた要因だと考えられる。

○鑑賞機会の提供

・県民芸術劇場

令和2年度演目リスト作成にあたり、公演希望の多い団体は、演目リストに興味を引く公演内容が記載されており、公演団体に改善を促したところ、8小学校1高校から新規演目での公演依頼があり、公演団体にとっては、採択されることで大きな励みになっている。採択にあたっては、市町・学校から公演希望が集中する出演団体の偏りを調整し、より多くの団体が出演できるよう留意している(出演団体 令和元年度 37 団体、30 年度 41 団体)。また、教員からは、「児童は、一流の演奏家による生演奏を聴くことの楽しさや楽器の音色の美しさに引き込まれていた。」児童からは、「バイオリンは馬の毛で作られた棒で引くことに驚いた。」「ピアノとバイオリンとマリimbaで、こんなにもきれいな音楽ができることに感動した。」「将来ミュージカルをやってみたい。」などの感想をいただき、芸術文化に関心を引き付けるプログラムが高く評価されている。

・のじぎくサロンコンサート

当協会事業の生活文化大学の講座「シャンソンに親しむ」の講師であり、宝塚歌劇団出身で関西を代表するシャンソン歌手の風かおる氏の出演で、日仏のシャンソンシンガーの共演により日仏両国の文化交流を深めるコンサートを企画した。フランスのシャンソンシンガーが日本語で「川の流れるように」等の日本の歌を歌い、日本のシャンソンシンガーがフランス語で「ミラボー橋」を歌う他、アコーディオンとのコラボレーションやショーアップされたステージとなった。今後も、兵庫ゆかりの芸術家の方々に出演協力をいただき、良質な芸術文化の鑑賞の機会を提供できるよう努めていく。

○学習機会の提供

・生活文化大学

受講者のニーズに応じて前年度に引き続き 10 講座を開講したが、全体の受講者数は昨年度から 36 人減の 435 人となった。公立文化施設への広報協力依頼に加え、新聞紙上等への広報依頼を積極的に行い、事業周知に努める。また、各県立施設(県立美術館、歴史博物館、考古博物館)の専門性を生かすとともに、文化団体と連携して当協会ならではの独自性の高い講座を工夫し、受講生の獲得に努めていく。

・ふるさと兵庫の地域学

田辺真人氏(兵庫県文化賞受賞者)による5回シリーズの短期講座(5 年目)を開設し、ふるさと意識を深める学習機会を提供した。昨年度の受講者数を 52 人上回る 337 人を獲得した。例年好評であることから、新型コロナ感染防止対策を講じた上で、今後は講座回数を6回に増やして実施する。

○伝統文化体験機会の提供

県域芸術文化団体等の協力のもと、伝統文化を体験する機会を提供し、次代の子どもたちが伝統文化に接し、理解や興味を抱くことに努めた。

・伝統文化体験フェスティバル・伝統文化体験教室

ふるさと文化賞受賞者の披露や「箏・三味線・尺八」の実演、和楽器にふれる機会等を提供し、親子連れを中心に幅広い層の県民に参加いただけるよう準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

伝統文化の次世代への継承が困難になってきていることから、身近に伝統文化を体感でき、触れられる機会を各地域に広げていくことが求められており、地域文化団体等に兵庫県公館での体験フェスティバルや体験教室の地域版の実施を働きかけたところ、令和元年度に初めて丹波地域で体験フェスティバルが実施され好評であった。引き続き、今年度も夏に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染対策のため延期される。また、西播磨地域は、今年度の夏に新たな文化体験教室の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、時期をずらして、秋に開催予定。

○芸術文化協会友の会会員事業

会員数は、27年度 1,162 人、28年度 1,129 人、29年度 1,008 人、30年度 974 人、令和元年度 928 人と減少傾向に対し、文化情報紙「すずかけ」送付先施設での友の会会員向けの事業の周知強化とともに、県学校厚生会など関係団体への広報に努めた。今後も生活文化大学など、友の会会員が参加する事業の魅力を高め、あわせて会員優待施設の拡充を図る。

2 芸術文化団体等との連携事業

地域文化団体等との情報交換、共同事業、シンポジウムなどの実施を通して連携・交流を深め、地域文化の高揚を図った。

(1) 兵庫県地域文化団体協議会への支援

地域文化の向上と振興に貢献することを目的とする兵庫県地域文化団体協議会の事務局を担当し、県内7地域で活動する地域文化団体との連携を深めた。

【兵庫県地域文化団体協議会構成団体】

阪神南文化振興団体連絡協議会	阪神北文化振興団体連絡協議会
東播磨文化団体連合会	西播磨文化協会連絡協議会
但馬文化協会	丹波文化団体協議会
淡路文化団体連絡協議会	公益財団法人兵庫県芸術文化協会

① 地域文化団体との共同事業

*

兵庫県地域文化団体協議会が、各地域において地域の核となる文化団体協議会等と共同で文化事業を実施した。

文化団体名	事業名	開催年月日等
阪神南文化振興団体連絡協議会	第13回 LALALA にしきたミュージシャンコンテスト2019	[予選]元. 9. 8・15・22 [決戦]元. 10. 24 (場所:西宮市内)
阪神北文化振興団体連絡協議会	阪神北文化フェスタ	元. 12. 15 (場所:三田まちづくり協働センター)
東播磨文化団体連合会	東播磨文芸誌「東はりま文化子午線第43号」発行	2年3月発行
西播磨文化協会連絡協議会	西播磨地域ふれあい文化交流会	元. 10. 15 (場所:上郡町生涯学習支援センター他)
但馬文化協会	「たじま作品集－短詩型文学第44集」発行	2年3月発行
丹波文化団体協議会	丹波における伝統文化体験フェスティバル	元. 8. 4 (場所:丹波の森公苑)
淡路文化団体連絡協議会	淡路文化の祭り 第38回全淡短歌祭 第43回淡路島俳句大会 第41回淡路文学作品展	元. 7. 20 元. 11. 10 元. 11. 27～12. 6 (場所:洲本市内)

② 地域文化を考えるシンポジウム

地域文化の活性化を図るため、阪神北地域に県内市町文化協会・団体の会員が一堂に会し、地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行った。

【開催日】 令和元年10月24日

【会場】 高砂市文化保健センター ぼっくりんホール

【主催】 東播磨文化団体連合会、兵庫県地域文化団体協議会、(公財)兵庫県芸術文化協会

【テーマ】 「地域文化の継承と創造」

【内容】 テーマに沿った、玉岡かおる氏(作家・大阪芸術大学大学院教授)の基調講演及びパネルディスカッションのほか、地域活動についての意見交換

【参加者】 県内各地文化関係者250人

(2) ふれあいの祭典—県民文化普及事業

*

県民文化普及事業の22事業(うち1事業中止)について、県からの委託を受けて県内全域に文化のすそ野を拡大していくため、県域文化団体、開催市町とともに実行委員会を立ち上げ、広報宣伝・観客誘致、開催記録の作成等を担当した。

No.	事業名	開催年月日	会場	参加者(人)
1	兵庫県交響楽祭	元. 9. 8	西宮市	1, 105
2	アンサンブル・フェスティバル兵庫 in 丹波篠山	元. 9. 15	丹波篠山市	677
3	ひょうご日本民謡フェスティバル	元. 9. 29	神戸市	670
4	ひょうご邦楽の祭典	元. 9. 29	西宮市	579
5	ひょうご名流舞踊の会	元. 10. 6	神戸市	1, 677
6	詩のフェスタひょうご	元. 10. 6	神戸市	121
7	全国手工芸コンクール in ひょうご	元. 10. 10 ~13	神戸市	1, 325
8	ひょうご民俗芸能祭 in ひめじ	元. 10. 13	姫路市	394
9	ひょうご吟剣詩舞道祭	元. 10. 13	明石市	890
10	ひょうご大茶会	元. 10. 20	神戸市	2, 195
11	兵庫県いけばな展(神戸展)	元. 10. 24 ~30	神戸市	9, 605
12	和太鼓フェスティバル in 兵庫	元. 10. 26	太子町	788
13	ひょうごグラスフェスティバル	元. 11. 3	西宮市	1, 659
14	ひょうご洋舞フェスティバル	元. 11. 4	西宮市	1, 183
15	音楽とダンスの祭典 in Hyogo	元. 11. 10	神戸市	1, 246
16	兵庫県いけばな展(地域展)	元. 11. 16 ~17	豊岡市	1, 552
17	兵庫短歌祭	元. 11. 17	神戸市	984
18	ひょうご俳句フェスティバル	元. 11. 23	神戸市	1, 430
19	兵庫県川柳祭 in 赤穂	元. 12. 1	赤穂市	2, 628
20	兵庫ふれあい美術展	元. 12. 20 ~22	神戸市	2, 239
21	ひょうご演劇祭	2. 2. 8	尼崎市	229
22	ひょうご合唱の祭典【中止】	2. 3. 15	加東市	—
合 計				33, 176

(3) ひょうご文化交流のつどい

*

県域文化団体等の協賛のもと、様々な分野の文化関係者が一堂に集い、交流・親睦を深める場を作り出すことにより、芸術文化活動の一層の発展を図った。また、この

場を提供して兵庫県芸術奨励賞の表彰式が行われ、将来の活躍が期待される受賞者を紹介した。

- 【開催日】 令和元年12月19日
- 【会場】 ホテルオークラ神戸
- 【参加者】 591人

(4) 芸術文化団体等の事業への支援

芸術文化団体等が主催する文化振興事業に対し、後援、協賛するとともに、優秀作品に「兵庫県芸術文化協会賞」を贈った。

- 【後援事業件数】 237件
- 【協会賞交付件数】 78件

(5) 兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される、兵庫県文化賞受賞者の事務局運営等の支援を通じて、会員相互の親睦を深め、芸術文化の振興を図った。

- (ア) 第41回総会 (令和元年5月22日 豊岡市出石町)
- (イ) 会報「五瓣のたより」 (令和元年8月発行)
- (ウ) 兵庫県文化賞受賞者小品展 (5会場、会期23日間、入場者818人)

(6) がんばろう東日本！アート支援助成事業

県内の芸術文化団体・グループが行う東日本大震災被災地での芸術文化活動を支援することにより、被災者がより多くの芸術文化に触れる機会を提供し、こころの復興に寄与してきた。支援団体への助成金は、マッチング・ファンド方式を取り入れ、県民からの寄附金募金とともに、兵庫県からの同額の補助金を受けてその財源に充てた。

被災県における芸術文化の復興支援体制が確立されており、県復興基金からの支援も終了していることから、令和元年度で終了した。

- 【実施時期】 令和元年8月～10月
- 【団体数】 4団体
- 【参加者数】 410人

令和元年度「がんばろう東日本！アート支援助成事業」一覧

No.	団体名	内容	期間	場所	参加者 (人)	助成額 (千円)
1	KANON-MUSIK (カノン・ムジーク)	ジュニア管弦アンサンブル交流コンサート	元.8.21 ～8.22	宮城県 石巻市	90	300
2	神戸フィル ハーモニック	弦と木管アンサンブル、 金管アンサンブルによる コンサート 地元中学校吹奏楽指導	元.9.13 ～9.17	宮城県 南三陸町 福島県 南相馬市	80	300
3	宝塚サージェリー ・ネットワーク	落語とヴァイパー&バイ オリン演奏	元.9.24 ～9.27	宮城県 多賀城市 石巻市 松島市	180	300
4	「国際現代」 水墨画協会	水墨画や書の展示鑑 賞、墨を使ったワークシ ョップ	元.10.26 ～10.28	宮城県 名取市	60	267
合 計 (4団体)					410	1,167

*…その他（芸術文化団体との連携事業）に区分される事業

【芸術文化団体等との連携事業 評価】

○地域文化団体との共同事業

兵庫県地域文化団体協議会が、地域の核となる文化団体協議会等と共同で阪神南文化振興団体連絡協議会が毎年開催している「LALALA にしきたミュージシャンコンテスト」などの文化事業を実施し、地域の特色を生かした取組みによって地域文化の振興に寄与した。

このほか、地域で定着してきた音楽祭や文化交流会の開催のほか、文芸誌の刊行や作品展による文芸作品の普及と発表機会の継続提供など、地域文化の発信に貢献した。

また、丹波地域において、初めて伝統文化体験フェスティバルを実施し、伝統文化の継承につながった。

○地域文化を考えるシンポジウム

シンポジウムでは、「地域文化の継承と創造」をテーマに、令和へ引き継ぐ地域文化の魅力に取り組む地域団体からの活動報告を行うなど、アートがつなぐ地域創生を考える貴重な契機となった。

なお、地域の構成団体では、傘下の文化団体等の会員の高齢化に伴う会員数維持の困難さや、次世代への伝統文化の継承の難しさなど喫緊の課題があり、新会員の獲得、子どもや若年世代への働きかけを進めていくことが重要である。

協会としては、実践的な活動事例の紹介や各種の助成金情報の提供に努めるなど、文化会館等関係機関との協力・連携体制を強めていく。

○ふれあいの祭典—県民文化普及事業

開催地域のバランスを考慮して調整していることから、市町文化会館等会場の集客規模、芸術文化に対する都市と郊外の意識差等の要因によって、毎年参加者数に増減がある。令和元年度は、10月に接近した台風19号や3月に感染拡大した新型コロナウイルスの影響による開催中止により、前年度より参加者が8,700人程度減少した。

また、個々の事業では県域芸術文化団体及び関係市町の協力を得て実施することで、地域の文化振興と県民の交流の輪を広げることにつながっており、参加者の満足度は90.1%(前年度88.8%)と高い。

10月に実施した「ひょうご大茶会」では、オーストラリアとアメリカ合衆国出身の外国人を招待し日本文化にふれる機会を提供した。

○ひょうご文化交流のつどい

県内の芸術文化関係者が一堂に集う「つどい」の開催は、分野や流派を超えた交流・連携の実現につながっており、本県の芸術文化活動の一層の充実・発展とレベルアップに寄与した。また、兵庫県芸術奨励賞に贈呈の場を提供、ロビーには全受賞者の作品を展示するなど県事業への協力も行った。

参加者591人を集め、様々な分野の交流を深める機会の提供ができた。

○兵庫県文化賞受賞者懇話会

兵庫県文化賞受賞者の親睦・交流を図るとともに、各種文化事業を通して県民文化の向上に寄与することを目的として設立された兵庫県文化賞受賞者懇話会に事務局として運営支援を行った。兵庫県文化賞受賞者の作品を県内各地で展覧する小品展は、優れた芸術を鑑賞できる機会として、開催地の県民局や公立施設への広報協力依頼を行い実施している。令和元年度の入場者数は808人と前年から472人減少した。今後は集客の見込める開催地へ変更するなど、集客の増に努めていく。(入場者の推移:26年度1,186人、27年度1,197人、28年度1,105人、29年度964人、30年度1,280人)

○アート支援助成事業

宮城県を中心に東日本大震災発生から9年間、熊本地震発生から3年間、被災地で活動する芸術文化団体(のべ87団体)を支援し、被災者のこころの復興に一定の役割を果たしてきた。宮城県においては「文化芸術の力による心の復興支援事業」、熊本県においては「アートキャラバンくまもと(熊本県立劇場)」等が実施され、芸術家が行う被災者支援を力強く推進されるなど、芸術文化による復興支援体制が確立されていることから終了した。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

芸術文化コーディネーターと顧問を配置し、新進・若手芸術家に対する相談・助言や発表機会の提供など人材育成支援を図った。

(1) 芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場と

して利用され、交流の拠点としてサロン機能を発揮した。

【来場者数】 5, 612人

(2) 相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する企画・PR方法等、様々な相談に応じた。また「さわやかステージ」を開催するための各種相談・情報提供を行った。

【相談件数】 166件

【さわやかステージ斡旋件数】 20件

(3) 若手アーティストの育成・支援

兵庫県民会館を活用して、新進・若手芸術家の作品展、演奏会を開催した。

① 県民会館ロビーコンサートの開催

兵庫県民会館のロビーを活用した経験の浅い若手音楽家のコンサートを開催し、活動発表の場を提供した。また、兵庫県いけばな協会の協力により、ロビーに生け花を添えて芸術文化に親しむ環境の充実を図った。

【開催日】平成31年4月から令和2年3月までの第2土曜（11回）

3月はコロナウイルス感染症拡大の影響で中止

【会場】兵庫県民会館ロビー

【鑑賞者】約1,200人（約110人/回）

② 新進美術家作品展の開催

県内各美術団体の協力を得て、芸術文化コーディネーターのもと、新進作家を中心とした作品展を開催した。

・ひょうごアーティストサロン内

事業名	開催年月日	出展人数(人)	入場者(人)
兵庫二紀会選抜展	31.4.1～元.5.31	3	449
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	元.6.1～7.30	16	392
兵庫県美術家同盟新進作家展	元.8.1～9.30	9	392
兵庫の工芸 壁面を飾る	元.10.1～11.30	4	292
兵庫県書作家協会選抜展	元12.2～2.1.31	6	273
兵庫県日本画家連盟選抜展	2.2.1～3.31	8	304
合計	258日	46	2,102

・兵庫県民アートギャラリー特別展示室

事業名	開催年月日	出展人数(人)	入場者(人)
播磨のかたち—陶の今—	元.9.4～8	9	569
国画会 兵庫の新進作家展 —絵画・版画・彫刻・工芸・写真—	2.2.5～9	10	616
合計	10日	19	1,185

・兵庫県民アートギャラリー大・中展示室

事業名	開催年月日	出展人数(人)	入場者(人)
兵庫県美術作家交流展 新進・選抜・プラス	元.12.18～22	97	718

③ 新進芸術家育成事業の実施

県内の音楽等の関係者の協力を得て、今後の活躍が期待される新進芸術家に対し、兵庫県民会館のけんみんホールを利用できる機会を提供し、毎月1回のペースで「新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ」を開催した。

あわせて兵庫県いけばな協会の協力により舞台に生け花を添えて鑑賞者に対して芸術文化に親しむ環境のさらなる充実を図った。

事業実施にあたっては、出演者にマネジメントを自ら経験してもらい、今後演奏家として実務に携わる際に直接役立てられるようリサイタルの企画から実施までの支援を行った。

新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズの開催

事業名	開催年月日	いけばな	入場者(人)
中川雲母ヴァイオリンリサイタル	31.4.19	成瀬香泉(知香流)	175
星山智子ピアノリサイタル	元. 5.10	内藤貴風(光風流)	174
原田えみクラリネットリサイタル	元. 6. 7	岸上朝甫(未生流)	122
サクソフォンカルテットコパンリサイタル	元. 7. 31	熊原恵甫(未生真流)	278
内藤雪子ピアノリサイタル	元. 8. 28	久保丹啓、畠田基超(草月流)	151
内藤里美ソプラノリサイタル	元. 9. 13	西村崇 (佳生流)	283
竹内久力クラリネットリサイタル	元. 10. 18	梶山 恵甫 (未生流)	151
平本直規ピアノリサイタル	元. 11. 22	広川英男 (池坊)	160
三瀬直子フルートリサイタル	元. 12. 20	中山高昌(未生流中山文甫会)	197
森本美帆ピアノリサイタル	2.1.30	佐伯一甫(未生流(庵家))	163
西尾岳史バリトンリサイタル 【延期】	2.2.28	伊藤洸明(御室流)	—
坂本彩ピアノリサイタル【延期】	2.3.13	小原流	—
合計	10事業	10公演	1,854

④ ひょうごアーティストサロン賞(再掲)

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手芸術家及びサロンの企画・運営に協力的な指導者に「ひょうごアーティストサロン賞」を贈呈した。

【県内アーティストへの相談・助言等支援事業 評価】

○ 芸術文化関係者の交流・連携の促進(サロン機能)

芸術文化コーディネーターと顧問が豊富な知識・経験とネットワークを活かし、多様な分野、幅広い年齢層の芸術文化関係者が気軽に集い、交流・連携を生み育てるサロン機能を発揮できた。

○ 相談・助言の実施(情報の発信機能)

平成18年度のオープン以来、情報発信、相談活動を継続しており、若手アーティスト等の情報発信を行う貴重な拠点として認知されるようになった。

○ 若手アーティストの育成・支援(発表の場の提供機能)

兵庫県民会館が文化の拠点として一層親しまれるよう「ロビーコンサート」を毎月1回(3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止)、年間11回開催した。リピーターの鑑賞者が定着し、1回あたりの鑑賞者数が平均110人と年々増加している。また、「新進美術家作品展」では、次代を担う若手アーティストらの活動成果の発表機会、気軽に県民が芸術文化に触れる機会の提供のほか、分野や団体の枠を超えたアーティスト同士の交流を図ることができた。

なお、平成30年度まで実施していた「新進音楽家演奏会」と「パフォーマー・フェスティバル」は、出演者が減少傾向で、業務のボリュームの適正化を図るため、終了した。

○ 新進芸術家育成事業の実施

将来の活躍が期待される若手アーティストに発表の場を提供し、あわせてコンサートの事前準備、コンサートの構成、共演者の選定、広報チラシ、チケットの作成、当日に向けたプログラムの作成や集客のための広報活動の経験する機会を提供した。また、兵庫県いけばな協会の協力による舞台花とのコラボレーションを行って、芸術文化を担う人材の育成に努めた。出演者からは、「リサイタルという1時間以上に及ぶ演奏会はプログラムの構成や厚みなど考えることが多く、演奏家として精神力や体力の必要性を学ぶ上でまたとない良い機会となった」「夜の公演ということで普段とは違うお客さんに鑑賞してもらえた」「チラシを見た方から演奏依頼があった」との声をもらっている。また、兵庫県いけばな協会からも「各流派にとっても発表の良い機会になっている」「舞台花を生ける機会は少ないので、とても勉強になった」との感想をもらっており、高い評価を得ている。なお、2月以降の公演は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

4 情報の提供

(1) 文化情報紙「すずかけ」の発行

研修事業、芸術文化協会主催事業、芸術文化団体主催事業など、芸術文化に関する情報を提供し、芸術文化活動への参加を促すとともに、関心を高めた。

- 【仕様】 タブロイド版、6ページ、2色刷り
- 【発行】 毎月1回 各5,000部
- 【内容】
 - ・研修事業、県内の芸術文化事業
 - ・芸術文化センター事業、ピッコロシアター事業
 - ・文化人紹介（素顔拝見）
 - ・季節の花の名所や味どころ、歴史的・文化的な名所の紹介（花さんぽ味めぐり）
 - ・各種文化情報
- 【配布先】 友の会会員、文化団体、県内各市町、報道機関ほか

(2) 文化情報の提供

兵庫県民会館の1階及び2階に、文化情報誌、催物案内チラシ、図書などを閲覧できる情報コーナーを設けて、情報交流の場として多彩な文化情報を提供するとともに、来館者数の増加を促進した。

(3) ホームページの運営 (<http://hyogo-arts.or.jp>)

財団概要や本部事業、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介した。

① (公財) 兵庫県芸術文化協会

- 【内容】・財団概要
 - ・事業案内（協会主催事業等）
 - ・管理施設案内

② 兵庫県民会館、兵庫県民アートギャラリー

- 【内容】・施設概要、利用案内、空室情報
 - ・催し物案内（イベント情報、文化教室）
 - ・リンク（県下の美術館、博物館、ホール、芸術文化団体等、県立施設等、官公庁等）

【アクセス数】 82,694件（平成31年4月～令和2年3月）

(4) その他多面的な広報活動

① マスメディアによる情報提供

- ・テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配布等
- ・各種情報誌への情報提供
- ・FM局への情報提供、出演PR

② 県広報媒体の活用

- ・兵庫県広報誌「県民だよりひょうご」等

③ 県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供

県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等事業を共催している施設と連携してPRを行うほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行った。

【情報の提供 評価】

○ 文化情報紙「すずかけ」の発行

月1回、芸術文化に関する情報を提供し関心を高めた。芸術文化活動への参加を促すとともに、また、読者からは兵庫の芸術文化に関するきめ細かな情報が得られるとして好評を得ている。

○ 文化情報の提供

兵庫県民会館に情報コーナーを設けて、県内の芸術文化情報を提供し、常に最新情報とすべく頻繁に更新しており、利用者に喜ばれている。

○ ホームページの運営

財団概要や本部事業のみならず、芸術文化センター、ピッコロシアター、県民会館、王子分館のホームページにリンクし、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介し、施設、事業のPRとともに文化情報の発信を促進した。

〔県立美術館王子分館関係〕

県立美術館王子分館の管理・運営

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館において展覧会、公開制作やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信や情報収集を行うとともに、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家の発表の場としての役割を果たすよう管理・運営に努めた。

【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

【施設】 〈原田の森ギャラリー〉 本館（1・2階展示室）、東館（1・2階展示室）、
会議室等（5室）

〈横尾忠則現代美術館〉 アーカイブルーム、展示室（2・3階）、
オープンスタジオ、ミュージアムショップ、
インフォメーション

〈喫茶棟〉

〈附属駐車場〉 31台

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

① 貸しギャラリー等の実施

公立美術館としては全国最大規模の貸しギャラリーや実技教室を有し、洋画・日本画・書道・彫塑等の作品発表、並びに絵画教室等への提供施設として活用いただくとともに、造形芸術の活動・交流・情報発信拠点づくり及び創作活動の発表の場づくりに努めた。

・利用状況

【来館者数】 148,935人

【利用状況】

施設名	室数等	開館日数（日）	利用日数（日）	利用率（%）
展示室	4室	1,220	1,091	89.4
会議室等	5室	1,525	870	57.0
附属駐車場	31台	延べ利用台数13,298台		

【利用料収入状況】

（単位：円、税込）

区分	金額	区分	金額
展示室	21,703,450	附属駐車場	7,230,800
会議室等	5,020,125	利便施設	500,243
収蔵庫	4,600,700	—	—
付属設備	292,950	合計	39,348,268

② ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議を開催し、貸出計画案の承認を得た。平成31年度については、2020年4月から2022年3月までの利用調整のため、3回の運営会議を開催した。

- ・第1回運営会議 令和元年5月15日
- ・第2回運営会議 令和元年9月4日
- ・第3回運営会議 令和2年2月5日

③ 情報の提供・広報

（ア）ホームページの運営（<http://hyogo-arts.or.jp/harada>）

【内容】施設概要、利用案内、空室情報、展覧会案内 等

(イ) 催し物案内の配布

【配布先】 灘区各所、県民会館、他関係施設・公共施設等

(ウ) 館内の案内表示等の整備

【内 容】 壁面・ガラス面案内表示、館内案内図等の作成

【原田の森ギャラリーの管理・運営 評価】

○施設の利用状況

平成 31 年度のギャラリー（本館・東館の 4 展示室）の利用率は、例年並みの安定した利用率を維持していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、キャンセルが相次ぎ、最終的に 89.4%と過去 2 年の実績を下回る結果となった（^㉔91.4%^㉕92.5%）。県の外出自粛要請を踏まえ、令和 2 年 3 月分の展示室・会議室の利用者に対し意向確認を行った。その結果、中止または次年度以降の延期となった利用分につき施設利用料を全額返還することとした。

＜展示室＞ 中止 6 件、延期 2 件 影響額 1,634 千円

＜会議室＞ 中止 12 件、延期 25 件 影響額 218 千円

○情報の提供と発信

マスコミや情報誌等のほか、公共施設・近隣店舗への情報提供に加え、ホームページやツイッター、フェイスブック、インスタグラムの SNS などで、展覧会・イベント情報などを掲示し、常にタイムリーな情報発信の強化に努めた。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

横尾忠則氏の優れた作品等について広く県民に鑑賞する機会を提供するため、横尾作品を中心とする展覧会の実施、公開制作や著名人との対談など、様々な事業を展開する美術館として運営を行った。

【来館者数】 55,525 人

【入場者数】 24,832 人

① 横尾作品を中心とした展覧会の開催

展覧会名	人食いザメと金髪美女ー笑う横尾忠則展
開催期間（日数）	令和元年 5 月 25 日（土）～8 月 25 日（日）（80 日）
入場者数（人）	8,711 人
うち有料入場者数 ・有料入場率	5,770 人・ 66.2%
内 容	横尾忠則の作品には、様々な「笑い」の要素を発見することができる。本来出会うことのないモチーフどうしの組み合わせ、批評精神あふれるパロディなど、作品に散りばめられたユーモアやウィット、その構成要素となっている謎と毒に注目し、横尾から鑑賞者への挑戦ともとれる笑いの正体を探った。 【出品点数：約 140 点】

展覧会名	横尾忠則 自我自損展
開催期間（日数）	令和元年 9 月 14 日（土）～12 月 22 日（月・振休）（86 日）
入場者数（人）	8,721 人
うち有料入場者数 ・有料入場率	4,840 人・ 55.5%

内 容	アーティスト横尾忠則をゲスト・キュレーターに迎え、横尾が自ら出品作品を選定し、展示プランを考案した。タイトルの「自我自損」は、エゴに固執すると損をする、という意味の造語で、横尾の絶えざる自己否定、そして一貫したテーマである「自我からの開放」が反映されている。現役アーティストの名を冠した美術館ならではの野心的な試みとなった。 【出品点数：約 70 点】
-----	---

展 覧 会 名	兵庫県立横尾救急病院展
開催期間（日数）	令和2年2月1日（土）～8月30日（日）（182日） 新型コロナウイルス感染防止のため、 ※臨時休館 3月4日～3月15日 3月20日午後～3月31日 ※当初の会期（5月10日まで）を8月30日（日）まで延長 ※再開 6月2日（火）
入場者数（人）	3,118人
うち有料入場者数 ・有料入場率	2,312人・ 74.2%
内 容	本展では、頭や心よりも肉体感覚を通して得られるものに信頼を置く横尾の生き方を基本理念に、眼科、外科など様々な診療科を用意し、絵画、版画、著書や愛読書等幅広い作品と資料から、肉体との付き合い方を見つめ直す機会を提供することを目指した。 【出品点数：約 80 点】

② 貴重なアーカイブ資料の整理と公開

イラストやポスターの原画、掲載誌をはじめ横尾氏の手許に保管されていた大量の資料を順次整理、公開している。資料整理をより円滑に行うため、博学連携を活用し、平成25年7月より、神戸芸術工科大学のインターン生及び甲南大学、武蔵野美術大学の博物館実習生を受け入れている。また、武蔵野美術大学美術館・図書館と共同で掲載誌の整理・調査研究も実施している。

【令和元年度実績】

- ・博物館実習生：甲南大学10名、武蔵野美術大学2名
- ・インターン生：神戸芸術工科大学4名

（ア）整理

- （a）整理済み資料に関する情報は、4階閲覧コーナーの端末で検索可能。
- （b）検索システムに登録済の資料数：4,082点

（イ）公開

- （a）整理済み資料については閲覧可能（無料、要予約、個人への貸出不可）
- （b）これまでの利用実績：89件

（ウ）展示 実績：153件

③ オープンスタジオを活用した多彩なイベントの実施

（ア）企画展関連事業

企画展ごとに、展示内容と密接に関連したイベントを開催した。

〔人食いザメと金髪美女ー笑う横尾忠則展〕

(単位：人)

事業名	実施年月日	講師	参加者数
イブニング・ギャラリートour	元.6.8	講師：当館学芸員	31
	元.7.20	講師：当館学芸員	10
	元.8.10	講師：当館学芸員	21
狂言と、狂言のお話	元.7.13	出演：茂山七五三、 茂山千之丞、鈴木実	223
ワークショップ 「みんなでファッションショー！」	元.7.26	講師：当館学芸員	20
小 計 (5回)			305

〔横尾忠則 自我自損展〕

事業名	実施年月日	講師	参加者数
キュレーターズ・トーク〔展覧会紹介〕	元.9.28	講師：当館学芸員	43
〃〔保存修復活動〕	元.11.1	講師：当館学芸員	31
〃〔アーカイブルーム〕	元.11.2	講師：当館学芸員	34
〃〔展覧会紹介〕	元.11.4	講師：当館学芸員	61
〃〔 〃 〕	元.12.7	講師：当館学芸員	53
Y+T 寄席「遊興亭福し満 落語会」	元.10.19	出演：遊興亭福し満	47
インスタグラマー向け内覧会	元.11.9	講師：当館学芸員	17
横尾忠則 公開制作	元.11.28	横尾忠則氏	171
ワークショップ 「ガラス絵をつくろう」	元.11.30	講師：当館学芸員	25
小 計 (9回)			482

〔兵庫県立横尾救急病院展〕

事業名	実施年月日	講師	参加者数
神戸労災病院 健康フェア 健康測定(「骨密度測定」「血圧・ 動脈硬化度測定」他)	2.2.8	神戸労災病院スタッフ	130
小 計 (1回)			130
合 計 (15回)			917

(イ) オープンスタジオコンサート（当館1階）

地域のにぎわいづくりと、当館の新たなファン層の拡大をめざし、県内を中心に活動する優れた音楽家等によるコンサートを開催した。

(単位：人)

事業名	実施年月日	出演者	参加者数
ソプラノ・フルート・ピアノの調べ	31. 4. 28	田中郷子(Sop)、三瀬直子(F1)、久下真理(Pf)	172
OUTSIDE SOCIETY あるサイケデリック・ボーイの音楽遍歴 AyuO トーク&ライブ	元. 6. 15	Ayuo (Vo, Gt)、TOMO (Hurdy) 軸原ヨウスケ(トーク)	85
播磨室内合奏団 「シヨスタコービッチ・チクルス vol. 3」	元. 7. 7	嶽崎あき子(V1 1)、立花礼子(V1 2)、奥村英樹(V1a)、高橋乗子(Vc)	185
アフリカンダンス&ドラムパフォーマンス by Walabook?!	元. 8. 11	生野彩、にいゆみこ、シェハタイルンバイ、アブドゥカリムサール、パップゲイ	192
秋のクラシックギターコンサート	元. 9. 22	大西洋二郎 (Gt)	143
chika et sae ボタンアコーディオンコンサート	元. 10. 27	野村千佳 (Acod)、三浦冨 (Acod)	106
開館記念日 PAC アンサンブルコンサート	元. 11. 3	フルヴィオ・カプラ(C1)、イ・ヘミ(V1)、河村佳奈(V1)、トーマス・ドゥボスキ(V1a)、久保田佑里(Vc)	111
1 DAY JAZZ ROAD 名盤レコードコンサート	元. 11. 9	三浦紘朗 (進行)	168
ベルクレール クリスマスコンサート	元. 12. 15	山根邦子(Bell)、村上麻央(Bell)、飯田一馬(Perc) 片岡ゆき (Pf)	117
播磨室内合奏団 「シヨスタコービッチ・チクルス vol. 4」	元. 2. 16	嶽崎あき子(V1 1)、立花礼子(V1 2)、奥村英樹(V1a)、高橋乗子(Vc)	112
合 計 (10回)			1,391

④ 作品・資料等の保存・修復活動

収蔵作品及び資料を良好な状態で保存するため、劣化要因（温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など）を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努めている。保存・修復に際しては、作品の現状維持修復を原則とし、必要最小限度の修復処置を心がけることで、オリジナルの価値を損なわないように配慮しながら管理している。

⑤ 連携によるにぎわいづくり

(ア) 地域との連携

(a) 地域住民・商店街等との連携

- ・ポスター・チラシの配布、地元イベントへの参画、開会式への招待等
- ・12月には「ベルクレーン クリスマスコンサート」の出演者が、水道筋商店街でハンドベルのミニコンサートを開催し、清らかな音色を響かせた。

(b) 周辺施設との連携(神戸文学館、灘区民ホール、王子動物園、BBプラザ美術館等)

- ・相互のポスター・チラシの掲示・設置。県立美術館とは、半券提示で相互に割引制度を実施、開会式への招待。

(イ) 団体等との連携

国際ロータリークラブ、ライオンズクラブ、JC、(公財)神戸いきいき勤労財団との協定を締結

(ウ) 学校との連携

- ・芸術系大学を中心に展覧会に団体受け入れ、学芸員による案内を実施
- ・県立西宮鳴尾高校、神戸高校、兵庫高校の美術部員等を展覧会開会式に招待

(エ) 書店との連携

書店での図録の委託販売を実施し、全国的なPRを実施

- ・蔦屋書店(梅田店)

(オ) 他館との連携

(a) 国内

【ミュージアムロードを構成する主要文化施設】

県立美術館本館はもとより、近接する神戸文学館や神戸市立王子動物園、ミュージアムロードの中間点に位置するBBプラザ美術館等と連携し、ポスター掲示、チラシの設置について相互に協力

【国内の美術館等】

豊島横尾館、西脇市岡之山美術館、金沢21世紀美術館、ギンザ・グラフィック・ギャラリー(大日本印刷)など、横尾作品を所蔵する美術館等との広報連携を推進

(b) 海外

- ・Blum & Poe (ロサンゼルス、アメリカ)

2019年4~5月に開催された「パレルゴン：1980年代、90年代の日本の美術」展に寄託作品3点を貸し出し。学芸員がクレーリエとして設営に立ち会った。

⑥ 情報の提供・広報

『横尾芸術の一大拠点』、『様々な芸術に触れることのできる場』、『国内外の美術館等との連携』、『参加・体験型のミュージアム』といった当館の魅力を、様々な媒体により、幅広い層に伝えるとともに、ミュージアムロードをはじめとする地域との連携も図りながら、効果的な広報活動を展開

(ア) 展覧会毎の取組

- (a) 知事定例記者会見での発表、記者説明会の開催
- (b) 横尾氏がデザインしたチラシ・ポスター等の配布
- (c) ローソン・チケット、楽天レジャーチケット、JTB電子チケットで前売・当日券の販売
- (d) 割引券の設置(ジュンク堂書店、喜久屋書店、蔦屋書店、美術館・ギャラリー等)
- (e) 交通広告(JR、阪急、山陽等)の実施
- (f) 三宮センター街へ展覧会PR用大型懸垂幕を設置
- (g) 展覧会関連事業を通じた話題づくり(ミニライブなど)
- (h) JR三ノ宮駅交番北側に展覧会看板の掲出

(イ) 年間を通じた取組

- (a) マスメディアの活用
 - ・テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞・雑誌等
 - ・テレビ大阪「音楽人 玉置浩二 ～プレミアムシンフォニックコンサート 2019～」玉置さんと対談等、番組取材の積極的な受け入れ
- (b) 県広報誌（県民だよりひょうご「文化の風」）、兵庫ジャーナル等
- (c) 館長によるトップセールス
講演会等におけるPR等
- (d) 国際的なPR
 - ・県立美術館、BBプラザ美術館と共同での英語・中国語パンフレットの作成
 - ・観光機関との連携のもとに、ファミトリップ (fam trip) の一環として、香港・台湾・英国のメディアを受け入れ、広報を実施
- (e) 美術館ニュースの発行(元年度：No21、No22、No23)
- (f) インターネットによる情報発信 (<http://www.ytmoqa.jp>)
 - ・館ホームページ、ツイッター、フェイスブック、メールマガジン
 - ・平成29年度から、「ブロガー・インスタグラマー向け内覧会」を開催
 - ・フォロワー数約31万人を持つ横尾氏のツイッターとの連携
- (g) 各種情報誌、フリーペーパー等への掲載
- (h) 地域イベントへの参加（灘区総合芸術祭、美かえるカラフルマルシェ等）
- (i) 週刊朝日に瀬戸内寂聴さんとの対談「往復書簡 老親友のナイショ文」が掲載（R元.8.16～連載中）等、横尾氏に関する記事が掲載された。当館としても、引き続きメディアに対し、全国レベルでの広報の働きかけを実施する。

【横尾忠則現代美術館の管理運営 評価】

○横尾作品を中心とした展覧会の開催

年間の来館者数の目標を7万人、入場者数の目標を3.5万人と設定し、魅力的な展覧会の開催やオープンスタジオを活用したイベントの開催等により、観客動員を図っている。

令和元年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、3月から臨時休館を余儀なくされ、来館者数5.6万人、入場者数は、2.5万人と目標値を下回り、入場者数は対前年比84.3%（平成30年度2.9万人）に停まった。

今後は、感染拡大防止基本としつつ社会経済活動等に配慮するなどの県方針に従い、ポストコロナ社会における鑑賞環境整備や企画・運営に取り組む。

また、臨時休館中に開始した「おうちでYTMOCA」と題したSNSでの配信では、展覧会の様子や展覧会企画に纏わる秘話等を紹介している。このほか、新たに館のPR動画等の作成・配信等を行い、魅力を発信し、ファン層開拓を効果的に進めることとしている。

○貴重なアーカイブ資料の整理と公開

神戸芸術工科大学の学生インターンシップ及び甲南大学から博物館実習生の受入れや、武蔵野美術大学との共同調査により、整理と公開作業が軌道に乗ってきた段階である。武蔵野美術大学との連携は令和元年度で終了したが、今後も、近隣大学との新たな連携も模索しつつ、感染症対策を講じながらアーカイブ資料の整理と公開を進めていく。

○オープンスタジオを活用した多彩なイベントの実施

企画展関連事業やオープンスタジオコンサートを積極的に開催し、観客の動員と美術館の賑わいづくりに努めた（令和元年度：合計25事業、参加者2,308人）。今後は、新型コロナウイルス感染症対策の県方針に従い、徐々に横尾氏と親交のある著名なゲストのライブ、親子向けワークショップ、多様な分野のオープンスタジオコンサートの開催など、魅力的なイベントの再開を進めたい。

○作品・資料等の保存・修復活動

収蔵作品及び資料を良好な状態で保存・継承するため、展覧会と並行して、日々地道な保存・修復活動及び館内の環境維持に努めており、今後も継続的に実施する。

○連携によるにぎわいづくり

県立美術館、BBプラザ美術館、神戸文学館など、ミュージアムロードを構成する文化施設との相互PRや、商店街との連携に努めており、今後も継続して実施する。

○情報の提供・広報

横尾氏制作によるポスター・チラシ等による広報展開に加え、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、メールマガジンなどの電子媒体による情報提供を積極的に展開する。また、当館は、写真撮影が可能であり、ツイッターやインスタグラム等での拡散を期して、今後も「ブロガー向け内覧会」を実施する。

○横尾コレクション・ギャラリー、交流スペース等の整備（新）

令和2年度は人と地域をアートでつなぐまちづくりの拠点として、エリア全体の魅力向上を図るため、横尾作品に影響を与えた世界の著名芸術家の寄贈コレクションを展示するギャラリーの設置や、眺望を活かした交流スペースを4階に整備し、新たな魅力発信を進めることとしている。

『収益事業』

公益目的以外の施設提供事業

1 施設の管理運営事業

兵庫県民会館

平成18年度から引き続き指定管理者として、広く県民にホール・会議室等の施設を提供し、利用者の利便性・サービスの向上を図って、近隣施設に比べて高い利用率を概ね維持しながら、運営経費のコスト削減、経営の合理化に努めるとともに、芸術文化に親しむ環境のさらなる充実を図った。

なお、県民会館を含む「県庁舎等再整備基本構想」の策定（令和元年6月）にあたり、県民の芸術文化に親しむ環境等の整備の観点から、理事長が検討委員会部会委員として参画した。

【所在地】 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

【施設】 11階パルテホール(収容150人)、9階けんみんホール(客席数360席)、会議室(18室)、集会室(3室)、宴会室(3室)、時間貸駐車場(37台)、月極車庫(44台)、団体事務室(23団体)、営業店舗(2業者)、アーティストサロン、兵庫県民アートギャラリー(4室)

・利用状況など

【来館者数】 480,028人

【利用状況】

施設名	室数等	開館日数(日)	利用日数(日)	利用率(%)
11階パルテホール	1室	356	231	64.9
9階けんみんホール	1室	356	252	70.8
会議室	18室	6,408	4,535	70.8
集会室(和室)	3室	1,068	585	54.8
宴会室	3室	1,068	741	69.4
アートギャラリー	4室	1,424	666	46.7
月極車庫	44台	366	366	延べ528台
時間貸駐車場	37台	366	366	延べ38,944台

【利用料収入状況】

(単位：円、税込)

施設名	金額	施設名	金額
11階パルテホール	21,378,780	アートギャラリー	13,762,430
9階けんみんホール	13,629,290	事務室及び倉庫	30,062,575
会議室	37,952,060	利便施設	2,592,520
集会室(和室)	2,088,740	月極車庫	19,008,000
宴会室	13,559,150	時間貸駐車場	31,768,700
附属設備	200,700	合計	186,002,945

(ア) 施設・設備の長寿命化と利用促進

老朽化した施設・設備を長持ちさせるための修繕工事や定期点検・メンテナンスを小まめに行うとともに、パルテホールやけんみんホールなど、収容人数が多いホール等の利用促進にも努めた。

(イ) 会議室・ギャラリーの貸出

ホール、会議室、ギャラリー等の施設は、講演会、発表会、芸術作品の展示会などの催しに利用され、近隣施設に比べて高い利用率を概ね維持し、芸術文化活動の拠点施設として親しまれている。また、ロビーに文化情報誌や県内施設の催物案内チラシ等が閲覧できる情報コーナーを設けて、多彩な文化情報を提供するとともに、来館者数の維持を図った。

(ウ) ギャラリー運営会議の開催

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議を開催し、貸出計画案の承認を得た。

2 駐車場等

(1) 駐車場等の運営

各施設への来館者の利便性に配慮した有料駐車場の運営を行った。

- ・兵庫県民会館 : (時間貸) 収容台数 37台
(月極) 収容台数 44台
- ・芸術文化センター : (時間貸) 収容台数 約100台
- ・県立美術館王子分館 : (時間貸) 収容台数 31台

(2) 喫茶、レストラン等のスペースの貸出

施設利用者の利便に供するため、次のとおりスペースを貸し出した。

- ・兵庫県民会館 : 喫茶・レストラン・理容
- ・芸術文化センター : 喫茶・レストラン
- ・ピッコロシアター : 喫茶
- ・県立美術館王子分館 : 喫茶

(3) 関連グッズのショップ設置・運営

- ・芸術文化センター : オリジナルグッズや音楽・バレエなど様々な舞台芸術に関するグッズを販売した。
- ・県立美術館王子分館 : 横尾忠則現代美術館において、横尾グッズ等を販売した。

(4) 自動販売機の設置

施設利用者の利便に供するため、清涼飲料水を中心とした自動販売機を設置した。

- ・兵庫県民会館 : 8台
- ・県立美術館王子分館 : 2台

(5) 図書の頒布等

- ・兵庫県民会館
兵庫県史や横尾忠則展図録等の図書頒布販売事業、芸術文化関係入場券の受託商品販売事業を行った。

【施設の管理運営事業等 評価】

○利用状況

令和元年度の利用率は、令和2年1月までの間、前年同期比で0.8ポイント高い水準だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2月以降、ホール・会議室・ギャラリーでキャンセルが相次ぎ、最終的に、前年度を下回る結果となった(会議室③71.9%→④70.8%)。なお、新型コロナウイルスの影響により、中止または次年度以降の延期となった利用分(前納分)については、施設利用料を全額返還することとした。(中止198件、延期127件、影響額5,121千円)

このような状況から、県民会館利用料収入は、対前年度比98%と若干減少した。

○施設・設備改修

施設利用者に安全・安心して利用していただくために、施設・設備の改修やメンテナンスを適時適切に行うことで、利用者の利便性の向上に寄与している。なお、第4四半期に予定していた修繕工事のうち、緊急性の低いものは次年度に繰り延べた。

○県民会館の指定管理

当協会は、指定管理者制度が始まった平成21年度から4期連続、県民会館の運営を行っており、平成30年度からの3年間も引き続き、指定管理者として安定的かつ効率的運営を行っている。年2回実施している利用者アンケートでは、「職員・スタッフの対応」を88%の人が満足と回答しており、管理・運営の各項目で、満足度が70%以上となるなど、高い評価を得ている。

また、令和元年度の県への納付金は、前年度と同額の101,200千円で、平成21年度からの累計で10億48百万円納付している。